

2018年度

(平成30年度)入学生用

教職課程便覧

名城大学

所 在 地

天白キャンパス

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501

☎ (052) 832-1151 (代表)

法学部／経営学部／経済学部／理工学部／農学部

法学研究科／経営学研究科／経済学研究科／理工学研究科

農学研究科／総合学術研究科／法務研究科

八事キャンパス

〒468-8503 名古屋市天白区八事山150

☎ (052) 832-1151 (代表)

薬学部

薬学研究科

ナゴヤドーム前キャンパス

〒461-8534 名古屋市東区矢田南4-102-9

☎ (052) 832-1151 (代表)

都市情報学部／人間学部／外国語学部

都市情報学研究科／人間学研究科

春日井(鷹来)キャンパス

農学部附属農場

〒486-0804 春日井市鷹来町字菱ヶ池4311-2

☎ (0568) 81-2169

日進キャンパス

日進総合グラウンド

〒470-0102 日進市藤島町長塚75

☎ (0561) 73-0810

中村キャンパス

附属高等学校

〒453-0031 名古屋市中村区新富町1-3-16

☎ (052) 481-7436 (代表)

目

自分をみがこうとする学生諸君へ	1
I. 教職課程の登録及び履修の諸手続き	2
1. 教職課程の登録について	
2. 教職課程の履修について	
3. 転学部生・転学科生・編入学生の教職課程の履修について	
4. 大学院生の教職課程の履修について	
5. 科目等履修生について	
6. 教職課程履修開始から免許状授与までに必要な費用について	
7. 教職課程の年間スケジュール（予定）	
II. 本学で取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科	5
III. 教育職員免許状の取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数等	6
1. 教育職員免許法の定めについて	
2. 大学において修得することを必要とする最低単位数について	
3. その他必要な科目等について	
IV. 介護等体験	7
1. 法律の概要について	
2. 介護等体験に伴うガイダンスについて	
3. 介護等体験にかかる留意事項について	
4. 介護等体験手続から実施までの流れについて	
V. 教育実習	9
1. 教育実習の意義・目的について	
2. 教育実習の心得について	
3. 教育実習の参加資格について	
4. 教育実習の概要について	
5. 教育実習参加までの流れについて	
VI. 教育職員免許状（教員免許状）申請	12
VII. 教員採用試験	12
1. 公立学校教員について	
2. 私立学校教員について	
3. 臨時採用教員について	
VIII. 教員採用試験対策指導	13
1. 教員採用試験対策講座について	
2. 教職学習室・教職教材研究室の利用方法について	
IX. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	14
X. 学部・学科別「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」について	15
・中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状取得 必要単位数について	16
・中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状取得 必要単位数について	17
・中学校教諭専修・高等学校教諭専修免許状取得 必要単位数について	18

次

・教職に関する科目表（法、経営、経済、理工、農、都市、外国語、大学院対象）	19
・教職に関する科目表（人間学部対象）	21
○教科に関する科目表	
・法学部法学科	23
・経営学部経営学科	24
・経営学部国際経営学科	25
・経済学部経済学科	26
・経済学部産業社会学科	28
・理工学部数学科	30
・理工学部情報工学科	32
・理工学部電気電子工学科	34
・理工学部材料機能工学科	36
・理工学部応用化学科	38
・理工学部機械工学科	40
・理工学部交通機械工学科	42
・理工学部メカトロニクス工学科	44
・理工学部社会基盤デザイン工学科	46
・理工学部環境創造学科	48
・理工学部建築学科	50
・農学部生物資源学科	52
・農学部応用生物化学科	54
・農学部生物環境科学科	56
・都市情報学部都市情報学科	58
・人間学部人間学科	60
・外国語学部国際英語学科	62
・法学研究科法律学専攻	63
・経営学研究科経営学専攻	64
・経済学研究科経済学専攻	64
・理工学研究科数学専攻	65
・理工学研究科情報工学専攻	65
・理工学研究科電気電子工学専攻	66
・理工学研究科材料機能工学専攻	66
・理工学研究科応用化学専攻	67
・理工学研究科機械工学専攻	67
・理工学研究科交通機械工学専攻	68
・理工学研究科メカトロニクス工学専攻	68
・理工学研究科社会基盤デザイン工学専攻	69
・理工学研究科環境創造学専攻	69
・理工学研究科建築学専攻	70
・農学研究科農学専攻	70
XI. 履修要項	71
XII. 教職センター【教職・学芸員】窓口の取扱時間	71
参考資料	72
1. 教育職員免許法（抜粋）	
2. 免許状更新講習規則（抜粋）	
3. 沿革	
校舎配置図	82

自分をみがこうとする学生諸君へ

《名城大学の教職課程について》

1) 本学の教員養成理念

本学の教員養成理念は、前身の名古屋高等理工科講習所開設当初から重視してきた中等教育教員養成の伝統と設置理念のもと、各学部・学科の高度な専門教育を通じて身につけた専門的知識と応用力、教職にかかる深い理解と実践的指導力を備え、さらには、立学の精神に根差す『穩健中正』『実行力』『信頼』を備えた人材として『謙虚で豊かな包容力と力強い実行力を持ち、誰からも信頼される教員』を養成することにあります。

2) 教職課程の設置趣旨

今日においては、地域社会が抱えるさまざまな課題を正面から受け止め、社会的ニーズに応えうる研究と教育に取り組むことが、各学部の果たすべき使命となっています。もとより各学部の教育は、こうした諸課題に応えうる高度な専門的知識と技能を身につけた人材の育成がありますが、科学技術の急激な発展と、それに伴って浮き彫りになってきたさまざまな人類的課題は、学校教育の場においても、これまで以上に高度な知識や技術と指導力を身につけた人材の養成を急務としています。本学の学部教育が、高度な専門人の育成に留まらず、その専門的力量を教育の場でも発揮できる人材を育てるることの重要性と意義を自覚し、各学部において教職課程を設置しているのです。

3) 教職センターの役割

教職課程の質の向上や学生に対する責任ある教職指導のための組織的な取り組みを含めた教職の指導体制の充実を目指し、本学は、平成15年度より、全学的な教員養成を一元的に運営していく教職センターを設置し、全学の教職指導にあたってきています。

教職センターの役割は、第一に本学の教職課程のあり方についての全般的な検討、第二に、主として教職・教科指導に関わる科目の指導(教科の内容に関わる指導は各学部の教務委員会が主として担っている)、第三に、教職課程履修指導、介護等体験・教育実習に関わる指導等、教職課程を履修する学生が教員免許状を取得するまでの4年間にわたる系統的な指導、教職を目指す学生たちの自主的な学習活動の指導・支援、そして第四として、強く教職を目指す学生に対しての対策を行うことの4つです。

第三の役割の具体的な仕事として、教職課程の運営における都道府県及び市区町村教育委員会との連携・協力に関する取り組み、主として愛知県及び名古屋市の教育委員会と、教育実習受け入れ校の調整、教育実習・介護等体験のあり方についての協議、科目等履修生の受け入れに関する協議など、教員採用に関わる動向の情報交換など、必要に応じて隨時行っています。

第四の具体的な対策は、教員採用試験対策用の特別授業の開講(通称「勉強会」)をはじめ、多岐に亘ります。これについては、『VIII. 教員採用試験対策指導』で説明します。

4) 教職を志す学生の皆さんへ

本学は、このように教職課程に関して、伝統と実績を持っています。教師を目指す学生の皆さんには、所属する学部の専門科目の履修を通して、教師としての専門性を身につけ、教職センターが開講する教職に関する科目を履修することで、各学部が認可されている教員免許を取得することが可能となっています。ぜひ、教職伝統校の遺産を受け継ぎ、教師として教育現場で活躍してみませんか。

なお、教員免許状取得に必要な科目は、取得を目指す教科、校種(中学校か高等学校)、入学年度や所属学部・学科等によって異なります。人伝えや自己判断に留まることなく、教職センター【教職・学芸員】担当の職員に、必要に応じて相談、指導を受けながら履修を進める必要があるので、注意してください。

【教職・学芸員】に関する伝達事項は、所定の掲示板にありますので、毎日必ず見るようにしてください。

I. 教職課程の登録及び履修の諸手続き

1. 教職課程の登録について

教職課程を希望する者は、教職課程オリエンテーションの際に配布される「教職課程履修希望票」の提出および教職履修費（55,600円）の納付が必要です。

- (1) 期日までに「教職課程履修希望票」を提出してください。
- (2) 所定の履修費で教職課程を履修することのできる期間は、大学学部に在籍する期間です。
- (3) 教職課程を途中で辞退する場合、納付した教職履修費は返還されません。
- (4) 退学・除籍の後、再入学・復籍した者が、再び教職課程を履修しようとするときに、既納の履修費と再履修を出願した年度の履修費に差額がある場合は、その差額を納付する必要があります。

2. 教職課程の履修について

教職課程を履修するために必要な授業科目は「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」、「その他必要な科目」があり、それぞれについて、必修科目の単位を含んだうえ、最低必要単位数を修得しなくてはなりません。

取得しようとする免許状ごとに必要な授業科目、単位数が記載されていますので、本書を熟読し、理解した上で履修登録を行ってください。

3. 転学部生・転学科生・編入学生の教職課程の履修について

- (1) 転学部生・転学科生で、教職課程を履修している者は、教職センター【教職・学芸員】で履修指導を受けてください。
- (2) 編入学生が教職課程を履修する場合、前在籍大学の『成績証明書』及び『学力に関する証明書』（教員免許状申請用）を取り寄せ、教職センター【教職・学芸員】で履修指導を受けてください。
 - ① 前在籍大学が課程認定を有する大学の場合
前在籍大学発行の『学力に関する証明書』に基づき、取得を希望する免許教科に必要な授業科目を履修してください。
 - ② 前在籍大学が課程認定を有しない大学の場合
前在籍大学において修得した単位のうち、本学において認定された単位を含めて、取得を希望する免許教科に必要な授業科目を履修してください。
教職に関する科目については、全て、本学において履修してください。

4. 大学院生の教職課程の履修について

- (1) 専修免許状
卒業した学部において、一種免許状を取得し、大学院修士課程・博士前期課程に進学した人で、専修免許状の取得を希望する場合、教職履修登録などの手続きは必要ありません。
所属する研究科・専攻(修士課程・博士前期課程)において「教科に関する科目」を24単位以上修得してください。
- (2) 一種免許状
本学学部において一種免許状取得に必要な単位を修得できずに卒業し、継続して本学大学院へ進学した場合、大学院在学中に一種免許状を取得するために必要な授業科目の履修が認められます。
この場合は、教職履修費(26,400円)納入および科目等履修生としての登録手続きが必要となります。
また、指導教員の承諾書等が必要です。詳細は大学院便覧で確認するか、教職センター【教職・学芸員】で説明を受けてください。
大学院生で一種免許状取得のための新規登録は認められません。

5. 科目等履修生について

大学在学中に教職課程に必要な授業科目を修得できなかった場合、卒業（退学）後に科目等履修生として不足科目の単位を修得し、教員免許状を取得できる制度があります。詳細は教職センター【教職・学芸員】で確認してください。また、手続きについては大学HPを参照してください。

6. 教職課程履修開始から免許状授与までに必要な費用について

教職課程履修開始から免許状授与までに必要な費用の目安は、下記のとおりです。

年度によって、金額が変わることがありますので、その都度、各自で確認してください。

支払方法等の詳細な内容は、必要な都度、ガイダンス及び掲示等でお知らせします。

年次	内容	金額（目安）	概要
1 年次	教職課程履修費	55,600円	履修者全員、最初の登録時のみ必要
2 年次	教員採用試験トライアル模試受験料	1,500円	希望者のみ
	小学校教員資格認定試験対策講座受講料	10,000円	希望者のみ
	教員採用試験一般教養対策講座受講料	15,000円～	希望者のみ
3 年次	介護等体験費（老人保健施設分）	7,500円	体験参加対象者のみ 1日あたり 1,500円×5日間分
	介護等体験にかかる消耗品等	実費	実習先による
	介護等体験にかかる交通費等	実費	
	教員採用模擬試験受験料	3,200円	希望者のみ：1回あたり 1,600円
	教員採用試験一般教養対策講座受講料	10,000円～	希望者のみ
4 年次	教育実習費	0～30,000円	実習参加対象者のみ 金額は実習校により異なり、不要な場合もある
	教育実習にかかる消耗品等	実費	実習先による
	教育実習にかかる交通費等	実費	
	教員採用模擬試験受験料	3,200円	希望者のみ：1回あたり 1,600円
	教員免許状授与手数料	3,400～17,000円	申請者全員：免許状1件につき3,400円 申請する件数による
	講義「教職実践演習（中・高）」の、学外における見学・調査等に参加する際の交通費等	実費	参加内容による

共 通	キャンパス移動交通費	実費	教職課程に関する行事が天白キャンパスのみで開催される場合、別キャンパスで開講される授業科目を履修する場合等、キャンパス間移動の交通費が必要となる場合がある スクールバスが運行されている期間は利用が可能である
-----	------------	----	--

* 金額は平成29年度のものを参考にしています。

7. 教職課程の年間スケジュール（予定）

	1年次	2年次	3年次	4年次
4月	新入生オリエンテーション 教職課程登録 教職履修費納入		<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習登録手続き開始 ・教育実習登録カード提出 ・教育実習校内諾依頼 ・介護等体験最終調査用紙提出 <p>【前期】採用試験対策勉強会（4～7月）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断 ・公立学校教員採用試験出願（4～5月）
5月			教員採用試験のための公開模擬試験	教育実習（5～6月）*
6月			教員採用試験のための公開模擬試験	<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験一次面接対策実施
7月			<ul style="list-style-type: none"> ・介護等体験ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験受験（7～9月） ・私学適性検査受検申込
8月			<ul style="list-style-type: none"> ・介護等体験：老人保健施設（8～12月頃） ・小学校教員資格認定試験（8月～11月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・私学適性一次・二次検査 ・教員採用試験二次試験対策講座
9月			<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験対策講座オリエンテーション ・介護等体験(特別支援学校)ガイダンス <p>【後期】採用試験対策勉強会（9～12月）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員免許状一括申請一次申請手続き ・教育実習（9～10月）*
10月			<ul style="list-style-type: none"> ・介護等体験：特別支援学校（10～12月頃） ・教育実習校斡旋、二次募集ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立学校教員採用試験結果発表
11月				<ul style="list-style-type: none"> ・私学適性三次検査 ・教員免許状一括申請二次申請ガイダンス
12月		<p>教員採用試験対策一般教養講座ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員資格認定試験対策講座ガイダンス ・教員採用試験対策～はじめの一歩～/トライアル模擬試験ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験のための公開模擬試験 ・教員採用試験対策小論文指導講座ガイダンス <p>愛知県立中学校、名古屋市立中・高等学校教育実習申込ガイダンス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験受験結果及び教員斡旋希望調査表提出
2月		<p>小学校教員資格認定試験対策講座</p>	<p>教員採用試験対策小論文指導講座</p> <p>教育実習参加資格審査</p>	
3月		<p>教員採用試験対策一般教養講座</p> <p>教職課程在学生 次年度の新年次ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験対策ガイダンス～はじめの一歩～/トライアル模擬試験 <p>介護等体験/教育実習登録ガイダンス</p>	<p>教員採用試験のための公開模擬試験</p> <p>教員実習実施ガイダンス</p>	<p>教員免許状の授与（卒業式当日）</p>

* 教職課程の登録は4年間に1度です。

* 4年次の教育実習は、「5～7月」若しくは「9～11月」のいずれかの期間で実施されます。

* 具体的な日程や履修に関する連絡事項等については、所定の掲示板に掲示しますので、必ず確認するようしてください。

* 諸手続は必ず行い、説明会・ガイダンス等には必ず出席してください。

Ⅱ. 本学で取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科

教育職員免許状取得希望者は、教育職員免許法に従い、「教職に関する科目」、「教科に関する科目」、「教科又は教職に関する科目」等を履修し、所定の単位を修得した場合、次のような免許状が取得できます。

取得できる免許状の種類

学部・研究科		学科・専攻		校種と免許教科 ※			
				中学校教諭		高等学校教諭	
				一種免許状	専修免許状	一種免許状	専修免許状
大学	法学部	法 学 科	社 会	—	地理歴史公民	—	
	経営学部	経 営 学 科 国際経営学科	—	—	商 業	—	
	経済学部	経 済 学 科	社 会	—	地理歴史公民	業	—
		産 業 社 会 学 科			公商		
	理工学部	数 学 科	数 学	—	数情	学報	—
		情 報 工 学 科	—	—	情工	報業	—
		電気電子工学科	理 科	—	理工	科業	—
		材料機能工学科					
		応用化学科					
		機械工学科					
		交通機械工学科					
		メカトロニクス工学科		—	工 業	—	
		社会基盤デザイン工学科		理工	科業	—	
		環境創造学科					—
		建築学科					
	農学部	生物資源学科	理 科	—	理農	科業	—
		応用生物化学科					
		生物環境科学科					
	都市情報学部	都 市 情 報 学 科	—	—	公 情	民 報	—
	人間学部	人 間 学 科	社 英 会 語	—	地理歴史公英	科業	—
		国際英語学科					
大学院	修士課程	法学研究科	法 律 学 専 攻	—	社 会	—	公 民
		経営学研究科	経 営 学 専 攻	—	—	—	商 業
		経済学研究科	経 済 学 専 攻	—	社 会	—	公 民
	博士前期課程	数学専攻	—	数 学	—	数 学	—
		情報工学科専攻	—	—	—	—	工 業
		電気電子工学科専攻	—	—	—	—	工 業
		材料機能工学科専攻	—	理 科	—	理 科	—
		応用化学専攻	—	—	—	—	工 業
		機械工学科専攻	—	—	—	—	工 業
		交通機械工学科専攻	—	—	—	—	工 業
		メカトロニクス工学科専攻	—	—	—	—	工 業
		社会基盤デザイン工学科専攻	—	—	—	—	工 業
	農学研究科	環境創造学科専攻	—	—	—	—	—
		建築学科専攻	—	—	—	—	農 業

※免許状の正式名称は「中学校教諭一種免許状（教科名）」、「中学校教諭専修免許状（教科名）」、「高等学校教諭一種免許状（教科名）」、「高等学校教諭専修免許状（教科名）」です。

例：中学校教諭一種免許状（社会）・高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

III. 教育職員免許状の取得に必要な基礎資格及び 最低修得単位数等

教育職員免許状は、普通免許状、特別免許状及び臨時免許状に大別されますが、本学で取得できる免許状は、普通免許状であり、次の表に示された基礎資格と最低修得単位、その他必要な科目等の修得が必要です。

1. 教育職員免許法の定めについて

免許状の種類	所要資格 基礎資格	大学において修得することを 必要とする最低単位数				その他必要な科目等	
		教職の 単位	教科の 単位	教科又は 教職の単位	合計	教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目	介護等体験
中学校 教諭	一種 免許状	学士の 学位	31	20	8	59単位	「日本国憲法」 「体育」 「外国語コミュニケーション」 「情報機器の操作」 各2単位以上 不要
	専修 免許状	修士の 学位	31	20	32	83単位	
高等学校 教諭	一種 免許状	学士の 学位	23	20	16	59単位	7日間以上 必要
	専修 免許状	修士の 学位	23	20	40	83単位	

2. 大学において修得することを必要とする最低単位数について

- (1) 教職の単位とは「教職に関する科目」のことをいい、中学校免許状を取得するには31単位以上、高等学校免許状を取得するには23単位以上必要です。
- (2) 教科の単位とは「教科に関する科目」のことをいい、中学校・高等学校免許状を取得するには20単位以上必要です。
- (3) 教科又は教職の単位とは、「教科又は教職に関する科目」で修得した単位と併せて、「教職に関する科目」と「教科に関する科目」のそれぞれで余分に修得した単位のことを示します。

3. その他必要な科目等について

- (1) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」、及び「情報機器の操作」）について、各2単位以上必要です。
詳細は『IX. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目』に学部ごとの授業科目名、単位数が記載されています。
- (2) 介護等体験は中学校免許状取得予定者のみ必要です。体験についての詳細は『IV. 介護等体験』に記載されています。

IV. 介護等体験

小学校・中学校の教員免許状取得を希望する学生に対し、特別支援学校（盲学校、聾学校若しくは養護学校）及び社会福祉施設等において、障害者・高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流の体験（介護等の体験）が法律で義務づけられています。

なお、詳細は3年次ガイダンスで説明します。

1. 法律の概要について

法律の名称等	平成9年介護等体験特例法（平成10年4月1日施行） (小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律)
介護等体験の趣旨	義務教育に従事する教員が個人の尊厳および社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性に鑑み、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から義務付けられています。
介護等体験の意義等	障害のある人や高齢の方に対するさまざまな援助の活動を体験することにより個人の尊厳や価値観の違いを認められる心を持った人づくりの実現に資することを目的として、小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得希望者に義務付けられました。 介護等体験を行う社会福祉施設等や学校の種類は法律で決められており、対象となった施設や学校は、体験の趣旨を生かすことのできる意欲と熱意のある学生が来ることを望んでいます。
介護等体験の対象者	原則として大学・短大に在学・在籍し、小学校及び中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする者とされています。
介護等体験の実施施設	(1) 社会福祉施設、介護老人保健施設等 (2) 特別支援学校等
介護等体験の時期及び期間	18歳に達した後の7日間（社会福祉施設・老人保健施設5日間、特別支援学校2日間を目途とする。）
介護等体験を要しない者	介護等に関する専門的知識及び技術を有すると認められる者、身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者は、この体験を行う必要はありません。 ① 専門的知識及び技術を有すると認められる者 保健師、助産師、看護師、准看護師、特別支援学校の教員、理学療法士、作業療法士又は義肢装具士の免許を受けている者、社会福祉士又は介護福祉士の資格を有している者 ただし、取得見込の場合は適用されません。 ② 身体上の障害により介護等体験を行うことが困難な者 身体障害者で、身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1～6級の者 ただし、本人の意思及び受け入れ施設等の判断により行うこともできる。 ③ 平成10年3月31日以前に、大学等に在籍した者で、卒業までに小学校又は中学校教諭の専修、1種、2種のいずれかの免許状取得のための所要資格を得た者

2. 介護等体験に伴うガイダンスについて

本学では、介護等体験を行う学生に対して、ガイダンスを実施します。開催日時等は所定の掲示板にて発表します。このガイダンスを欠席した学生は「介護等体験」を行う意思がないものとみなします。

3. 介護等体験にかかる留意事項について

① 定期健康診断

本学で実施する「定期健康診断」を必ず受診してください。

② 体験の費用

社会福祉施設等（本学は、介護老人保健施設）での体験実施には、1日あたり1,500円の体験費用が必要となります。納入方法等は、ガイダンスでお知らせします。

③ 介護等体験に伴う証明書

介護等体験終了後、各施設が体験を行ったことを証明し、本人に交付されます。

この証明書は、教員免許状申請時の必要書類となりますので、教員免許状申請時まで大学で保管します。体験終了後交付を受けたら、教職センター【教職・学芸員】へ提出してください。

④ 保険

介護等体験を実施する者は「学生教育研究災害傷害保険」（入学時に加入）と「インターナンシップ・介護等体験活動・教育実習等賠償責任保険」に加入します。

4. 介護等体験手続から実施までの流れについて

	時期	項目・内容	提出等の説明
1	1年次 3月末	新年次用ガイダンス実施 ・介護等体験希望調査用紙配布・提出 ・取得希望免許状確認	介護等体験希望調査用紙を提出
2	2年次 3月中旬	新年次用ガイダンス実施 ・介護等体験調査用紙配布・提出 ・体験困難日程、取得希望免許状確認	介護等体験調査用紙を提出期限までに提出
3	3年次 7月上旬	介護等体験ガイダンス実施 ・老人保健施設の体験先・日程の発表 ・施設ごとの代表者を決定 ・施設ごとの連絡網作成・提出 ・介護等体験費用の納入 (老人保健施設協会関係) ・特別支援学校介護等体験日程調査用紙配布	同一施設で体験するメンバーで連絡網を作成 代表者が連絡網を提出 納入方法・納入期限はガイダンスで説明 体験日程調査用紙を提出期限までに提出
4	3年次 7月下旬	特別支援学校の体験先・日程を掲示で発表	
5	3年次 9月～11月	特別支援学校ガイダンス実施 ・学校ごとに実施、資料配布	
6	3年次 8月上旬～ 12月下旬	介護等体験実施 ・老人保健施設（5日間） ・特別支援学校（2日間）	
7	体験終了後	介護等体験証明書・報告書を提出	体験終了日に証明書を受領し、終了後2週間以内に報告書と共に提出

※提出方法、提出先は、その都度説明します。

V. 教育実習

1. 教育実習の意義・目的について

「すべての教育論は教師論に帰着する」といわれます。

教育活動は様々な条件の上に成り立つものです。例えば学校の施設設備、教材教具などの物的条件、児童・生徒の実態、これをとりまく家庭環境や地域社会の現実などすべてが教育を成り立たせる条件です。これらの諸条件を活用しながら対応し、教育目的の達成をはかるのが教師のつとめです。教育の成否は一にかかって教師その人の人格力量によるこことを思えば教育者としての職責の重大さが痛感されるのです。

このような重大な職責をもつ教育者となるためには、教職に就くその最初から責任ある教育活動ができる、児童・生徒の信頼に値する教師たり得るように準備しなければなりません。そのためにはあらかじめ、中正かつ教育愛に満ちた教育精神を培うとともに、少なくとも一定の水準に達した教育技術を身に付けることが必要です。

大学において教職課程を履修するのは、まさにこの必要に対応するためであります。教育研究は単なる理論的研究に終わってはならないのです。理論は常に実践によって深められ、実践はまた理論によって導かれなければなりません。理論と実践とをつなぐことこそ教育実習の使命です。この意味で教育実習は教職課程の総仕上げともいうべきものです。

教育の場はそれぞれの個性をもち、異なった才能をもった教師と児童・生徒との間の多様な人間関係を中心として構成されます。教職課程で学んだ教育理論は、具体的、流動的な教育の場における実践を通してはじめて真の生命を得るでしょう。教育実習の目的は、実習生が経験豊かな先輩教員の指導のもとに具体的な教育活動を体験することによって、新しい時代の教師としての基礎を築くことです。目的達成のために、学習指導・生活指導・学級経営等、広範な教育の実務について理解を深め、基本的な教育技術を修得するとともに、児童・生徒とともに生活し、その心身の成長を援助し、指導することによって教育者たる自覚を深めます。

2. 教育実習の心得について

- ① 教育実習は各地方の教育委員会及び実習協力校の特別な好意によって実施されます。次代を担う教育者になる実習生のために、日常の極めて多忙な教育活動の中で、多大な犠牲をもかえりみず実習指導にあたってもらうことを銘記して、ひとりよがりになることなく、謙虚かつ真摯な態度で実習に専念しなければなりません。
- ② 実習期間中は実習校に勤務する教職員の一員になった覚悟で誠実に学校の教育方針を守り、校長や指導教員の指示に従って実習を進めなければなりません。
- ③ 実習生といえども、児童・生徒に対しては先生として指導の任に当たるのであるから、その立場にふさわしい言葉づかい、態度、服装等に心を配ることはもちろん、教育に対する情熱とすべての児童・生徒に対する愛情を基本とする教育愛の体得に努めなければなりません。
- ④ 教育における政治的中立、公立学校における宗教的中立は民主主義教育の基本事項です。教育活動において特定の思想や政党の主張等を一方的にとりあげるようなことは厳に慎まなければなりません。
- ⑤ 健康面では、教育実習実施に支障のない者でなければならぬので、「定期健康診断」を必ず受診してください。

3. 教育実習の参加資格について

教育実習に参加できる条件は、参加の前年度に開講される『教育実習指導（事前）』を履修し、かつ参加年度に最終学年 在学する学生で、下記に該当する者でなければなりません。

- ① 「教職に関する科目」のうち、『教職入門』、『教育原論』（人間学部は『教育学概論』）、『教育心理学』、『教育課程論』、『各教科教育法（必修科目）』、『各教科指導法（必修科目）』、『教育方法論』、『生徒・進路指導論』及び中学校での実習希望者は『道徳教育の指導法（人間学部は『道徳教育論』）』、『特別活動の指導法』、『学校教育相談』が修得済みであり、授業や介護等体験において、教職センター専任教員から適性と認められた者。
- ② その他、免許状取得に必要な単位を卒業までに修得する見込みがある者。
- ③ 教職に就く意志が強固で教育実習に対する積極性、熱意のある者。
- ④ 教育実習に堪えうる心身の健康を保持する者。特に感染症疾患のある者の実習は許可されません。
- ⑤ ガイダンス及び指導教員による事前指導を受けている者。

なお、参加前年度末において、上記の各号のいずれかに該当しない者については、教育実習資格審査面談を実施する。

4. 教育実習の概要について

教育実習は3年次4月の申込み手続きから始まります。

申込手続きは、『教育実習登録ガイダンス』での説明に基づいて、自身が行います。

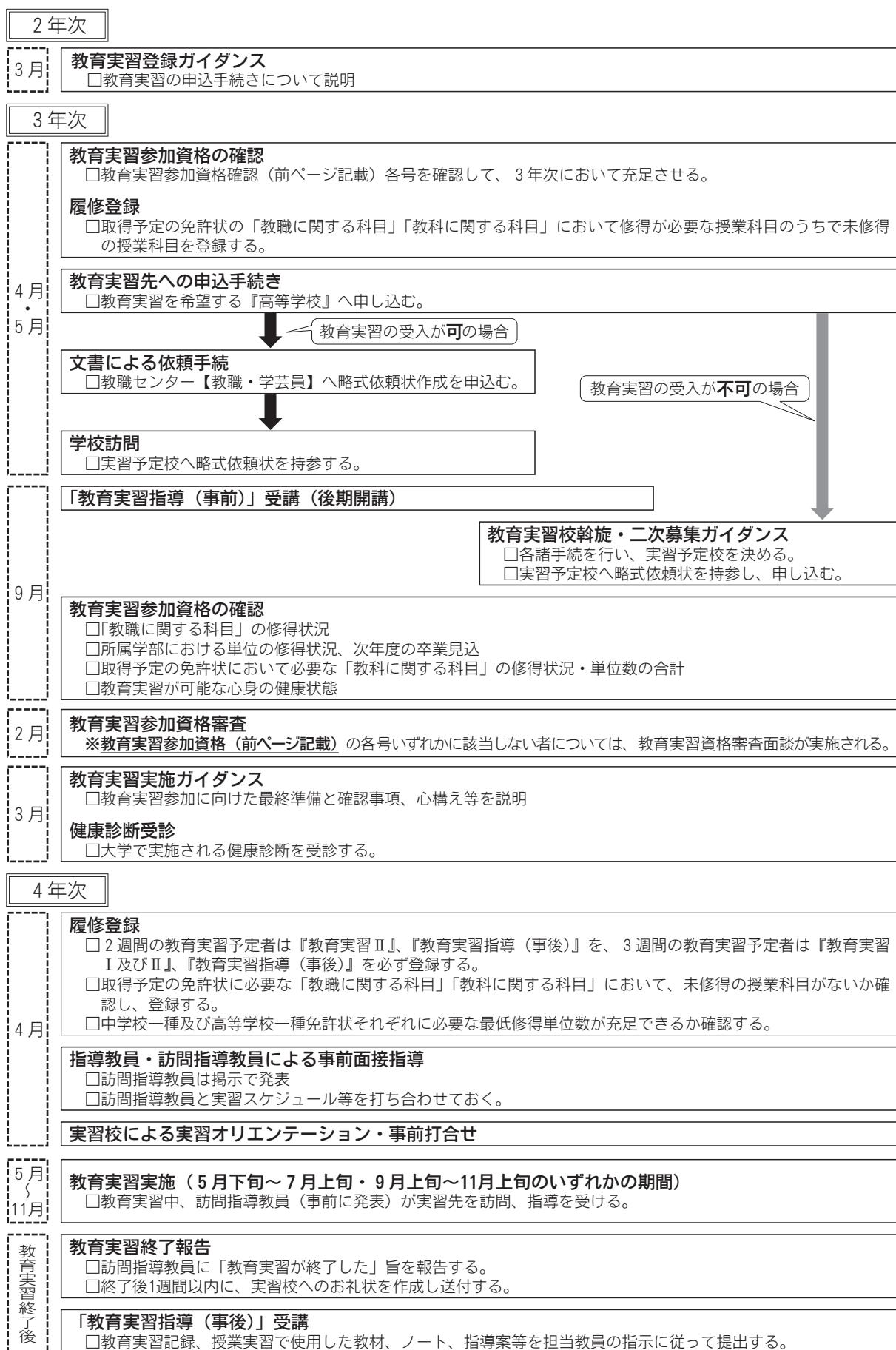
教育実習とは、『授業』の実習を行うだけではなく、学級活動、生徒指導、行事、課外活動等教育活動全般を通して、生徒と係わる体験をすることでもあり、短い期間に、実習先の生徒の成長にかかることになりますので、申込み手続きを開始するときから『教育実習生』としての自覚と責任を持つ必要があります。

申込後実習先が確定したら、教育実習に自信を持って臨むために、必要な要件を充足すると共に、指導教員の指導、『教育実習指導（事前）』の授業、実習校のオリエンテーション等を経て綿密に準備する必要があります。

なお、教育実習の概要は下記に示すとおりです。

実習先	高等学校又は中学校
実習の時期	4年次の5～7月又は9～11月のいずれかで、実習先の指示により決定
実習の期間	中学校免許状取得希望者は3週間、高等学校免許状取得希望者は2週間
実習の申込手続	3年次の4月頃に実習を希望する『高等学校』へ自身が申込
実習の申込方法	学校により異なるため予め確認が必要
実習授業の教科	取得を希望する免許教科によって、実習先へ希望を伝えて相談のうえ決定

5. 教育実習参加までの流れについて



VI. 教育職員免許状（教員免許状）申請

教員免許状は、大学において必要単位を修得したうえで、教育委員会に申請することにより、交付を受けることができます。

ただし、卒業・修了年次生（3月に限ります。）に限り、大学から愛知県教育委員会に一括で申請手続きを行うことで、卒業式当日（3月に限ります。）に教員免許状の受取りが可能となります。対象者は、予め教員免許状一括申請ガイダンスに出席したうえで、必要な手続きを行います。

ガイダンスの日程等は、所定の掲示板で確認してください。

申請区分	申請対象者	申請手続等
一括申請	3月の卒業年次生、修了年次生で、 ・学部の一種免許状申請者 ・大学院の専修免許状申請者	教員免許状一括申請ガイダンス 1次：9月 2次：11月 ※編入学生は、申請手続時に相談のこと
個人申請	・一括申請ができなかった卒業年次生、修了年次生 ・大学院修了年次生で一種免許状を申請する者 ・9月に卒業、修了が可となった者	居住地の都道府県教育委員会へ必要書類等を確認し提出する。 教育委員会によって、申請方法、申請時期が異なるため、予め確認が必要。

教員免許状取得後の取扱い等については、「教育職員免許法」等に基づき、免許管理者（交付を受けた都道府県教育委員会）の定めに従う必要があります。

VII. 教員採用試験

1. 公立学校教員について

公立学校の教員になるためには、都道府県または政令指定都市の教育委員会が実施する公立学校教員採用試験に合格し、採用候補者の名簿に登録されなければなりません。そしてこの名簿の中からその年度の欠員状況、教員組織の状況などを考慮して選定し、所定の手続きを経た上で採用が決定されます。

採用試験は、例年概ね7～8月頃を中心に実施されています。採用試験の実施要項等の詳細については各自が予め教育委員会などに問い合わせてください。

2. 私立学校教員について

私立学校の教員になるためには、「各私立学校独自の公募による採用」と「私立学校教員適性検査」の2つの方法があります。「各私立学校独自の公募による採用」については、教職センターに求人のあったものは、本学ウェブサイトのMeijo キャリアナビおよび所定の掲示板に掲載するので、希望者は確認のうえ応募してください。

私学適性検査は、東京都、群馬県、静岡県、愛知県、兵庫県、広島県、福岡県、長崎県などで行われており、専門教養、教職教養、小論文などの試験の成績順に名簿登録を行うという方式が一般的です。また、他の自治体の私学協会では、このような検査を行わず、ただの「登録制」としているところもあります。

こうした私学適性検査は採用を保証するものではないですが、公立・私立を問わず、教員になりたいという方は受検をおすすめします。

3. 臨時採用教員について

臨時採用教員とは、専任教員に欠員が出た場合に期限つきで採用される教員のことと、正規教員と同様の業務に就く「臨時の任用教員（常勤講師）」と、「非常勤講師（時間講師）」の2種類に大別されます。いずれも各自治体が独自に募集を行っており、任用希望者が各教育委員会へ登録し、そこから選考される形が一般的です。

VIII. 教員採用試験対策指導

1. 教員採用試験対策講座について

教職への第一歩をふみだすためには、公立学校や私立学校の「教員採用選考試験」を通過しなければなりません。

本学教職センターでは、こうした教員採用試験をめざす履修学生に対し、以下(1)～(8)に示したとおり、さまざまな教員採用試験対策指導を行っていますので、積極的に参加してください。

詳細は、採用試験対策講座オリエンテーションにて説明します。

- (1) 採用試験対策講座オリエンテーション（9月頃実施）
- (2) 各種教員採用試験対策指導「勉強会」
- (3) 教員採用試験のための公開模擬試験
- (4) 小論文対策講座
- (5) 採用試験 1次面接対策
- (6) 採用試験 2次試験対策
- (7) 小学校教員資格認定試験対策講座
- (8) 教員採用試験一般教養対策講座

2. 教職学習室・教職教材研究室の利用方法について

教職課程履修者が利用できる施設・設備があります。

【名称】場所	備え置き資料・利用内容等	利用方法・注意事項
天白キャンパス 【教職学習室】 タワー75/12階	教員採用試験に関する過去問、教員のおすすめ図書などが置いてあります。 ○教員採用試験の勉強をする部屋	(1) 天白キャンパスの教職学習室・教職教材研究室の鍵は、教職センター【教職・学芸員】(タワー75 3階)で借りる。 (2) ドーム前キャンパスの教職学習室は9時から19時まで開室。それ以外の時間帯は、北館1階の防災センターで鍵を借りる。 (3) 使用後は、鍵を返却する。 (4) 印刷機・コピー機の使用は、教職センター教員の許可を得て行う。 (5) 図書を室外へ借り出す場合 ① 図書貸出簿に記入 ② 10日以内に返却 ③ 1冊しかない本は貸出禁止 ④ 教科書・参考書は貸出禁止
天白キャンパス 【教職教材研究室】 タワー75/12階	中学校及び高等学校の教科書・参考書などの教材図書が置いてあります ○教材研究をする部屋 ○模擬授業をする部屋 ○勉強会、ゼミを行う部屋	
ドーム前キャンパス 【教職学習室】 東館 DE215	天白キャンパスの教職学習室及び教職教材研究室に準じた過去問・参考書・教科書等があり、同様の利用内容に加えて、教職に関する相談を行う部屋として使用します。	

X. 学部・学科別「教職に関する科目」及び 「教科に関する科目」について

中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状取得 必要単位数について

●高等学校教諭一種免許状（工業：「教育職員免許法附則第11項」による単位修得方法）●

免許状の種類	基礎資格	学部	学科	免許教科	本学において修得することを必要とする最低単位数（学部開講および教職開講）			教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（学部開講）（2単位以上必要）	介護等体験（中学校免許状のみ）
					教職の単位	教科の単位	教科又は教職の単位		
高等学校教諭一種免許状	学士の学位	理工学部	情報工学科 電気電子工学科 材料機能工学科 応用化学科 機械工学科 交通機械工学科 メカトロニクス工学科 社会基盤デザイン工学科 環境創造学科 建築学科	工業	16	43	59	「日本国憲法」「体育」「外国语コミュニケーション」「情報機器の操作」各 <u>2単位以上</u> ※『IX. 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目』参照	不要

中学校教諭専修・高等学校教諭専修免許状取得 必要単位数について

●中学校教諭専修免許状（社会・数学・理科）●

免許状の種類	基礎資格	学部	学科	免許教科	本学において修得することを必要とする最低単位数				教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（学部開講）（2単位以上必要）	介護等体験（中学校免許状のみ）		
					学部開講および教職開講		大学院開講	合計単位数				
					教職の単位	教科の単位						
中学校教諭専修免許状	修士の学位	法学研究科	法律学専攻	社会	33	20	6	24※	83	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」各2単位以上		
		経済学研究科	経済学専攻	社会								
		理工学研究科	数学専攻	数学								
			応用化学専攻	理科								

※ 中学校教諭専修免許状は、大学院開講科目の「教科に関する科目」を24単位以上修得する必要があります。

●高等学校教諭専修免許状（公民・数学・理科・商業・工業・農業）●

免許状の種類	基礎資格	学部	学科	免許教科	本学において修得することを必要とする最低単位数				教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目（学部開講）（2単位以上必要）	介護等体験（中学校免許状のみ）						
					学部開講および教職開講		大学院開講	合計単位数								
					教職の単位	教科の単位										
高等学校教諭専修免許状	修士の学位	法学研究科	法律学専攻	公民	27	20	12	24※	83	「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」各2単位以上						
		経営学研究科	経営学専攻	商業												
		経済学研究科	経済学専攻	公民												
		理工学研究科	数学専攻	数学												
			情報工学専攻	工業												
			電気電子工学専攻													
			材料機能工学専攻													
			応用化学専攻													
			機械工学専攻	工業												
			交通機械工学専攻													
			メカトロニクス工学専攻													
			社会基盤デザイン工学専攻	工業												
			環境創造学専攻													
			建築学専攻													
		農学研究科	農学専攻	農業												

※ 高等学校教諭専修免許状は、大学院開講科目の「教科に関する科目」を24単位以上修得する必要があります。

教職に関する科目表

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						
教職に関する科目 (単位数)	各科目に定める必要事項	授業科目 (教職開講)	単位数		必修・選択		開講学部	配当年次
			中学	高校	中学	高校		
教職の意義等に関する科目 (2単位)	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	2	◎	◎	法・経営・経済・理工・農・都市・人間・外国語	1
教育の基礎理論に関する科目 (6単位)	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・児童、生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある児童、生徒及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	教育原論	2	2	◎	◎	法・経営・経済・理工・農・都市・外国語	1
		★教育史	2	2	*	*		2
		★生涯学習論	2	2	*	*		1
		教育心理学	2	2	◎	◎		1
		★発達心理学	2	2	*	*		2
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	★認知心理学	2	2	*	*		2
		教育行政論	2	2	◎	◎		2
		★教育法規	2	2	*	*	法・経営・経済・理工・農・都市・人間・外国語	2
		教育課程論	2	2	◎	◎		1
		次ページ参照						
教育課程及び指導法に関する科目 (中12単位) (高6単位)	・教育課程の意義及び編成の方法	道徳教育の指導法	2	*	◎	※	法・経営・経済・理工・農・都市・外国語	2
	・各教科の指導法							
	・道徳の指導法	特別活動の指導法	2	2	◎	◎	法・経営・経済・理工・農・都市・人間・外国語	2
	・特別活動の指導法	教育方法論	2	2	◎	◎		2
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	★教育情報論	2	2	*	*		2
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 (4単位)	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	2	2	◎	◎	法・経営・経済・理工・農・都市・外国語	1
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	学校教育相談	2	2	◎	◎		2
教育実習 (中5単位)(高3単位)	教育実習 I		2	2	◎	*	法・経営・経済・理工・農・都市・人間・外国語	4
	教育実習 II		2	2	◎	◎		4
	教育実習指導(注)		1	1	◎	◎		3・4
教職実践演習(2単位)		教職実践演習(中・高)	2	2	◎	◎		4
最低修得単位数				33	27			

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

※次ページ(教科又は教職に関する科目表)参照。

(注)「教育実習指導」は、3年次後期から4年次の教育実習終了後まで、二年度にわたり開講されます。履修登録期間中に、3年次は教職開講科目的『教育実習指導(事前)』を、4年次は『教育実習指導(事後)』を必ず履修登録してください。

教職に関する科目表

免許法施行規則に定める科目区分等 教職に 関する科目 (単位数)	各科目に 定める 必要事項	免許 教科	左記に対応する開設授業科目						配当 年次	
			授業科目 (教職開講)		単位数		必修・選択		開講学部	
			中 学	高 校	中 学	高 校				
教育課程及び 指導法に関する科目	各教科の 指導法	社会	社会・地理歴史科教育法	2	2	◎	—	—	法・経済・人間	2
			社会・公民科教育法	2	2	◎	—	—		2
			社会・地理歴史科指導法	2	2	○	2単位以上	—		3
			社会・公民科指導法	2	2	○	選択	—		3
		地理 歴史	社会・地理歴史科教育法	2	2	—	—	◎	法・経済・人間	2
			社会・地理歴史科指導法	2	2	—	—	◎		3
		公民	社会・公民科教育法	2	2	—	—	◎	法・経済・都市・ 人間	2
			社会・公民科指導法	2	2	—	—	◎		3
		数学	数学科教育法 I	2	2	◎	*	*	理工 (数)	2
			数学科教育法 II	2	2	◎	◎	◎		3
			数学科指導法 I	2	2	*	*	*		2
			数学科指導法 II	2	2	◎	◎	◎		3
		理科	理科教育法 I	2	2	◎	*	*	理工 (数・情報 工学・メカトロ ニクス工学除く) ・農	2
			理科教育法 II	2	2	◎	◎	◎		2
			理科指導法 I	2	2	◎	◎	◎		3
			理科指導法 II	2	2	*	*	*		3
		英語	☆英語科教育法 I	2	2	◎	*	*	外国語	2
			☆英語科教育法 II	2	2	◎	◎	◎		2
			☆英語科指導法 I	2	2	◎	◎	◎		3
			☆英語科指導法 II	2	2	*	*	*		3
		商業	商業科教育法	2	2	—	—	◎	経営・経済	3
			商業科指導法	2	2	—	—	◎		3
		工業	工業科教育法	2	2	—	—	◎	理工 (数除く)	3
			工業科指導法	2	2	—	—	◎		3
		農業	農業科教育法	2	2	—	—	◎	農	3
			農業科指導法	2	2	—	—	◎		3
		情報	情報科教育法	2	2	—	—	◎	理工 (数・情報 工学)・都市	3
			情報科指導法	2	2	—	—	◎		3

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

☆は外国語学部開講科目

教科又は教職に関する科目表

免許法施行規則に定める科目区分等 教科又は教職に関する科目	左記に対応する開設授業科目						配当 年次	
	授業科目 (教職開講)		単位数		必修・選択			
			中 学	高 校	中 学	高 校		
教科又は教職に関する科目	道徳教育の指導法	2	—	—	*	—	法・経営・経済・ 理工・農・都市・ 外国語	
教科又は教職に関する科目	★教育メディア環境論	2	2	*	*	*	法・経営・経済・ 理工・農・都市・ 人間・外国語	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

人間学部 対象

教職に関する科目表

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目						
教職に関する科目 (単位数)	各科目に定める必要事項	授業科目 (教職開講)	単位数		必修・選択		開講学部	配当年次
			中学	高校	中学	高校		
教職の意義等に関する科目 (2単位)	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職入門	2	2	◎	◎	法・経営・経済・理工・農・都市・人間・外国語	1
教育の基礎理論に関する科目 (6単位)	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	☆教育学概論	2	2	◎	◎	人間	1
		☆教育史	2	2	*	*		3
		☆学習社会論	2	2	*	*		2
		☆教育心理学	2	2	◎	◎		1
		☆発達心理学	2	2	*	*		1
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	☆認知心理学	2	2	*	*	人間	2
		☆生涯発達心理学	2	2	*	*		2
		☆教育行政論	2	2	◎	◎		2
		☆教育社会学	2	2	*	*		2
		★教育法規	2	2	*	*		2
教育課程及び指導法に関する科目 (中12単位) (高6単位)	・教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	2	2	◎	◎	法・経営・経済・理工・農・都市・人間・外国語	1
	・各教科の指導法	次ページ参照						
	・道徳の指導法	☆道徳教育論	2	※	◎	※	人間	2
	・特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	2	◎	◎	法・経営・経済・理工・農・都市・人間・外国語	2
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法論	2	2	◎	◎		2
		★教育情報論	2	2	*	*		2
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 (4単位)	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	☆生徒・進路指導論	2	2	◎	◎	人間	1
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	☆学校教育相談	2	2	◎	◎		3
教育実習 (中5単位)(高3単位)		教育実習 I	2	2	◎	*	法・経営・経済・理工・農・都市・人間・外国語	4
		教育実習 II	2	2	◎	◎		4
		教育実習指導(注)	1	1	◎	◎		3・4
教職実践演習(2単位)		教職実践演習(中・高)	2	2	◎	◎		4
最低修得単位数				33	27			

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

☆は人間学部開講科目

※次ページ(教科又は教職に関する科目表)参照。

(注)「教育実習指導」は、3年次後期から4年次の教育実習終了後まで、二年度にわたり開講されます。履修登録期間中に、3年次は教職開講科目的『教育実習指導(事前)』を、4年次は『教育実習指導(事後)』を必ず履修登録してください。

人間学部 対象

教職に関する科目表

免許法施行規則に定める科目区分等 教職に関する科目 (単位数)	各科目に定める必要事項	免許教科	左記に対応する開設授業科目						配当年次	
			授業科目(教職開講)		単位数		必修・選択		開講学部	
			中 学	高 校	中 学	高 校				
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	社会	社会・地理歴史科教育法	2	2	◎	—	法・経済・人間	2	
			社会・公民科教育法	2	2	◎	—		2	
			社会・地理歴史科指導法	2	2	○	2単位以上選択		3	
			社会・公民科指導法	2	2	○	—		3	
		地理歴史	社会・地理歴史科教育法	2	2	—	◎	法・経済・人間	2	
			社会・地理歴史科指導法	2	2	—	◎		3	
		公民	社会・公民科教育法	2	2	—	◎	法・経済・都市・人間	2	
			社会・公民科指導法	2	2	—	◎		3	
		英語	英語科教育法Ⅰ	2	2	◎	*	人間	2	
			英語科教育法Ⅱ	2	2	◎	◎		2	
			英語科指導法Ⅰ	2	2	◎	◎		3	
			英語科指導法Ⅱ	2	2	*	*		3	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

教科又は教職に関する科目表

免許法施行規則に定める科目区分等	教科又は教職に関する科目	授業科目(教職開講)	左記に対応する開設授業科目						配当年次	
			単位数		必修・選択		開講学部			
			中 学	高 校	中 学	高 校				
☆道徳教育論	★教育メディア環境論		2		*		人間	2	3	
			2	2	*	*				

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

☆は人間学部開講科目

経営学部 経営学科 対象

教科に関する科目表（高一種 商業）

免許教科				高一種・商業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	商業の関係科目	
該当科目						
配当年次	授業科目名	単位数				経営学部経営学科開講科目
3	職業指導論	2		◎		
1	経営学入門	2		◎		
1	基本簿記	4		◎		
1	ファイナンス入門	2		◎		
1	流通入門	2		◎		
1	マーケティング入門	2		◎		
1	経営分析入門	2		◎		
1	上級簿記Ⅰ	2		*		
1	上級簿記Ⅱ	2		*		
2	マーケティング論	2		*		
2	マーケティング戦略論	2		*		
2	消費者行動論	2		*		
2	マーケティング・コミュニケーション論	2		*		
2	中級簿記	2		*		
2	工業簿記	2		*		
2	原価計算論	2		*		
2	情報システム論	2		*		
3	サービス・マーケティング論	2		*		
3	卸売企業経営論	2		*		
3	ロジスティクス論	2		*		
3	原価管理論	2		*		
3	税務会計論	2		*		
3	キャッシュフロー会計論	2		*		
3	財務戦略論	2		*		

最低修得単位数

20単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

経営学部 国際経営学科 対象

教科に関する科目表（高一種 商業）

免許教科				高一種・商業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	商業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
経営学部国際経営学科開講科目	3	職業指導論	2	◎		
	1	経営学入門	2		◎	
	1	基本簿記	4		◎	
	1	ファイナンス入門	2		◎	
	1	流通入門	2		◎	
	1	マーケティング入門	2		◎	
	1	経営分析入門	2		◎	
	1	上級簿記Ⅰ	2		*	
	1	上級簿記Ⅱ	2		*	
	2	マーケティング論	2		*	
	2	国際マーケティング論	2		*	
	2	中級簿記	2		*	
	2	工業簿記	2		*	
	2	原価計算論	2		*	
他学科開講科目	2	金融論	2		*	
	2	情報システム論	2		*	
	3	財務戦略論	2		*	
	3	キャッシュフロー会計論	2		*	
	2	消費者行動論	2		*	経営学部 経営学科 開講科目
	3	サービス・マーケティング論	2		*	
	3	卸売企業経営論	2		*	
	3	ロジスティクス論	2		*	
	3	原価管理論	2		*	
	3	税務会計論	2		*	
	最低修得単位数				20単位	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

経済学部 経済学科 対象

教科に関する科目表（中一種 社会／高一種 地理歴史・公民）

免許教科			中一種・社会						高一種・地理歴史			高一種・公民			備考欄
免許法上の科目区分 該当科目			外日本国史及 び史	「地 誌」 を含む。 地理学	「政 治法 律学 学」	「社 會学 学」	「哲 學、宗 教、倫 理」	日本史	外國史	び自然地理学及 び地理学	地 誌	「政 治法 律」 を含む。 社会学、國學、 世界の國際化	「哲 學、宗 教、倫 理」 を含む。 社会科学	「心 理宗 教」 を含む。 學、倫 理、心 理」	
配当年次	授業科目名	単位数													
経 済 学 部	1 日本史	2	◎					◎							
	1 外国史	2	◎						◎						
	1 文化人類学の世界	2	*						*						
	1 経済史総論 I	2	*						*						
	1 経済史総論 II	2	*						*						
	2 西洋経済史 I	2	*						*						
	2 西洋経済史 II	2	*						*						
	2 イギリス近代思潮	2	*						*						
	2 日本経済史 I	2	*						*						
	2 日本経済史 II	2	*						*						
	1 地理学	2	◎							◎					
	1 自然地理学	2	◎							◎					
	1 地誌学	2	◎							◎					
	1 政治と社会	2		◎							◎				
	2 商法入門 I	2		*							*				
	2 商法入門 II	2		*							*				
	1 社会学	2			○	1科目選択						○	「社会学」1科目または 「経済理論入門」 「マクロ経済学 I」 の2科目すべてを選択		
	1 経済理論入門	2			○							○			
	2 マクロ経済学 I	2			*							○			
	1 ミクロ経済学入門	2			*						*				
	1 社会思想史	2			*						*				
	2 経済思想史	2			*						*				
	2 経済理論 I	2			*						*				
	2 経済理論 II	2			*						*				
	2 マクロ経済学 II	2			*						*				
	2 ミクロ経済学 I	2			*						*				
	2 ミクロ経済学 II	2			*						*				
	3 公共経済学 I	2			*						*				
	3 公共経済学 II	2			*						*				
理 科 開 講 科 目	1 哲学	2				3科目 のうち 1科目 選択	○					4科目 のうち 1科目 選択	○		
	1 倫理学	2				○						○			
	1 宗教の世界	2				○						○			
	1 心の科学	2										○			
	2 財政学 I	2									*				
	2 国際経済論 I	2									*				
	2 国際経済論 II	2									*				
	2 開発経済論	2									*				
	2 アジア経済論	2									*				
	2 アメリカ経済論	2									*				
	2 EU 経済論	2									*				
	2 中国経済論 I	2									*				
	2 中国経済論 II	2									*				
	3 地方財政論 I	2									*				
	3 地方財政論 II	2									*				
他 学 部 開 講 科 目	2 地域経済論	2	*						*						
	2 地域政策論	2	*						*						
	3 経済地理学	2	*						*						
他 学 部 開 講 科 目	1 民法 I	4			*						*				
	2 民法 II	4			*						*				
	2 国際法	4			*						*				
	3 労働法	4			*						*				
	3 経済法	4			*						*				
	3 租税法	4			*						*				

最低修得単位数

20単位

20単位

20単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

経済学部 経済学科 対象

教科に関する科目表（高一種 商業）

免許教科				高一種・商業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	商業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
経済学部経済学科開講科目	3	職業指導論	2	◎		
	1	基本簿記	4		◎	
	1	マクロ経済学入門	2		*	
	1	ミクロ経済学入門	2		*	
	2	経営データ分析 I	2		*	
	2	経営データ分析 II	2		*	
	2	経済データ分析 I	2		*	
	2	経済データ分析 II	2		*	
	1	経済数学 I	2		*	
	1	経済数学 II	2		*	
	1	統計学 I	2		*	
	1	統計学 II	2		*	
	2	金融論	2		*	
	2	金融政策論	2		*	
	2	情報の経済学 I	2		*	
	2	情報の経済学 II	2		*	
	2	財政学 II	2		*	
	3	国際金融論	2		*	
	3	国際通貨論	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

経済学部 産業社会学科 対象

教科に関する科目表（中一種 社会／高一種 地理歴史・公民）

免許教科			中一種・社会					高一種・地理歴史			高一種・公民			備考欄
免許法上の科目区分 該当科目			外日本国史及び 地誌学(地理学を含む。)	政治法律学(地政学)	経済社会学(社会学)	「哲学、宗教学、倫理」	日本史	外國史	び人文地理学及 地誌	政治法(政治法を含む。)	済学(社会学を含む。)	心学(哲理宗教学)		
	配当年次	授業科目名	単位数											
経済学部 産業社会学科 開講科目	1	日本史	2	◎				◎						
	1	外国史	2	◎				◎						
	1	文化人類学の世界	2	*				*						
	1	経済史総論 I	2	*				*						
	1	経済史総論 II	2	*				*						
	1	地理学	2	◎					◎					
	1	自然地理学	2	◎					◎					
	1	地誌学	2	◎						◎				
	2	地域経済論	2	*					*					
	2	地域政策論	2	*					*					
	3	経済地理学	2	*					*					
	1	政治と社会	2		◎						◎			
	1	社会学	2			○	1科目選択				○	「社会学」1科目または 「経済理論入門」「マクロ経済学 I」 の2科目すべてを選択		
	1	経済理論入門	2			○					○			
	2	マクロ経済学 I	2			*					○			
	1	社会思想史	2			*					*			
	2	経済思想史	2			*					*			
	2	経済理論 I	2			*					*			
	2	経済理論 II	2			*					*			
	2	マクロ経済学 II	2			*					*			
	2	ミクロ経済学 I	2			*					*			
	2	ミクロ経済学 II	2			*					*			
	3	公共経済学 I	2			*					*			
	3	公共経済学 II	2			*					*			
	1	哲学	2				3科目のうち 1科目選択	○				4科目のうち 1科目選択	○	
	1	倫理学	2					○					○	
	1	宗教の世界	2					○					○	
	1	心の科学	2											
他学部 開講科目	2	日本経済史 I	2	*				*						
	2	日本経済史 II	2	*				*						
	2	西洋経済史 I	2	*					*					経済学部 経済学科 開講科目
	2	西洋経済史 II	2	*					*					
	2	イギリス近代思潮	2	*					*					
	2	商法入門 I	2		*					*				
	2	商法入門 II	2		*					*				
他学部 開講科目	1	民法 I	4			*					*			
	2	民法 II	4			*					*			
	2	国際法	4			*					*			
	3	労働法	4			*					*			
	3	経済法	4			*					*			
	3	租税法	4			*					*			
最低修得単位数				20単位			20単位			20単位				

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

経済学部 産業社会学科 対象

教科に関する科目表（高一種 商業）

該当科目		免許教科	免許法上の科目区分	高一種・商業		備考欄
	配当年次	授業科目名	単位数	職業指導	商業の関係科目	
経 済 学 部 産 業 社 会 学 科 開 講 科 目	3	職業指導論	2	◎		
	1	基本簿記	4		◎	
	1	マクロ経済学入門	2		*	
	1	ミクロ経済学入門	2		*	
	2	経営データ分析 I	2		*	
	2	経営データ分析 II	2		*	
	2	経済データ分析 I	2		*	
	2	経済データ分析 II	2		*	
	1	経済数学 I	2		*	
	1	経済数学 II	2		*	
	1	統計学 I	2		*	
	1	統計学 II	2		*	
	2	金融論	2		*	
	2	金融政策論	2		*	
	2	農業経済論	2		*	
	2	食料経済論	2		*	
	2	工業経済論	2		*	
	2	産業技術論	2		*	
	2	商業経済論	2		*	
	2	サービス経済論	2		*	
	2	交通論	2		*	
	2	物流論	2		*	
	2	産業集積論	2		*	
	2	情報の経済学 I	2		*	
	2	情報の経済学 II	2		*	
	2	財政学 II	2		*	
	3	経営戦略論	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

理工学部 数学科 対象

教科に関する科目表（中一種 数学／高一種 数学）

免許教科			中一種・数学／高一種・数学					備考欄
免許法上の科目区分			代数	幾何学	解析学	「確率論、統計学」	コンピュータ	
該当科目			学	学	学	学	学	
配当年次	授業科目名	単位数						
理工学部 数学科 開講科目	2 代数学 I	2	◎					
	2 代数学 II	2	*					
	3 代数学 III	2	*					
	3 代数学 IV	2	*					
	3 代数学 V	2	*					
	3 代数学 VI	2	*					
	4 代数学 VII	2	*					
	4 代数学 VIII	2	*					
	1 線形代数 I	2	*					
	1 線形代数 II	2	*					
	2 線形代数 III	2	*					
	2 線形代数 IV	2	*					
	2 幾何学 I	2		◎				
	2 幾何学 II	2		*				
	3 幾何学 III	2		*				
	3 幾何学 IV	2		*				
	3 幾何学 V	2		*				
	3 幾何学 VI	2		*				
	4 幾何学 VII	2		*				
	4 幾何学 VIII	2		*				
	2 解析学 I	2			◎			
	2 解析学 II	2			*			
	3 解析学 III	2			*			
	3 解析学 IV	2			*			
	3 解析学 V	2			*			
	3 解析学 VI	2			*			
	4 解析学 VII	2			*			
	4 解析学 VIII	2			*			
	1 微分積分 I	2			*			
	1 微分積分 II	2			*			
	2 微分積分 III	2			*			
	2 微分積分 IV	2			*			
	2 数理情報 I	2				◎		
	3 数理情報 III	2				*		
	3 数理情報 IV	2				*		
	3 数理情報 V	2				*		
	3 数理情報 VI	2				*		
	4 数理情報 VII	2				*		
	4 数理情報 VIII	2				*		
	2 数理科学 I	2				*		
	2 数理科学 II	2				*		
	1 情報科学 I	2					◎	
	1 コンピューターサイエンス	2					*	
	4 計算機科学 VII	2					*	
	4 計算機科学 VIII	2					*	

最低修得単位数

20単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

理工学部 数学科 対象

教科に関する科目表（高一種 情報）

免許教科			高一種・情報 (実習を含む。)				情報と職業	備考欄
免許法上の科目区分			情報報 社会倫 理及び 理	情報シス テム	ネット報 ワ通 ク信	表現マルチメ ディ技術ア		
該当科目	配当年次	授業科目名	単位数					
理工学部 数学科 開講科目	2	情報社会と情報倫理	2	◎				
	3	人間情報処理論	2	*				
	1	コンピューターリテラシー	2	*				
	1	情報科学Ⅱ	2		◎			
	3	情報科学Ⅲ	2		*			
	2	計算機科学Ⅰ	4		◎			
	3	計算機科学Ⅲ	2		*			
	1	数学序論Ⅰ	2		*			
	3	アルゴリズム・データ構造論	2		*			
	2	数理情報Ⅱ	2			◎		
	1	数学序論Ⅱ	2			*		
	3	計算機科学Ⅳ	2			*		
	3	計算機科学VI	2				◎	
	3	情報ネットワーク論	2				*	
	2	計算機科学Ⅱ	4				◎	
	3	計算機科学V	2				*	
	3	情報科学Ⅳ	2				*	
	3	パターン情報処理論	2				*	
	3	数理物理学Ⅰ	2				*	
	3	数理物理学Ⅱ	2				*	
	2	情報技術の応用と職業	2				◎	
	3	経営情報論	2				*	
最低修得単位数				20単位				

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

理工学部 情報工学科 対象

教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	関工業科の	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
講 科 職 目 開 講 理 工 學 部 情 報 工 學 科 開 講 科 目	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
	1	理工学概論	2		◎	
	1	テクニカルリテラシー	2		*	
	1	コンピュータアーキテクチャ I	2		*	
	3	コンピュータアーキテクチャ II	2		*	
	2	デジタル回路 I	2		*	
	2	デジタル回路 II	2		*	
	2	言語・オートマトン	2		*	
	2	画像処理	2		*	
	2	プログラミング演習IV	1		*	
	2	情報数学基礎	2		*	
	2	電気電子回路 I	2		*	
	3	電気電子回路 II	2		*	
	3	組込システム	2		*	
	3	システム制御 II	2		*	
	3	ハードウェア記述言語	2		*	
	3	数値解析	2		*	
	3	コンパイラー	2		*	
	3	プログラミング言語論	2		*	
	3	パターン認識	2		*	
	3	感性情報処理	2		*	
	4	センサ工学	2		*	
	4	数理計画法	2		*	
	4	バーチャルリアリティ	2		*	
	4	アドバンストアルゴリズム	2		*	
	4	ロボットシステム	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 情報工学科 対象

教科に関する科目表（高一種 情報）

免許教科			高一種・情報 (実習を含む。)				情報と職業	備考欄
免許法上の科目区分			情 報 報 社 会 倫 及 理 び	及 コ ビ ン 情 ピ 報 ユ 處 理 タ	情 報 シ ス テ ム	ネ 情 ツ 報 ワ 通 ク 信		
該当科目	配当年次	授業科目名	単位数					
理工学部 情報工学科 開講科目	1	情報工学の世界	2	◎				
	1	コンピューターリテラシー	2	*				
	3	情報セキュリティ	2	*				
	1	プログラミング演習 I	1		◎			
	1	プログラミング演習 II	1		◎			
	2	プログラミング演習 III	1		*			
	2	アルゴリズム・データ構造 I	2		◎			
	3	アルゴリズム・データ構造 II	2		*			
	2	オペレーティングシステム	2		*			
	2	ディジタル信号処理 I	2		*			
	3	ディジタル信号処理 II	2		*			
	3	人工知能	2		*			
	3	システム制御 I	2		*			
	4	言語情報処理	2		*			
	2	データベース	2			◎		
	2	ソフトウェア工学	2			*		
	2	情報工学実験 I	2			*		
	2	情報工学実験 II	2			*		
	1	情報通信ネットワーク	2				◎	
	2	情報理論	2				*	
	3	情報通信システム	2				*	
	3	信号伝送論	2				*	
	4	符号理論	2				*	
	4	ワイヤレス通信	2				*	
	1	マルチメディア基礎	2				◎	
	3	コンピュータグラフィックス	2				*	
	3	音声・音響信号処理	2				*	
	3	コンピュータビジョン	2				*	
	3	情報工学実験 III	2				*	
	3	情報技術の応用と職業	2				◎	
最低修得単位数				20単位				

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

理工学部 電気電子工学科 対象

教科に関する科目表 (中一種 理科／高一種 理科)

免許教科			中一種・理科								高一種・理科								備考欄
該当科目	免許法上の科目区分		物理	化物	生物学	地学	(コンピュータ活用を含む)				物理	化物	生物学	地学	(コンピュータ活用を含む)				備考欄
	配当年次	授業科目名					理学実験	化学実験	生物学実験	地学実験					理学実験、	化学実験、	生物学実験、	地学実験、	
理工学部 電気電子工学科 開講科目	1	物理学 I	2	◎							◎								「物理学実験 I」、「化学実験 I 及び II」、「生物学実験」、「地学実験 I 及び II」から1つ以上を選択して修得すること
	1	物理学 II	2	◎							◎								
	1	物理学演習	1	*							*								
	1	電気電子工学概論	2	*							*								
	1	電気回路 I および演習	3	*							*								
	2	電気回路 II および演習	3	*							*								
	2	電気回路 III	2	*							*								
	2	電気磁気学 I および演習	3	*							*								
	2	電気磁気学 II および演習	3	*							*								
	2	電気磁気学 III	2	*							*								
	3	電気電子物性論 I	2	*							*								
	3	電気電子物性論 II	2	*							*								
	3	電気電子物性論 III	2	*							*								
	1	化学 I	2		◎							◎							
	1	化学 II	2		◎							◎							
	3	電気化学	2		*							*							
	1	生物学	2			◎							◎						
	2	地学 I	2				◎							◎					
	2	地学 II	2				*							*					
	1	物理学実験 I	1					◎							○				
	1	化学実験 I	1						◎						○				
	1	化学実験 II	1						◎						○				
	2	生物学実験	1							◎					○				
	3	地学実験 I	1							◎					○				
	3	地学実験 II	1								◎					○			
	1	物理学実験 II	1						*						*				
	2	電気電子工学基礎実験	1						*						*				
	2	電気電子工学実験 I	2						*						*				
	3	電気電子工学実験 II	2						*						*				
	3	電気電子工学実験 III	2						*						*				
最低修得単位数				20単位					20単位										

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

理工学部 電気電子工学科 対象
教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
講義科目 理工学部電気電子工学科開講科目	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
	1	理工学概論	2		◎	
	1	コンピューターサイエンス	2		*	
	1	コンピューターリテラシー	2		*	
	1	電気基礎理論 I	2		*	
	1	電気基礎理論 II	2		*	
	1	プログラミング I および演習	3		*	
	2	プログラミング II および演習	3		*	
	2	電気基礎理論 III	2		*	
	2	電気基礎理論 IV	2		*	
	2	技術者倫理	2		*	
	2	電気計測	2		*	
	2	エネルギー変換・発生工学	2		*	
	2	通信システム	2		*	
	2	電子回路 A	2		*	
	2	電子回路 B	2		*	
	3	電子回路 C	2		*	
	2	デジタル回路 I	2		*	
	3	デジタル回路 II	2		*	
	2	組み込みシステム I および演習	3		*	
	3	組み込みシステム II および演習	3		*	
	2	制御工学 I	2		*	
	3	制御工学 II	2		*	
	3	デジタル信号処理 I	2		*	
	3	デジタル信号処理 II	2		*	
	3	エネルギー伝送工学	2		*	
	3	電気機器工学	2		*	
	3	高電圧工学	2		*	
	3	電力系統工学	2		*	
	3	パワーエレクトロニクス	2		*	
	3	半導体工学 I	2		*	
	3	半導体工学 II	2		*	
	3	電子計測	2		*	
	3	センサ・センシング	2		*	
	3	情報理論	2		*	
	3	電磁波工学	2		*	
	3	ネットワーク	2		*	
	3	データベース	2		*	
	4	電気設計・製図	2		*	
	4	電気法規・施設管理	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 材料機能工学科 対象

教科に関する科目表（中一種 理科／高一種 理科）

免許教科			中一種・理科						高一種・理科						備考欄	
該当科目	免許法上の科目区分		物理	化物	生体	地学	(コンピュータ活用を含む)			物理	化物	生体	地学	(コンピュータ活用を含む)		
	配当年次	授業科目名					理学実験	化学実験	生物学実験					物理学実験	生物学実験	地学実験
理工学部材料機能工学科開講科目	1	物理学 I	2	◎						◎						
	1	物理学 II	2	◎						◎						
	1	物理学演習	1	*						*						
	1	電気回路および演習	3	*						*						
	1	電磁気学 I および演習	3	*						*						
	2	電磁気学 II および演習	3	*						*						
	2	物性論 I および演習	3	*						*						
	2	物性論 II および演習	3	*						*						
	2	材料力学 I および演習	3	*						*						
	2	材料力学 II および演習	3	*						*						
	2	量子力学 I および演習	3	*						*						
	2	量子力学 II および演習	3	*						*						
	2	熱力学	2	*						*						
	2	統計力学	2	*						*						
	3	量子エレクトロニクス	2	*						*						
	1	化学 I	2	◎						◎						
	1	化学 II	2	◎						◎						
	3	分析化学	2	*						*						
	3	化学反応論	2	*						*						
	3	量子化学	2	*						*						
	3	高分子物性	2	*						*						
	3	電気化学	2	*						*						
	1	生物学	2		◎						◎					
	2	地学 I	2			◎						◎				
	2	地学 II	2			*						*				
	1	物理学実験 I	1				◎						○	「物理学実験 I」、「化学実験 I 及び II」、「生物学実験」、「地学実験 I 及び II」から1つ以上を選択して修得すること		
	1	化学実験 I	1					◎					○			
	1	化学実験 II	1						◎				○			
	2	生物学実験	1							◎			○			
	2	地学実験 I	1								◎		○			
	2	地学実験 II	1									◎		「物理学実験 II」、「材料機能工学実験 I」、「材料機能工学実験 II」、「材料機能工学実験 III」から1つ以上を選択して修得すること		
	1	物理学実験 II	1						*							
	2	材料機能工学実験 I	2						*							
	3	材料機能工学実験 II	2						*							
	3	材料機能工学実験 III	2						*							
最低修得単位数				20単位				20単位								

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

理工学部 材料機能工学科 対象
教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
講 教 科 職 開 理 工 學 部 材 料 機 能 工 學 科 開 講 科 目	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
	1	理工学概論	2		◎	
	1	コンピューターリテラシー	2		*	
	1	工業力学	2		*	
	2	技術者倫理	2		*	
	2	製図基礎	2		*	
	2	電子回路設計・製作	2		*	
	2	アナログ電子回路	2		*	
	2	鉄鋼材料	2		*	
	2	科学技術リテラシー	2		*	
	3	真空工学	2		*	
	3	表面工学	2		*	
	3	デジタル電子回路	2		*	
	3	半導体デバイス	2		*	
	3	半導体基礎論	2		*	
	3	半導体工学	2		*	
	3	結晶材料	2		*	
	3	結晶成長	2		*	
	3	磁性材料	2		*	
	3	光・誘電工学	2		*	
	3	合金材料	2		*	
	3	焼結材料	2		*	
	3	高分子材料	2		*	
	3	複合材料	2		*	
	3	材料強度学	2		*	
	3	結晶塑性学	2		*	
	3	機械加工	2		*	
	3	溶融加工	2		*	
	3	機械要素	2		*	
	3	機械設計・製図	2		*	
	3	安全工学	2		*	
	3	エレクトロニクス材料分析・評価法	2		*	
	3	機械材料分析・評価法	2		*	
	3	先端技術管理	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 應用化学科 対象

教科に関する科目表 (中一種 理科／高一種 理科)

免許教科			中一種・理科							高一種・理科							備考欄				
免許法上の科目区分			物理	化 物	生 物	地 理	(コンピュータ活用を含む)			物理	化 物	生 物	地 理	(コンピュータ活用を含む)			備考欄				
該当科目							物 理	化 学	生 物					物 理	化 学	生 物					
配当年次	授業科目名	単位数					物 理	化 学	生 物					物 理	化 学	生 物		理工学部応用化学科開講科目			
1	物理学 I	2	◎								◎							理工学部応用化学科開講科目			
1	物理学 II	2	◎								◎										
1	物理学演習	1	*								*										
1	化学 I	2	◎								◎										
1	化学 II	2	◎								◎										
1	化学基礎論	2	*								*										
1	有機化学 I	2	*								*										
2	有機化学 II	2	*								*										
1	無機化学 I	2	*								*										
2	無機化学 II	2	*								*										
1	物理化学 I	2	*								*										
2	物理化学 II	2	*								*										
2	有機化学演習	1	*								*										
2	無機化学演習	1	*								*										
2	物理化学演習	1	*								*										
2	化学反応論	2	*								*										
2	高分子化学	2	*								*										
2	化学結晶学	2	*								*										
2	錯体化学	2	*								*										
3	高分子物性	2	*								*										
3	コロイド化学	2	*								*										
1	生物学	2		◎							◎										
3	生化学	2		*							*										
2	地学 I	2			◎							◎									
2	地学 II	2			*							*									
1	物理学実験 I	1					◎						○				「物理学実験 I」、「化学実験 I 及び II」、「生物学実験」、「地学実験 I 及び II」から1つ以上を選択して修得すること				
1	化学実験 I	1						◎					○								
1	化学実験 II	1						◎					○								
2	生物学実験	1							◎				○								
2	地学実験 I	1								◎			○								
2	地学実験 II	1								◎			○								
1	物理学実験 II	1					*							*							
2	応用化学実験 I	2							*						*						
2	応用化学実験 II	2							*						*						
最低修得単位数			20単位							20単位											

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

理工学部 應用化学科 対象

教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
講 科 職 目 開 講 理 工 學 部 應 用 化 學 科 開 講 科 目	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
	1	理工学概論	2		◎	
	1	コンピューターリテラシー	2		*	
	1	電磁気学	2		*	
	1	安全工学	2		*	
	1	実験技術論	2		*	
	2	技術者倫理	2		*	
	2	物質構造学	2		*	
	2	工業力学	2		*	
	2	分析化学	2		*	
	2	化学工学	2		*	
	2	分離精製工学	2		*	
	3	金属材料	2		*	
	3	電子材料	2		*	
	3	半導体工学	2		*	
	3	流動現象学	2		*	
	3	環境材料	2		*	
	3	複合材料	2		*	
	3	表面工学	2		*	
	3	電気化学	2		*	
	3	製図基礎	2		*	
	3	機械要素	2		*	
	3	機械設計・製図	2		*	
	3	真空工学	2		*	
	3	科学表現論	2		*	
	3	先端技術管理	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 機械工学科 対象

教科に関する科目表（中一種 理科／高一種 理科）

免許教科			中一種・理科						高一種・理科						備考欄		
該当科目	免許法上の科目区分		物理	化 物	生 物	地 理	(コンピュータ活用を含む)			物理	化 物	生 物	地 理	(コンピュータ活用を含む)			備考欄
	配当年次	授業科目名					理 學	學	學					物 理 學 實 驗	化 學 學 實 驗	生 物 學 學 實 驗	地 學 學 實 驗
理工学部機械工学科開講科目	1	物理学 I	2	◎						◎							「物理学実験 I」、「化学実験 I 及び II」、「生物学実験」、「地学実験 I 及び II」から1つ以上を選択して修得すること
	1	物理学 II	2	◎						◎							
	1	物理学演習	1	*						*							
	2	熱機関工学	2	*						*							
	2	流体力学 I	2	*						*							
	2	流体力学 II	2	*						*							
	2	材料力学 I	2	*						*							
	2	材料力学 II	2	*						*							
	2	機械力学 I	2	*						*							
	2	機械力学 II	2	*						*							
	2	熱力学 I	2	*						*							
	3	熱力学 II	2	*						*							
	3	伝熱工学	2	*						*							
	3	応用流体力学	2	*						*							
	3	材料強度学 I	2	*						*							
	3	材料強度学 II	2	*						*							
	1	化学 I	2	◎						◎							
	1	化学 II	2	◎						◎							
	1	生物学	2		◎						◎						
	2	地学 I	2			◎						◎					
	2	地学 II	2			*						*					
	1	物理学実験 I	1				◎						○				
	1	化学実験 I	1					◎					○				
	1	化学実験 II	1						◎					○			
	2	生物学実験	1							◎				○			
	3	地学実験 I	1							◎				○			
	3	地学実験 II	1							◎				○			
	1	物理学実験 II	1					*							*		
	3	機械工学実験	2					*							*		
最低修得単位数				20単位				20単位									

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

理工学部 機械工学科 対象

教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
講教科目開	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
理工学部機械工学科開講科目	1	理工学概論	2		◎	
	1	コンピューターリテラシー	2		*	
	1	機械材料	2		*	
	1	コンピュータープログラミング	2		*	
	1	機械工学実習	2		*	
	1	機械工学概論	2		*	
	2	技術者倫理	2		*	
	2	機械設計 I	2		*	
	2	機械設計 II	2		*	
	2	機械要素	2		*	
	2	機械加工学	2		*	
	2	塑性加工	2		*	
	2	機構学	2		*	
	2	コンピューターシミュレーション	2		*	
	2	基礎電気工学	2		*	
	2	基礎電子工学	2		*	
	2	データ解析工学	2		*	
	3	流体機械	2		*	
	3	生産管理	2		*	
	3	機械振動学	2		*	
	3	制御工学 I	2		*	
	3	制御工学 II	2		*	
	3	機械技術者倫理	2		*	
	3	機械設計・製作	4		*	
	3	CAE	2		*	
	4	計測工学	2		*	
4	新技術概論	2		*		
4	技術英語	2		*		
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 交通機械工学科 対象

教科に関する科目表 (中一種 理科／高一種 理科)

免許教科			中一種・理科						高一種・理科						備考欄	
該当科目	免許法上の科目区分 配当年次	授業科目名 単位数	物 理 學 学 学 學	化 物 學 学 学 學	生 物 學 学 学 學	地 理 學 学 学 學	(コンピュータ活用を含む)			物 理 學 学 学 學	化 物 學 学 学 學	生 物 學 学 学 學	地 理 學 学 学 學	(コンピュータ活用を含む)		
							物 理 學 實 驗	化 物 學 實 驗	生 物 學 實 驗					物 理 學 實 驗	化 物 學 實 驗	生 物 學 實 驗
理工学部 交通機械工学科 開講科目	1	物理学 I	2	◎						◎						
	1	物理学 II	2	◎						◎						
	1	物理学演習	1	*						*						
	1	工業力学	2	*						*						
	2	工業力学演習	1	*						*						
	2	材料力学 I	2	*						*						
	2	材料力学 II	2	*						*						
	2	流体力学 I	2	*						*						
	2	流体力学 II	2	*						*						
	2	熱力学 I	2	*						*						
	2	熱力学 II	2	*						*						
	2	機械力学	2	*						*						
	3	材料力学演習	1	*						*						
	3	構造力学	2	*						*						
	3	流体力学演習	1	*						*						
	3	流れ学	2	*						*						
	3	振動学	2	*						*						
	4	エネルギ工学	2	*						*						
	1	化学 I	2		◎					◎						
	1	化学 II	2	◎						◎						
	1	生物学	2		◎					◎						
	2	地学 I	2			◎						◎				
	2	地学 II	2			*						*				
	1	物理学実験 I	1				◎						○	「物理学実験 I」、「化学実験 I 及び II」、「生物学実験」、「地学実験 I 及び II」から1つ以上を選択して修得すること		
	1	化学実験 I	1					◎					○			
	1	化学実験 II	1					◎					○			
	2	生物学実験	1						◎				○			
	2	地学実験 I	1							◎			○			
	2	地学実験 II	1							◎			○			
	1	物理学実験 II	1					*					*			
	2	交通システム実習 I	1					*					*			
	2	交通システム実習 II	1					*					*			
	3	交通システム実習 I	1					*					*			
	3	交通システム実習 II	1					*					*			
最低修得単位数			20単位						20単位							

(◎)は必修科目、(○)は選択必修、(*)は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

理工学部 交通機械工学科 対象
教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
講 科 開 講 理 工 學 部 交 通 機 械 工 學 科 開 講 科 目	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
	1	理工学概論	2	◎		
	1	コンピューターリテラシー	2	*		
	1	環境倫理	2	*		
	1	情報技術	1	*		
	1	図学	2	*		
	1	製図	1	*		
	1	スタイリング	1	*		
	1	ハンドエンジニアリング	1	*		
	2	技術者倫理	2	*		
	2	コンピューターシミュレーション	2	*		
	2	材料科学 I	2	*		
	2	材料科学 II	2	*		
	2	機構学	2	*		
	2	機械要素 I	2	*		
	3	機械要素 II	2	*		
	2	制御工学 I	2	*		
	3	制御工学 II	2	*		
	3	CAM	1	*		
	3	交通機工作法	2	*		
	3	設計・CAD	1	*		
	3	交通機設計	1	*		
	3	エンジン I	2	*		
	3	エンジン II	2	*		
	3	自動車工学 I	2	*		
	3	自動車工学 II	2	*		
	3	航空工学 I	2	*		
	3	航空工学 II	2	*		
	3	鉄道車両工学 I	2	*		
	3	鉄道車両工学 II	2	*		
	3	知的交通システム学	2	*		
	3	管理科学	2	*		
	3	エレクトロニクス I	2	*		
	3	エレクトロニクス II	2	*		
	4	CAE	1	*		
	4	ビーグルダイナミックス	2	*		
	4	航空宇宙学	2	*		
	4	船舶工学	2	*		
	4	計測工学	2	*		
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 メカトロニクス工学科 対象

教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
理工学部メカトロニクス工学科開講科目 講科目開講科目	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
	1	理工学概論	2		◎	
	1	コンピューターリテラシー	2		*	
	1	図学	2		*	
	1	電気回路基礎	2		*	
	1	コンピュータ・アーキテクチャ	2		*	
	2	技術者倫理	2		*	
	2	コンピュータープログラミング	2		*	
	2	コンピューターグラフィックス	2		*	
	2	機械製図	2		*	
	2	電気設計・製図	2		*	
	2	機構学	2		*	
	2	機械要素	2		*	
	2	アナログ電子回路	2		*	
	2	電子回路と部品	2		*	
	2	デジタル電子回路	2		*	
	2	機械要素設計	2		*	
	2	機械技術者倫理	2		*	
	2	制御工学 I	2		*	
	3	制御工学 II	2		*	
	3	メカトロニクス実験 I	2		*	
	3	メカトロニクス実験 II	2		*	
	3	信号処理工学	2		*	
	3	技術英語	2		*	
	3	バイワイヤアーキテクチャ	2		*	
	3	ネットワーク	2		*	
	3	電気機器工学	2		*	
	3	振動学	2		*	
	3	機械加工学	2		*	
	3	自動車工学 I	2		*	
	3	自動車工学 II	2		*	
	3	エネルギー工学	2		*	
	3	伝熱工学	2		*	
	3	生体信号処理	2		*	
	3	医療機械工学	2		*	
	3	パワーエレクトロニクス	2		*	
	3	センサ・センシング	2		*	
	3	生産管理	2		*	
	4	CAE	2		*	
4	計測工学	2		*		
4	電気法規・施設管理	2		*		
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 社会基盤デザイン工学科 対象

教科に関する科目表（中一種 理科／高一種 理科）

免許教科			中一種・理科								高一種・理科								備考欄	
免許法上の科目区分			物 理	化 學	生 物	地 理	(コンピュータ活用を含む)				物 理	化 學	生 物	地 理	(コンピュータ活用を含む)					
該当科目	配当年次	授業科目名	単位数	学 学	学 学	学 学	学 学	物理 理學	化 學 實驗	生 物 學 實驗	地 理 學 實驗	物 理 學 實驗	化 學 實驗	生 物 學 實驗	地 理 學 實驗	物 理 學 實驗	化 學 實驗	生 物 學 實驗	地 理 學 實驗	
理工学部社会基盤デザイン工学科開講科目	1	物理学 I	2	◎								◎								
	1	物理学 II	2	◎								◎								
	1	物理学演習	1	*								*								
	1	材料力学	2	*								*								
	1	力学基礎	2	*								*								
	1	建設材料学	2	*								*								
	2	構造力学 I	2	*								*								
	2	構造力学 II	2	*								*								
	3	構造力学 III	2	*								*								
	2	水理学 I	2	*								*								
	2	水理学 II	2	*								*								
	3	水理学 III	2	*								*								
	2	土質力学 I	2	*								*								
	2	土質力学 II	2	*								*								
	3	土質力学 III	2	*								*								
	3	鋼構造設計論	2	*								*								
	4	耐震工学	2	*								*								
	1	化学 I	2	◎								◎								
	1	化学 II	2	◎								◎								
	1	生物学	2		◎							◎								
	2	地学 I	2			◎										◎				
	2	地学 II	2			*										*				
	3	水域環境工学	2			*										*				
	3	地圈環境工学	2			*										*				
	4	水質保全学	2			*										*				
	1	物理学実験 I	1				◎									○	「物理学実験 I」、「化学実験 I 及び II」、「生物学実験」、「地学実験 I 及び II」から1つ以上を選択して修得すること			
	1	化学実験 I	1					◎								○				
	1	化学実験 II	1					◎								○				
	2	生物学実験	1						◎							○				
	3	地学実験 I	1							◎						○				
	3	地学実験 II	1							◎						○				
	1	物理学実験 II	1				*										*			
	2	基礎現象実験	2					*										*		
	3	土質・材料試験法	2					*										*		
最低修得単位数				20単位								20単位								

(◎)は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

理工学部 社会基盤デザイン工学科 対象

教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
講 教 科 職 目 開 講 科 目	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
理工学部社会基盤デザイン工学科開講科目	1	理工学概論	2		◎	
	1	コンピューターリテラシー	2		*	
	1	測量学	2		*	
	1	デザイン技法	2		*	
	2	技術者倫理	2		*	
	2	数値計算・プログラミング演習 I	1		*	
	2	数値計算・プログラミング演習 II	1		*	
	2	図学・CAD 演習	1		*	
	2	測量学実習 I	1		*	
	2	測量学実習 II	1		*	
	2	都市安全学	2		*	
	2	ランドスケープデザイン	2		*	
	2	社会基盤計画学 I	2		*	
	3	社会基盤計画学 II	2		*	
	3	都市デザイン学	2		*	
	3	都市・国土制度論	2		*	
	3	コンクリート構造設計論	2		*	
	3	建設施工法	2		*	
	3	河川防災工学	2		*	
	3	海域防災工学	2		*	
	3	地盤防災工学	2		*	
	4	応用測量・GIS 実習	2		*	
	4	交通デザイン学	2		*	
	4	プロジェクトマネジメント	2		*	
	4	施設維持管理論	2		*	
	4	山地防災工学	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 環境創造学科 対象

教科に関する科目表 (中一種 理科／高一種 理科)

免許教科			中一種・理科						高一種・理科						備考欄		
該当科目	免許法上の科目区分		物理	化物	生物学	地学	(コンピュータ活用を含む)			物理	化物	生物学	地学	(コンピュータ活用を含む)			
	配当年次	授業科目名					理學実験	化学実験	生物学実験					理學実験、			
理工学部環境創造学科開講科目	1	物理学 I	2	◎						◎							
	1	物理学 II	2	◎						◎							
	1	物理学演習	1	*						*							
	1	環境材料学	2	*						*							
	2	材料力学	2	*						*							
	2	流体力学	2	*						*							
	2	熱・光環境論	2	*						*							
	2	振動・騒音論	2	*						*							
	2	構造力学 I	2	*						*							
	3	構造力学 II	2	*						*							
	3	水理学	2	*						*							
	1	化学 I	2	◎						◎							
	1	化学 II	2	◎						◎							
	1	生物学	2		◎					◎							
	1	地学 I	2			◎					◎						
	1	地学 II	2			*					*						
	2	気圧環境学	2			*					*						
	2	水環境学	2			*					*						
	2	地圏環境学	2			*					*						
	2	環境変遷学	2			*					*						
	3	環境気象学	2			*					*						
	3	水処理学	2			*					*						
	3	地震・活断層論	2			*					*						
	3	土壤地下水汚染学	2			*					*						
	1	物理学実験 I	1				◎							○	「物理学実験I」、「化学実験I及びII」、「生物学実験」、「地学実験I及びII」から1つ以上を選択して修得すること		
	1	化学実験 I	1					◎						○			
	1	化学実験 II	1					◎						○			
	2	生物学実験	1						◎					○			
	1	地学実験 I	1							◎				○			
	1	地学実験 II	1							◎				○			
	1	物理学実験 II	1					*							*		
	3	環境創造学実験 I	2					*							*		
	3	環境創造学実験 II	2					*							*		
最低修得単位数				20単位					20単位					△			

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

理工学部 環境創造学科 対象
教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
講 教 科 職 目 開 講 科 目	配当年次	授業科目名	単位数	職業指導	工業の関係科目	
	3	職業指導論 I	2		◎	
	3	★職業指導論 II	2	*		
理工学部環境創造学科開講科目	1	理工学概論	2		◎	
	1	コンピューターリテラシー	2		*	
	1	環境造形学	2		*	
	1	環境デザイン図法	2		*	
	2	技術者倫理	2		*	
	2	情報処理 I	2		*	
	2	情報処理 II	2		*	
	2	環境計測学	2		*	
	2	地域環境調査実習 I	1		*	
	2	地域環境調査実習 II	1		*	
	2	空間創造学	2		*	
	2	居住環境設計 I	2		*	
	2	居住環境設計 II	2		*	
	2	環境共生都市論	2		*	
	3	コミュニケーションスキル	2		*	
	3	測量学	2		*	
	3	測量学実習	2		*	
	3	環境リモートセンシング	2		*	
	3	水域環境創造学	2		*	
	3	環境創造設備学	2		*	
	3	交通環境工学	2		*	
	3	都市環境設計	2		*	
	3	構造設計学 I	2		*	
	3	構造設計学 II	2		*	
	4	環境アセスメント	2		*	
	4	環境法	2		*	
	4	建設法規	2		*	
	4	材料リサイクル	2		*	
	4	建設施工学	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

理工学部 建築学科 対象

教科に関する科目表（中一種 理科／高一種 理科）

免許教科			中一種・理科						高一種・理科						備考欄		
免許法上の科目区分			物 理 該当科目	化 物 授業科目名	生 物 単位数	地 理 配当年次	（コンピュータ活用を含む。）			物 理 理 学 実 験	化 学 學 学 実 驗	生 物 物 學 實 驗	地 理 學 學 實 驗	（コンピュータ活用を含む。）			備考欄
物理	化学	生物学					物理	化学	生物学					物理	化学	生物学	
理工学部 建築学科 開講科目	1	物理学 I	2	◎						◎							「物理学実験 I」、「化学実験 I 及び II」、「生物学実験」、「地学実験 I 及び II」から1つ以上を選択して修得すること
	1	物理学 II	2	◎						◎							
	1	物理学演習	1	*						*							
	1	建築構造概論	2	*						*							
	1	建築材料概論	2	*						*							
	1	構造力学概論	2	*						*							
	1	構造力学 I	2	*						*							
	2	構造力学 II	2	*						*							
	2	構造力学 III	2	*						*							
	4	構造力学 IV	2	*						*							
	2	建築環境物理	2	*						*							
	2	建築材料	2	*						*							
	2	建築各種構造 I	2	*						*							
	2	建築各種構造 II	2	*						*							
	3	耐震工学	2	*						*							
	1	化学 I	2	◎						◎							
	1	化学 II	2	◎						◎							
	1	生物学	2		◎						◎						
	2	地学 I	2			◎						◎					
	2	地学 II	2			*						*					
最低修得単位数			20単位						20単位						△		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

理工学部 建築学科 対象

教科に関する科目表（高一種 工業）

免許教科				高一種・工業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	工業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
理工学部建築学科開講科目	3	職業指導論 I	2	◎		
	3	★職業指導論 II	2	*		
	1	理工学概論	2		◎	
	1	コンピューターリテラシー	2		*	
	1	建築史概論	2		*	
	1	建築計画概論	2		*	
	1	建築環境概論	2		*	
	1	デザイン基礎 I	2		*	
	1	デザイン基礎 II	2		*	
	2	技術者倫理	2		*	
	2	西洋建築史	2		*	
	2	建築応用数学	2		*	
	2	建築環境工学	2		*	
	2	建築設備概論	2		*	
	2	CAD デザイン	2		*	
	2	基本空間デザイン I	2		*	
	2	基本空間デザイン II	2		*	
	2	建築工法	2		*	
	2	都市計画	2		*	
	2	建築計画 I	2		*	
	2	建築計画 II	2		*	
	3	建築計画 III	2		*	
	2	建築環境計画 I	2		*	
	3	建築環境計画 II	2		*	
	3	日本建築史	2		*	
	3	アジア建築史	2		*	
	3	数値計算法	2		*	
	3	インテリアデザイン	2		*	
	3	建築構造デザイン I	2		*	
	3	建築構造デザイン II	2		*	
	3	建築設備工学 I	2		*	
	3	建築設備工学 II	2		*	
	3	生活空間計画	2		*	
	3	都市防災	2		*	
	3	生産工学 I	2		*	
	3	生産工学 II	2		*	
	3	建築法規行政	2		*	
	3	建築デザイン I	2		*	
	3	建築デザイン II	2		*	
	4	建築デザイン III	2		*	
	4	近代建築史	2		*	
	4	建築構造設計	2		*	
	4	都市環境デザイン	2		*	
	4	地域計画	2		*	
	4	建築維持保全	2		*	

最低修得単位数

20単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

★の科目は毎年開講するとは限らない。

農学部 生物資源学科 対象

教科に関する科目表（中一種 理科／高一種 理科）

免許教科			中一種・理科						高一種・理科						備考欄	
該当科目	免許法上の科目区分		物理	化物	生學	地學	(コンピュータ活用を含む)			物理	化物	生學	地學	(コンピュータ活用を含む)		
	理	学					生物	物理学	生物学					生物	物理学	
農学部生物資源学科開講科目	配当年次	授業科目名	単位数	学	学	学	学	物理	化学	生物学	地学	生物	物理学	生物学	地学	4科目のうち 1科目選択
	1	物理学	2	◎								◎				
	1・2	物質の成り立ち	2	*								*				
	1	化学 I	2		◎								◎			
	1	化学 II	2		◎								◎			
	1	生物化学 I	2		*								*			
	2	生物化学 II	2		*								*			
	1	有機化学	2		*								*			
	1	生物学 I	2			◎							◎			
	1	生物学 II	2			◎							◎			
	1	動物分類・形態学	2			*							*			
	1	植物分類・形態学	2			*							*			
	1	微生物学	2			*							*			
	2	生物資源統計学	2			*							*			
	2	植物生理学	2			*							*			
	2	遺伝学	2			*							*			
	2	育種学	2			*							*			
	2	細胞生物学	2			*							*			
	2	基礎昆虫学	2			*							*			
	3	分子生物学	2			*							*			
	3	植物細胞工学	2			*							*			
	1	地学	2				◎						◎			
	1・2	地球と宇宙	2				*						*			
	3	土壤学	2				*						*			
	2	物理学実験	1					◎					○			
	1	化学実験	1						◎				○			
	1	生物学実験	1							◎			○			
	2	地学実験	1								◎		○			
	3	遺伝育種学実験	1							*				*		
	3	昆虫学実験	1							*				*		

最低修得単位数

20単位

20単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

農学部 生物資源学科 対象

教科に関する科目表（高一種 農業）

免許教科				高一種・農業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	農業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
農学部生物資源学科開講科目	2・3	職業指導論	2	◎		
	2・3	キャリアデザイン学	2	*		
	1	生物資源学概説	2		◎	
	1	作物生産科学	2		*	
	1	園芸学	2		*	
	1	生物資源経済学	2		*	
	2	生物資源学実験	3		*	
	2	植物病理学	2		*	
	2	応用昆虫学	2		*	
	2	果樹園芸学	2		*	
	2	野菜園芸学	2		*	
	2	花き園芸学	2		*	
	2	生物生産經營学	2		*	
	2	生命科学の技術	2		*	
	2	フィールド生産技術論	2		*	
	2	食用作物学Ⅰ	2		*	
	3	食用作物学Ⅱ	2		*	
	2	農場実習Ⅰ	1		*	
	2	農場実習Ⅱ	1		*	
	3	農場実習Ⅲ	2		*	
	3	農場実習Ⅳ	1		*	
	3	肥料学	2		*	
	3	農薬学	2		*	
	3	青果保藏学	2		*	
	3	施設園芸学	2		*	
	3	資源作物学	2		*	
	3	熱帯農業論	2		*	
	3	雑草学	2		*	
	3	植物病理学実験	1		*	
	3	食品経済学	2		*	
	3	植物感染制御学	2		*	
	3	農政学	2		*	
	3	農業環境微生物学	2		*	
	3	動物生産学	2		*	
	3	作物学実験	1		*	
	3	園芸学実験	1		*	
	3	生物生産經營学演習	1		*	
	3	食品科学	2		*	
	3	フィールドサイエンス	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

農学部 応用生物化学科 対象

教科に関する科目表（中一種 理科／高一種 理科）

免許教科			中一種・理科						高一種・理科						備考欄	
該当科目	免許法上の科目区分		物理	化物	生	地	(コンピュータ活用を含む)			物理	化物	生	地	(コンピュータ活用を含む)		
	理	学					理	化	生					理	化	
配当年次	授業科目名	単位数	学	学	学	学	理	学	理	学	学	学	理	化	生	地
農学部応用生物化学科開講科目	1 物理学	2	◎							◎						
	1・2 物質の成り立ち	2	*							*						
	1 化学 I	2		◎							◎					
	1 化学 II	2		◎							◎					
	1 分析化学	2	*								*					
	1 有機化学 I	2	*								*					
	2 有機化学 II	2	*								*					
	1 無機化学 I	2	*								*					
	2 無機化学 II	2	*								*					
	1 物理化学 I	2	*								*					
	2 物理化学 II	2	*								*					
	2 生物有機化学	2	*								*					
	3 機器分析化学	2	*								*					
	3 化学工学	2	*								*					
	1 生物学 I	2		◎							◎					
	1 生物学 II	2		◎							◎					
	1 生物化学 I	2		*							*					
	2 生物化学 II	2		*							*					
	2 代謝生化学	2		*							*					
	2 微生物学 I	2		*							*					
	2 微生物学 II	2		*							*					
	3 分子生物学	2		*							*					
	3 タンパク質・遺伝子工学	2		*							*					
	1 地学	2			◎						◎					
	1・2 地球と宇宙	2			*						*					
	2 物理学実験	1				◎					○			4科目のうち 1科目選択		
	1 化学実験	1					◎				○					
	1 生物学実験	1						◎			○					
	2 地学実験	1						◎			○					
最低修得単位数			20単位						20単位						△	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

農学部 應用生物化学科 対象

教科に関する科目表（高一種 農業）

免許教科				高一種・農業		備考欄
免許法上の科目区分				職業指導	農業の関係科目	
該当科目						
	配当年次	授業科目名	単位数			
農学部応用生物化学科開講科目	2・3	職業指導論	2	◎		
	2・3	キャリアデザイン学	2	*		
	1	応用生物化学概説	2		◎	
	1	植物生命科学	2		*	
	1	食品化学総論	2		*	
	1	農場実習	1		*	
	2	食品加工実習	1		*	
	2	バイオテクノロジー	2		*	
	2	栄養科学 I	2		*	
	2	栄養科学 II	2		*	
	2	食品原料学	2		*	
	2	畜産食品原料学	2		*	
	2	食品利用学	2		*	
	2	生物物理化学	2		*	
	2	フィールド生産技術論	2		*	
	3	食品安全・衛生学	2		*	
	3	食品機能学 I	2		*	
	3	食品機能学 II	2		*	
	3	応用生物化学実験V	1		*	
	3	応用生物化学実験VII	1		*	
	3	動物生命科学	2		*	
	3	醸造・発酵科学	2		*	
	3	フィールドサイエンス	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

農学部 生物環境科学科 対象

教科に関する科目表 (中一種 理科／高一種 理科)

免許教科			中一種・理科								高一種・理科								備考欄		
該当科目	配当年次	授業科目名	単位数	物	化	生	地	(コンピュータ活用を含む)				物	化	生	地	(コンピュータ活用を含む)					
				理	理	物	物	物	化	生	地	理	理	物	物	物	地	理	理		
農学部生物環境科学科開講科目	1	物理学	2	◎								◎									4科目のうち1科目選択
	1・2	物質の成り立ち	2	*								*									
	1	化学 I	2		◎								◎								
	1	化学 II	2		◎								◎								
	1	無機化学	2		*								*								
	2	有機化学	2		*								*								
	2	環境分析化学	2		*								*								
	2	水圏環境化学	2		*								*								
	3	機器分析化学	2		*								*								
	1	生物学 I	2			◎							◎								
	1	生物学 II	2			◎							◎								
	1	生態学	2			*							*								
	1	植物分類学	2			*							*								
	1	生物化学 I	2			*							*								
	2	生物化学 II	2			*							*								
	2	微生物学	2			*							*								
	2	分子生物学	2			*							*								
	2	進化生物学	2			*							*								
	2	生物統計学	2			*							*								
	2	環境動物学	2			*							*								
	2	植物生命化学	2			*							*								
	2	環境微生物学	2			*							*								
	3	動物環境生理学	2			*							*								
	3	野生動物管理論	2			*							*								
	3	植物生理学	2			*							*								
	3	植物機能科学	2			*							*								
	3	植物環境適応論	2			*							*								
	1	地学	2				◎							◎							
	1・2	地球と宇宙	2				*							*							
	2	土壤学	2				*							*							
	2	物理学実験	1					◎						○							
	1	化学実験	1						◎					○							
	1	生物学実験	1							◎				○							
	2	地学実験	1								◎			○							

最低修得単位数

20単位

20単位

(◎)は必修科目、(○)は選択必修、(*)は選択科目を表す。
実験は重要視されますので、できるだけ多くの実験科目を修得するよう努力してください。

農学部 生物環境科学科 対象

教科に関する科目表（高一種 農業）

該当科目		免許教科	免許法上の科目区分	高一種・農業		備考欄
	配当年次	授業科目名	単位数	職業指導	農業の関係科目	
農学部生物環境科学科開講科目	2・3	職業指導論	2	◎		
	2・3	キャリアデザイン学	2	*		
	1	生物環境科学概説	2		◎	
	1	生物環境科学実習	2		*	
	1	農場実習	1		*	
	2	保全植物学	2		*	
	2	森林生態学	2		*	
	2	ランドスケープ・デザイン学	2		*	
	2	緑地環境学	2		*	
	2	植物栄養学	2		*	
	2	物質循環論	2		*	
	2	フィールド生産技術論	2		*	
	2	生物環境科学実験Ⅰ	2		*	
	3	生物環境科学実験Ⅱ	3		*	
	3	オープン・スペース論	2		*	
	3	植物繁殖生態学	2		*	
	3	緑地材料学	2		*	
	3	環境土壤学	2		*	
	3	肥料学	2		*	
	3	細胞分子生物学	2		*	
	3	ランドスケープ・デザイン演習	1		*	
	3	フィールドサイエンス	2		*	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

都市情報学部 都市情報学科 対象

教科に関する科目表（高一種 公民）

該当科目		免許教科	免許法上の科目区分	高一種・公民		備考欄
	配当年次	授業科目名	単位数	〔国際政治を含む。〕 〔法律、(国際政治を含む。)学を含む。〕 〔社会学、経済学を含む。〕	〔国際政治を含む。〕 〔哲学、心理学を含む。〕 〔宗教学、倫理学を含む。〕	
都市情報学部 都市情報学科 開講科目	1	政治と社会	2	◎		
	2	都市と行政	2	*		
	3	都市と自治	2	*		
	3	都市と国際関係	2	*		
	3	国際社会と政治	2	*		
	3	公共の政策	2	*		
	1	社会学	2		◎	
	1	経済と社会	2		*	
	1	都市と人間	2		*	
	2	都市の経済	2		*	
	2	都市と財政	2		*	
	2	都市の計画	2		*	
	3	貨幣の経済	2		*	
	3	企業の経済	2		*	
	3	地方と財政	2		*	
	3	都市と福祉	2		*	
	3	経済の政策	2		*	
	3	都市と公企業	2		*	
	3	都市と金融	2		*	
	3	国際化と地域開発	2		*	
	1	哲学	2	3科目のうち 1科目選択	○	
	1	宗教の世界	2		○	
	1	心の科学	2		○	
最低修得単位数				20単位		

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

都市情報学部 都市情報学科 対象

教科に関する科目表（高一種 情報）

免許教科			高一種・情報					備考欄
免許法上の科目区分			情報報 報 社会倫 理及 び理	(実習を含む。)			情報と職業	
該当科目	配当年次	授業科目名	単位数	及 び 情 報 シ ス テ ム	情 報 シ ス テ ム	ネ 情 ツ 報 ワ 通 一 ク 信	表 マ ル チ メ デ テ イ チ ア	
都市情報学部 都市情報学科 開講科目	1	ユビキタスと社会	2	○	1科目選択			
	1	情報社会と倫理	2	○				
	1	コンピュータ演習I (リテラシー)	2		◎			
	1	コンピュータ演習II (基礎プログラミング)	2		◎			
	2	コンピュータ演習IV (応用プログラミング)	2		◎			
	2	情報処理の基礎	2		◎			
	2	情報処理の応用	2		◎			
	3	視環境と情報処理	2		*			
	3	認知と情報処理	2		*			
	2	コンピュータ演習VI (データベース)	2			◎		
	2	データ分析と確率	2			*		
	2	データ分析と統計	2			*		
	3	情報と基礎解析	2			*		
	3	情報と応用解析	2			*		
	2	コンピュータ演習III (オペレーティングシステム)	2				◎	
	2	情報管理の基礎	2				◎	
	2	情報管理の応用	2				◎	
	1	コンピュータシステム	2				*	
	3	画像と情報処理	2				◎	
	3	図形と情報処理	2				◎	
	2	コンピュータ演習V (プレゼンテーション)	2				*	
	2	コンピュータ総合演習I	4				*	
	2	コンピュータ総合演習II	4				*	
	3	数理と情報処理	2				*	
	3	知識と情報処理	2				*	
	1	情報とビジネス	2				◎	
	3	事業のマネジメント	2				*	
最低修得単位数				20単位				△

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

人間学部 人間学科 対象

教科に関する科目表（中一種 社会／高一種 地理歴史・公民）

免許教科			中一種・社会					高一種・地理歴史			高一種・公民			備考欄			
該当科目	配当年次	授業科目名	単位数	日本史及び外国史	地理学(地誌を含む。)	「法律学、政治学」	「社会学、経済学」	「哲学、倫理学、宗教学」	日本史	外國史	自然地理学及び学び	地理誌	「政治学、国際法を含む。」	「法律学、国際政治を含む。」	「社会学、国際経済を含む。」	「哲学、心倫理学を含む。」	
人間学部人間学科開講科目	1	日本史	2	(◎)					(◎)								
	1	外国史	2	(◎)						(◎)							
	1	自然地理学	2		(◎)						(◎)						
	2	地理学	2		(◎)						(◎)						
	2	地誌学	2		(◎)							(◎)					
	1・2	歴史と文化	2	*						*							
	2	日本文化史	2	*						*							
	3	日本社会史	2	*						*							
	1	国際文化論	2	*							*						
	1・2	欧米文化論	2	*							*						
	1・2	アジア文化論	2	*							*						
	1・2	文化人類学の世界	2	*							*						
	2	西洋文化史	2	*							*						
	3	都市文明史	2	*							*						
	1	地域文化論	2		*							*					
	1・2	政治と社会	2			○								○			
	2	政治学	2			○								○			
	1	国際関係論	2			*								*			
	2	国際協力論	2			*								*			
	3	国際組織論	2			*								*			
	1	社会学概論	2				○							○			
	1・2	社会学	2				○							○			
	1	現代社会論	2					*						*			
	1	家族社会学	2					*						*			
	1・2	経済と社会	2					*						*			
	1・2	都市と人間	2					*						*			
	2	環境社会学	2					*						*			
	3	人口社会学	2					*						*			
	1・2	哲学	2						○					1科目選択	○		
	1・2	宗教の世界	2						○					1科目選択	○		
他学部開講科目	2	国際経済論Ⅰ	2											*			経済学部 経済学科 開講科目
	2	国際経済論Ⅱ	2											*			
	2	アジア経済論	2											*			
	2	中国経済論Ⅰ	2											*			
	2	中国経済論Ⅱ	2											*			
	2	地域政策論	2									*					経済学部 産業社会学科 開講科目
	2	地域経済論	2									*					
	3	経済地理学	2									*					

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

人間学部 人間学科 対象

教科に関する科目表（中一種 英語／高一種 英語）

該当科目	免許教科			中一種・英語／高一種・英語				備考欄
	配当年次	授業科目名	単位数	英語	英米文学	英語コミュニケーション	異文化理解	
人間学部人間学科開講科目	2	英語学	2	◎				
	1	言語文化論	2	*				
	3	比較言語論	2	*				
	3	社会言語学	2	*				
	2	英米文学概論	2		◎			
	2	パラグラフ・ライティング	2		*			
	3	英米文学研究	2		*			
	3	エッセイ・ライティング	2		*			
	2	インテンシブ・イングリッシュ	2			◎		
	2	国際コミュニケーション	2			*		
	1	英語基礎I(コミュニケーション)	1			*		
	1	英語基礎II(コミュニケーション)	1			*		
	1	英語初級I-I(コミュニケーション)	1			*		
	1	英語初級I-II(コミュニケーション)	1			*		
	2	英語初級II-I(コミュニケーション)	1			*		
	2	英語初級II-II(コミュニケーション)	1			*		
	2	英語中級I(コミュニケーション)	1			*		
	2	英語中級II(コミュニケーション)	1			*		
	1~4	語学研修	2			*		
	2	ビジネス・コミュニケーション	2			*		
	2	プレゼンテーション	2			*		
	2	異文化理解	2				◎	
	2	異文化コミュニケーション	2				*	
	2	海外研修	4				*	
	3	文化表現論	2				*	
	3	多文化社会論	2				*	
最低修得単位数				20単位				

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

外国語学部 国際英語学科 対象

教科に関する科目表（中一種 英語／高一種 英語）

該当科目	免許教科			中一種・英語／高一種・英語				備考欄
	配当年次	授業科目名	単位数	英語	英米文学	英語コミュニケーション	異文化理解	
外国語学部国際英語学科開講科目	1	英語学概論	2	◎				
	1	英語音声学	2	*				
	2	英語の構造と仕組み	2	*				
	2	コミュニケーションのための英文法	2	*				
	3	英語の拡がりと多様性	2	*				
	1	英米文学概論	2		◎			
	2	イギリス文学研究	2		*			
	2	アメリカ文学研究	2		*			
	1	英語コミュニケーションI（基礎1）	2			◎		
	1	英語コミュニケーションII（基礎2）	2			◎		
	2	英語コミュニケーションIII（応用1）	2			*		
	2	英語コミュニケーションIV（応用2）	2			*		
	3	英語コミュニケーションV（発展）	2			*		
	1	英語リーディングI（基礎1）	1			◎		
	1	英語リーディングII（基礎2）	1			◎		
	1	英語ライティングI（基礎1）	1			◎		
	1	英語ライティングII（基礎2）	1			◎		
	2	インターラクティブ・イングリッシュI	2			*		
	2	インターラクティブ・イングリッシュII	2			*		
	3・4	ビジネス英語	2			*		
	1	異文化理解	2				◎	
	2	異文化コミュニケーション	2				*	
	2	多文化共生論	2				*	
	2	アメリカ地域研究	2				*	
	2	イギリス地域研究	2				*	
最低修得単位数				20単位				

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**法学研究科 法律学専攻 対象
教科に関する科目表（中専修 社会／高専修 公民）**

該当科目		免許教科		中専修 社会	高専修 公民	該当科目		免許教科		中専修 社会	高専修 公民
専修 分野	授業科目名	単位数	免許法上の科目区分	関教 する科 科 目に	関教 する科 科 目に	専修 分野	授業科目名	単位数	免許法上の科目区分	関教 する科 科 目に	
法学研究科 法律学専攻 開講科目	憲法学 I (統治機構)	2	*	*			民事手続法 I (民事訴訟法)	2	*	*	
	憲法学 II (人権保障)	2	*	*			民事手續法 II (民事執行・保全法)	2	*	*	
	憲法学 III (憲法訴訟)	2	*	*			民事手續法 III (倒産法)	2	*	*	
	憲法学 IV (比較憲法)	2	*	*			民事手續法 IV (裁判外紛争処理制度)	2	*	*	
	行政法学 I (一般理論)	2	*	*			労働法 I (総論)	2	*	*	
	行政法学 II (行政作用法)	2	*	*			労働法 II (各論)	2	*	*	
	行政法学 III (地方自治法)	2	*	*			経済法 I (総論)	2	*	*	
	行政法学 IV (租税法 I)	2	*	*			経済法 II (各論)	2	*	*	
	行政法学 V (租税法 II)	2	*	*			法哲学 I (理論史)	2	*	*	
	国際法学 I (総論)	2	*	*			法哲学 II (現代理論)	2	*	*	
	国際法学 II (各論)	2	*	*			法社会学 I (現代理論)	2	*	*	
	国際法学 III (組織)	2	*	*			法社会学 II (各論)	2	*	*	
	刑法学 I (刑法理論)	2	*	*			法制史 III (西洋法制史)	2	*	*	
	刑法学 II (刑法判例)	2	*	*			法制史 IV (西洋法制史史料解題)	2	*	*	
	刑法学 III (刑事訴訟法)	2	*	*			政治学 I (政治理論・思想)	2	*	*	
刑法学 IV (刑事政策)	2	*	*			政治学 II (行政学)	2	*	*		
刑法学 V (現代刑法法)	2	*	*			政治学 III (国際政治学)	2	*	*		
民法学 国際私法学 企業法学	民法 I (総論)	2	*	*			政治学 IV (外交史)	2	*	*	
	民法 II (債権)	2	*	*			外国法 I (英米法) 英語	2	*	*	
	民法 III (物権)	2	*	*			外国法 II (大陸法) 独語	2	*	*	
	民法 IV (担保)	2	*	*			外国法 II (大陸法) 仏語	2	*	*	
	民法 V (親族)	2	*	*			法律学特別 I (所得税各論)	2	*	*	
	民法 VI (相続)	2	*	*			法律学特別 II (法人税)	2	*	*	
	国際私法 I (総論)	2	*	*			法律学特別 III (相続税)	2	*	*	
	国際私法 II (各論)	2	*	*			法律学特別 IV (消費税)	2	*	*	
	企業法 I (企業組織法)	2	*	*			最低修得単位数		24単位		
	企業法 II (金融・有価証券法)	2	*	*							
企業法 III (企業取引法)	2	*	*								
企業法 IV (知的財産法)	2	*	*								

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**経営学研究科 経営学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 商業）**

		免許教科	高専修 商業
		免許法上の科目区分	関教 す る科 科 目
該当科目			
専修 分野	授業科目名	単位数	
経営学 研究科 経営学 専攻 開講科目	経営管理研究	2	*
	労務管理研究	2	*
	情報産業組織研究	2	*
	経営組織研究	2	*
	国際経営研究	2	*
	経営史研究	2	*
	国際産業集積研究	2	*
	コーポレート・ガバナンス研究	2	*
	マーケティング研究	2	*
	実践情報システム設計	2	*
	グローバル経営戦略研究	2	*
	実践コスト・マネジメント研究	2	*
	実践起業研究	2	*
	アジア企業研究	2	*
	ヨーロッパ企業研究	2	*
	労使関係研究	2	*
	労務監査研究	2	*
	経営情報システム研究	2	*
	環境マネジメント研究	2	*
	経営学外国文献研究	2	*
会計学 会計 専攻 開講科目	財務会計研究	2	*
	制度会計研究	2	*
	会計監査研究	2	*
	管理会計研究	2	*
	コスト・マネジメント研究	2	*
	国際会計研究	2	*
	税務会計研究	2	*
	環境会計研究	2	*
	非営利組織体会計研究	2	*
	コーポレート・ファイナンス研究	2	*
	インベストメント・マネジメント研究	2	*
	金融機関経営研究	2	*
	会計学・ファイナンス外国文献研究	2	*
	最低修得単位数	24	単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**経済学研究科 経済学専攻 対象
教科に関する科目表（中専修 社会／高専修 公民）**

		免許教科	中専修 社会	高専修 公民
		免許法上の科目区分	関教 す る科 科 目	関教 す る科 科 目
該当科目				
専修 分野	授業科目名	単位数		
経済学 研究科 経済学 専攻 開講科目	マクロ経済学研究	4	*	*
	ミクロ経済学研究	4	*	*
	情報の経済学研究	4	*	*
	経済理論研究	4	*	*
	経済思想研究	4	*	*
	経済統計学研究	4	*	*
	西洋経済史研究	4	*	*
	日本経済史研究	4	*	*
	財政学研究	4	*	*
	地方財政論研究	4	*	*
	金融論研究	4	*	*
	労働経済論研究	4	*	*
	アジア経済論研究	4	*	*
	中国経済論研究	4	*	*
	国際経済論研究	4	*	*
	環境経済論研究	4	*	*
現代 産業 構造	工業経済論研究	4	*	*
	交通経済学研究	4	*	*
	農業経済論研究	4	*	*
	現代企業論研究	4	*	*
	中小企業論研究	4	*	*
	地域産業論研究	4	*	*
	経済地理学研究	4	*	*
最低修得単位数			24単位	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

理工学研究科 数学専攻 対象

教科に関する科目表（中専修 数学／高専修 数学）

該当科目		免許教科	中専修 数学 高専修 数学	該当科目	免許教科	中専修 数学 高専修 数学	
専修 分野	授業科目名	単位数	該当科目	免許教科	中専修 数学 高専修 数学	該当科目	
理工学研究科 数学専攻	代数学	代数の整数論特論 I	2	*	代数の整数論特論 II	2	*
	代数学	環論特論 I	2	*	環論特論 II	2	*
	代数学	代数学講究 IA	4	*	代数学講究 IB	4	*
	代数学	代数学講究 II A	4	*	代数学講究 II B	4	*
	代数学	現代代数学特論	2	*	微分幾何学特論 I	2	*
	幾何学	微分幾何学特論 II	2	*	微分幾何学特論 II	2	*
	幾何学	非線形幾何学特論 I	2	*	非線形幾何学特論 II	2	*
	幾何学	非線形幾何学特論 II	2	*	解析幾何学特論 I	2	*
	幾何学	解析幾何学特論 II	2	*	幾何学講究 IA	4	*
	幾何学	幾何学講究 IB	4	*	幾何学講究 II A	4	*
	幾何学	幾何学講究 II B	4	*	幾何学講究 II B	4	*
	幾何学	応用幾何学特論	2	*	関数方程式特論 I	2	*
	関数解析学	関数方程式特論 II	2	*	関数方程式特論 II	2	*
	関数解析学	複素解析学特論 I	2	*	複素解析学特論 II	2	*
	関数解析学	複素解析学講究 IA	4	*	複素解析学講究 IB	4	*
	関数解析学	複素解析学講究 II A	4	*	複素解析学講究 II B	4	*
	関数解析学	複素解析学講究 II B	4	*	現代解析学特論	2	*
	大域解析学	大域解析学特論 I	2	*	大域解析学特論 II	2	*
	大域解析学	大域空間解析学特論 I	2	*	大域空間解析学特論 II	2	*
	大域解析学	大域解析学講究 IA	4	*	大域解析学講究 IB	4	*
	大域解析学	大域解析学講究 II A	4	*	大域解析学講究 II B	4	*
	大域解析学	大域解析学講究 II B	4	*	確率及び量子情報論特論 I	2	*
	情報数学	確率及び量子情報論特論 II	2	*	確率過程論特論 I	2	*
	情報数学	確率過程論特論 II	2	*	確率過程論特論 II	2	*
	情報数学	数論的確率論特論 I	2	*	数論的確率論特論 II	2	*
	情報数学	数論的確率論特論 II	2	*	確率及び量子情報論講究 IA	4	*
	情報数学	確率及び量子情報論講究 IB	4	*	確率及び量子情報論講究 II A	4	*
	情報数学	確率及び量子情報論講究 II B	4	*	確率及び量子情報論講究 II B	4	*
	情報数学	統計数理学特論	2	*	統計数理学特論	2	*
	情報数学	量子確率論特論	2	*	量子確率論特論	2	*
	情報数学	確率情報特論	2	*	確率次元解析特論	2	*
	情報数学	無限次元解析特論	2	*	計算機数学特論	2	*
	情報数学	計算機数学特論	2	*	非線形数理特論	2	*
	数位単得修低最		24単位	数位単得修低最		24単位	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

理工学研究科 情報工学専攻 対象

教科に関する科目表（高専修 工業）

該当科目		免許教科	高専修 工業
専修 分野	授業科目名	単位数	該当科目
理工学研究科 情報工学専攻	計算機工学特論	2	*
	ヒューマンマシンシステム特論	2	*
	知的信号処理特論	2	*
	知的制御システム特論	2	*
	画像情報システム特論	2	*
	アルゴリズム特論	2	*
	パターン情報処理特論	2	*
	人工知能特論	2	*
	知的データ分析特論	2	*
	音声・音響情報処理特論	2	*
	視覚・色彩情報処理特論	2	*
	コンピュータグラフィックス特論	2	*
	言語処理特論	2	*
	バーチャルリアリティ特論	2	*
	ネットワーク特論	2	*
	無線通信工学特論	2	*
	情報セキュリティ特論	2	*
	情報理論特論	2	*
最低修得単位数			24単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 電気電子工学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 工業）**

免許教科				高専修 工業
免許法上の科目区分				関教 す る科 科 目
該当科目				
専修 分野	授業科目名	単位数		
エネルギー環境工学	電気エネルギー工学特論 I	2	*	
	電気エネルギー工学特論 II	2	*	
	エネルギー環境材料工学特論 I	2	*	
	エネルギー環境材料工学特論 II	2	*	
	エネルギー環境システム工学特論 I	2	*	
	エネルギー環境システム工学特論 II	2	*	
	エネルギー変換工学特論 I	2	*	
	エネルギー変換工学特論 II	2	*	
電子物性デバイス工学	電子デバイス特論 I	2	*	
	電子デバイス特論 II	2	*	
	電子物性特論 I	2	*	
	電子物性特論 II	2	*	
	真空デバイス特論 I	2	*	
システム情報通信工学	真空デバイス特論 II	2	*	
	制御システム工学特論 I	2	*	
	制御システム工学特論 II	2	*	
	情報通信システム特論 I	2	*	
	情報通信システム特論 II	2	*	
	情報通信工学特論 I	2	*	
	情報通信工学特論 II	2	*	
電子生命情報工学	制御情報システム特論 I	2	*	
	制御情報システム特論 II	2	*	
	電子生命情報工学特論 I	2	*	
	電子生命情報工学特論 II	2	*	
	電子生命情報応用工学特論 I	2	*	
	電子生命情報応用工学特論 II	2	*	
最低修得単位数				24単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 材料機能工学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 工業）**

免許教科				高専修 工業
免許法上の科目区分				関教 す る科 科 目
該当科目				
専修 分野	授業科目名	単位数		
理工学研究科 電気電子工学専攻 開講科目	インテリジェント材料特論 I	2	*	
	インテリジェント材料特論 II	2	*	
	ナノ電子材料特論 I	2	*	
	ナノ電子材料特論 II	2	*	
	ナノ分析特論 I	2	*	
	ナノ分析特論 II	2	*	
	量子光エレクトロニクス特論 I	2	*	
	量子光エレクトロニクス特論 II	2	*	
	エネルギー環境材料特論 I	2	*	
	エネルギー環境材料特論 II	2	*	
理工学研究科 材料機能工学専攻 開講科目	エレクトロニクス材料特論 I	2	*	
	エレクトロニクス材料特論 II	2	*	
	エレクトロニクスデバイス特論 I	2	*	
	エレクトロニクスデバイス特論 II	2	*	
	半導体デバイス特論 I	2	*	
	半導体デバイス特論 II	2	*	
	光・量子エレクトロニクス特論 I	2	*	
	光・量子エレクトロニクス特論 II	2	*	
	コンポジット材料特論 I	2	*	
	コンポジット材料特論 II	2	*	
コンポジット材料	表面改質材料特論 I	2	*	
	表面改質材料特論 II	2	*	
	生体材料特論 I	2	*	
	生体材料特論 II	2	*	
	金属材料特論 I	2	*	
	金属材料特論 II	2	*	
最低修得単位数				24単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 応用化学専攻 対象
教科に関する科目表（中専修 理科／高専修 理科）**

免許教科		中専修 理科 高専修 理科	該当科目
専修 分野	授業科目名	単位数	免許法上の科目区分 関教する科目目に
理工学研究科 応用化学専攻 開講科目	応用有機化学特論	2	*
	応用生命分子科学特論	2	*
	先端超分子化学特論	2	*
	ソフトマター特論	2	*
	機能性高分子材料特論	2	*
	バイオマテリアル特論	2	*
	機能ナノマテリアル特論	2	*
	応用物性化学特論	2	*
	応用磁気化学特論	2	*
	物質機能物理化学特論	2	*
環境・エネルギー科学	環境化学特論	2	*
	グリーンケミストリー特論	2	*
	機能性エネルギー材料特論	2	*
	無機材料科学特論	2	*
	導電材料特論	2	*
	低温物性特論	2	*
	固体表面化学特論	2	*
	生命エネルギーデバイス特論	2	*
応用分析化学科目	組成分析化学	1	*
	構造機器分析化学	1	*
	生命有機分析化学	1	*
	無機物質分析化学	1	*
最低修得単位数		24単位	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 機械工学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 工業）**

免許教科		高専修 工業	該当科目
専修 分野	授業科目名	単位数	免許法上の科目区分 関教する科目目に
理工学研究科 機械工学専攻 開講科目	熱工学特論 I	2	*
	熱工学特論 II	2	*
	高温気体力学特論 I	2	*
	高温気体力学特論 II	2	*
	粘性流体工学特論 I	2	*
	粘性流体工学特論 II	2	*
	流体工学特論 I	2	*
	流体工学特論 II	2	*
	数值流体工学特論	2	*
	燃焼工学特論	2	*
	伝熱工学特論	2	*
材料・強度	材料強度応用工学特論 I	2	*
	材料強度応用工学特論 II	2	*
	材料システム工学特論 I	2	*
	材料システム工学特論 II	2	*
	先進材料評価学特論 I	2	*
	先進材料評価学特論 II	2	*
設計・生産	マイクロマシニング特論 I	2	*
	マイクロマシニング特論 II	2	*
	生産加工システム工学特論 I	2	*
	生産加工システム工学特論 II	2	*
	創造設計工学特論 I	2	*
	創造設計工学特論 II	2	*
運動力学・制御	機械機能工学特論 I	2	*
	機械機能工学特論 II	2	*
	生体工学特論 I	2	*
	生体工学特論 II	2	*
	知的制御工学特論 I	2	*
	知的制御工学特論 II	2	*
最低修得単位数		24単位	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 交通機械工学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 工業）**

		免許教科	高専修 工業
		免許法上の科目区分	関教 す る科 科 目
該当科目			
専修 分野	授業科目名	単位数	
エネルギー・流体工学	エネルギー科学特論 I	2	*
	エネルギー科学特論 II	2	*
	推進工学特論 I	2	*
	推進工学特論 II	2	*
	流体科学特論 I	2	*
	流体科学特論 II	2	*
	流体システム特論 I	2	*
	流体システム特論 II	2	*
	計算力学特論	2	*
	計算科学特論	2	*
材料・構造科学	材料科学特論 I	2	*
	材料科学特論 II	2	*
	構造力学特論 I	2	*
	構造力学特論 II	2	*
	軽量構造学特論 I	2	*
	軽量構造学特論 II	2	*
	適応構造システム学特論 I	2	*
	適応構造システム学特論 II	2	*
制御・システム工学	マンマシンシステム学特論 I	2	*
	マンマシンシステム学特論 II	2	*
	知的制御特論 I	2	*
	知的制御特論 II	2	*
最低修得単位数		24単位	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 メカトロニクス工学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 工業）**

		免許教科	高専修 工業
		免許法上の科目区分	関教 す る科 科 目
該当科目			
専修 分野	授業科目名	単位数	
理工学研究科 メカトロニクス工学専攻 開講科目	応用電磁気学特論	2	*
	電子デバイス学特論	2	*
	計測システム学特論	2	*
	制御システム学特論	2	*
	先端信号処理学特論	2	*
	センシングシステム特論	2	*
	知能センサ学特論	2	*
	ロボットシステムデザイン学特論	2	*
	知能ロボット学特論	2	*
	知能システム制御工学特論	2	*
機能システム構築学 メマカルトチロスニケクリスル	制御工学特論	2	*
	移動システム学特論	2	*
	強度解析モデリング特論	2	*
	ナノ・マイクロシステム制御特論	2	*
	ナノ・マイクロ知能システム特論	2	*
	マイクロロボット学特論	2	*
	ナノ・マイクロ制御システム特論	2	*
最低修得単位数			24単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 社会基盤デザイン工学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 工業）**

		免許教科	高専修 工業
		免許法上の科目区分	関教 す る科 科 目
該当科目			
専修 分野	授業科目名	単位数	
理工学研究科 社会基盤デザイン工学専攻 開講科目	構造工学	構造解析学特論 I	2 *
		構造解析学特論 II	2 *
		構造設計学特論 I	2 *
		構造設計学特論 II	2 *
	水工学	水文学特論 I	2 *
		水文学特論 II	2 *
		土砂水理学特論 I	2 *
		土砂水理学特論 II	2 *
		河川工学特論 I	2 *
		河川工学特論 II	2 *
	地盤工学	地盤工学特論 I	2 *
		地盤工学特論 II	2 *
		地盤解析学特論 I	2 *
		地盤解析学特論 II	2 *
	都市・交通計画学	都市システム工学特論 I	2 *
		都市システム工学特論 II	2 *
		交通システム工学特論 I	2 *
		交通システム工学特論 II	2 *
	建設材料学	建設材料学特論 I	2 *
		建設材料学特論 II	2 *
		建設材料力学特論 I	2 *
		建設材料力学特論 II	2 *
最低修得単位数		24単位	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 環境創造学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 工業）**

		免許教科	高専修 工業
		免許法上の科目区分	関教 す る科 科 目
該当科目			
専修 分野	授業科目名	単位数	
理工学研究科 環境創造学専攻 開講科目	大気水環境学	大気組成変動学特論 I	2 *
		大気組成変動学特論 II	2 *
		水環境工学特論 I	2 *
		水環境工学特論 II	2 *
		水圈生態学特論	2 *
		生態工学特論	2 *
		水処理工学特論	2 *
	地圈環境学	地盤数値解析学特論	2 *
		地盤シミュレーション特論	2 *
		環境変動解析学特論	2 *
		環境変遷学特論	2 *
	都市基盤環境学	環境材料学特論	2 *
		資源循環学特論	2 *
		基礎都市基盤維持管理学特論	2 *
		応用都市基盤維持管理学特論	2 *
		構造性能学特論	2 *
	住環境学	人間工学特論	2 *
		省エネルギー特論	2 *
		居住環境設計学特論 I	2 *
		居住環境設計学特論 II	2 *
		環境デザイン特論	2 *
		循環型居住環境設計特論	2 *
最低修得単位数		24単位	

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

**理工学研究科 建築学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 工業）**

		免許教科	高専修 工業
		免許法上の科目区分	関教 す る科 科 目
該当科目			
専修 分野	授業科目名	単位数	
建築スペースデザイン	建築・地域デザイン特論 I	2	*
	建築・地域デザイン特論 II	2	*
	建築技術史特論	2	*
	建築計画特論	2	*
	建築スペースデザイン特論	2	*
	建築歴史意匠特論	2	*
	建築空間特論	2	*
	生活空間計画特論	2	*
	建築史特論	2	*
	建築設計総合特論	2	*
	建築設計特論	2	*
	建築・都市空間特論	2	*
建築環境デザイン	建築環境デザイン特論	2	*
	建築環境計画特論	2	*
	建築環境工学特論 A	2	*
	建築環境工学特論 B	2	*
	建築設備設計特論	2	*
建築材料	建築材料・生産特論	2	*
	コンクリート工学特論 A	2	*
	コンクリート工学特論 B	2	*
建築構造工学	建築構造工学特論 I	2	*
	建築構造工学特論 II	2	*
	建築構造解析特論 I	2	*
	建築構造解析特論 II	2	*
	建築応用力学特論 I	2	*
	建築応用力学特論 II	2	*
	建築構造デザイン特論 I	2	*
	建築構造デザイン特論 II	2	*
	鉄骨構造学特論	2	*
	共通 建築実践特論	2	*
最低修得単位数		24単位	

**農学研究科 農学専攻 対象
教科に関する科目表（高専修 農業）**

		免許教科	高専修 農業
		免許法上の科目区分	関教 す る科 科 目
該当科目			
専修 分野	授業科目名	単位数	
農学研究科 農学専攻 開講科目	栽培植物生産学	作物生産学特論	2 *
		作物生理学特論	2 *
		園芸生産学特論	2 *
		園芸生理学特論	2 *
	遺伝学	遺伝育種学特論	2 *
		分子遺伝学特論	2 *
	作物保護学	応用昆虫学特論	2 *
		植物病理学特論	2 *
		植物感染生理学特論	2 *
	生物学資源	生物生産経営学特論	4 *
		生物資源経済学特論	4 *
	生命科学	微生物学特論	2 *
		生物化学特論	2 *
農学研究科 農学専攻 開講科目	食品科学	栄養科学特論	2 *
		食品衛生学特論	2 *
		食品製造科学特論	2 *
		食品機能学特論	2 *
	生物有機化学	生物有機化学特論	2 *
環境生物学		有機合成化学特論	2 *
		生物物理化学特論	2 *
	動物生态学	保全植物学特論	2 *
		動物生態学特論	2 *
	土壤物質循環学	土壤学特論	2 *
		物質循環特論	2 *
	環境応答学	環境修復学特論	2 *
		環境毒物学特論	2 *
		環境応答学特論	2 *
	環境学	ランドスケープ・デザイン学特論	2 *
		緑地学特論	2 *
最低修得単位数			24単位

◎は必修科目、○は選択必修、*は選択科目を表す。

XI. 履修要項・学部学生便覧又は名城大学HPを参照

1. 学期

2. 単位制度

3. 授業

- (1) 授業時間（時間割）
- (2) 休講
- (3) 補講

4. 履修

- (1) 履修の方法
- (2) 履修登録
- (3) 履修科目を決める際の注意事項

5. 試験について

- (1) 定期試験
- (2) 追試験

- (3) 再試験

- ・定期試験の結果が不合格の者に行う試験で、4年次生、科目等履修生で定期試験の結果、不合格となった者に1回に限り行います。
- ・授業科目担当者の判断で実施しないこともあります。
- ・受験する場合は、1科目につき1,000円の再試験料が必要となります。

- (4) 追試験・再試験受験申込手続
- (5) 受験の資格
- (6) 欠格制度
- (7) 受験上の注意事項、試験中における不正行為に関する内規
- (8) 仮受験票の交付
- (9) 試験時間
- (10) 成績の評価
- (11) 成績発表
- (12) 学業成績

6. 暴風警報・災害時の授業及び試験

- (1) 暴風警報の場合
- (2) 災害の場合

7. 交通機関がストライキを実施している場合の授業及び試験

- (1) 授業の場合
- (2) 試験の場合
- (3) 特例措置

8. 大規模地震に関する注意情報の発表及び警戒宣言が発令された場合

- (1) 東海地震に関する注意情報が発令された場合の対応
- (2) 東海地震に関する注意情報が発表された後、警戒宣言が発令されなかった場合の対応
- (3) 警戒宣言が発令された場合の対応

XII. 教職センター【教職・学芸員】窓口の取扱時間

…学部学生便覧、名城大学HP又は掲示を参照

参考資料

1. 教育職員免許法（抜粋）

平成29年4月1日現在

(授与)

第五条 普通免許状は、別表第一、別表第二若しくは別表第二の二に定める基礎資格を有し、かつ、大学若しくは文部科学大臣の指定する養護教諭養成機関において別表第一、別表第二若しくは別表第二の二に定める単位を修得した者又はその免許状を授与するため行う教育職員検定に合格した者に授与する。ただし、次の各号のいずれかに該当する者には、授与しない。

一 十八歳未満の者

二 高等学校を卒業しない者（通常の課程以外の課程におけるこれに相当するものを修了しない者を含む。）。ただし、文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認めた者を除く。

三 成年被後見人又は被保佐人

四 禁錮以上の刑に処せられた者

五 第十条第一項第二号又は第三号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から三年を経過しない者

六 第十一条第一項から第三項までの規定により免許状取上げの処分を受け、当該処分の日から三年を経過しない者

七 日本国憲法 施行の日以後において、日本国憲法 又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

2 前項本文の規定にかかわらず、別表第一から別表第二の二までに規定する普通免許状に係る所要資格を得た日の翌日から起算して十年を経過する日の属する年度の末日を経過した者に対する普通免許状の授与は、その者が免許状更新講習（第九条の三第一項に規定する免許状更新講習をいう。以下第九条の二までにおいて同じ。）の課程を修了した後文部科学省令で定める二年以上の期間内にある場合に限り、行うものとする。

3 特別免許状は、教育職員検定に合格した者に授与する。ただし、第一項各号のいずれかに該当する者には、授与しない。

4 前項の教育職員検定は、次の各号のいずれにも該当する者について、教育職員に任命し、又は雇用しようとする者が、学校教育の効果的な実施に特に必要があると認める場合において行う推薦に基づいて行うものとする。

一 担当する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者

二 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持つている者

5 第七項で定める授与権者は、第三項の教育職員検定において合格の決定をしようとするときは、あらかじめ、学校教育に関し学識経験を有する者その他の文部科学省令で定める者の意見を聽かなければならない。

6 臨時免許状は、普通免許状を有する者を採用することができない場合に限り、第一項各号のいずれにも該当しない者で教育職員検定に合格したものに授与する。ただし、高等学校助教諭の臨時免許状は、次の各号のいずれかに該当する者以外の者には授与しない。

一 短期大学士の学位又は準学士の称号を有する者

二 文部科学大臣が前号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めた者

7 免許状は、都道府県の教育委員会（以下「授与権者」という。）が授与する。

(効力)

第九条 普通免許状は、その授与の日の翌日から起算して十年を経過する日の属する年度の末日まで、すべての都道府県（中学校及び高等学校の教員の宗教の教科についての免許状にあつては、国立学校又は公立学校の場合を除く。次項及び第三項において同じ。）において効力を有する。

2 特別免許状は、その授与の日の翌日から起算して十年を経過する日の属する年度の末日まで、その免許状を授与した授与権者の置かれる都道府県においてのみ効力を有する。

3 臨時免許状は、その免許状を授与したときから三年間、その免許状を授与した授与権者の置かれる都道府県においてのみ効力を有する。

4 第一項の規定にかかわらず、その免許状に係る別表第一から別表第八までに規定する所要資格を得た日、第十六条の二第一項に規定する教員資格認定試験に合格した日又は第十六条の三第二項若しくは第十七条第一項に規定する文部科学省令で定める資格を有することとなつた日の属する年度

の翌年度の初日以後、同日から起算して十年を経過する日までの間に授与された普通免許状（免許状更新講習の課程を修了した後文部科学省令で定める二年以上の期間内に授与されたものを除く。）の有効期間は、当該十年を経過する日までとする。

- 5 普通免許状又は特別免許状を二以上有する者の当該二以上の免許状の有効期間は、第一項、第二項及び前項並びに次条第四項及び第五項の規定にかかわらず、それぞれの免許状に係るこれらの規定による有効期間の満了日のうち最も遅い日までとする。

(有効期間の更新及び延長)

第九条の二 免許管理者は、普通免許状又は特別免許状の有効期間を、その満了の際、その免許状を有する者の申請により更新することができる。

- 2 前項の申請は、申請書に免許管理者が定める書類を添えて、これを免許管理者に提出してしなければならない。
- 3 第一項の規定による更新は、その申請をした者が当該普通免許状又は特別免許状の有効期間の満了する日までの文部科学省令で定める二年以上の期間内において免許状更新講習の課程を修了した者である場合又は知識技能その他の事項を勘案して免許状更新講習を受ける必要がないものとして文部科学省令で定めるところにより免許管理者が認めた者である場合に限り、行うものとする。
- 4 第一項の規定により更新された普通免許状又は特別免許状の有効期間は、更新前の有効期間の満了日の翌日から起算して十年を経過する日の属する年度の末日までとする。
- 5 免許管理者は、普通免許状又は特別免許状を有する者が、次条第三項第一号に掲げる者である場合において、同条第四項の規定により免許状更新講習を受けることができないことその他文部科学省令で定めるやむを得ない事由により、その免許状の有効期間の満了の日までに免許状更新講習の課程を修了することが困難であると認めるときは、文部科学省令で定めるところにより相当の期間を定めて、その免許状の有効期間を延長するものとする。
- 6 免許状の有効期間の更新及び延長に関する手続その他必要な事項は、文部科学省令で定める。

附 則

- 1 この法律は、昭和二十四年九月一日から施行する。

11 別表第一の規定により高等学校教諭の工業の教科についての普通免許状の授与を受ける場合は、同表の高等学校教諭の免許状の項に掲げる教職に関する科目についての単位数の全部又は一部の数の単位の修得は、当分の間、同表の規定にかかわらず、それぞれ当該免許状に係る教科に関する科目についての同数の単位の修得をもって、これに替えることができる。

別表第一（第五条、第五条の二関係）

第一欄		第二欄 基礎資格	第三欄			
免許状の種類	所要資格		大学において修得することを必要とする最低単位数	教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目
幼稚園教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	六	三五	三四	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	六	三五	一〇	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	四	二七		
小学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	八	四一	三四	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	八	四一	一〇	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	四	三一	二	
中学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	二〇	三一	三二	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	二〇	三一	八	
	二種免許状	短期大学士の学位を有すること。	一〇	二一	四	
高等学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること。	二〇	二三	四〇	
	一種免許状	学士の学位を有すること。	二〇	二三	一六	
特別支援学校教諭	専修免許状	修士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				五〇
	一種免許状	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				二六
	二種免許状	小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。				一六

2. 免許状更新講習規則（抜粋）

平成29年4月1日現在

(講習を受講できる者)

第九条 免許法第九条の三第三項第一号に規定する文部科学省令で定める教育の職にある者は、次に掲げる者であって、普通免許状若しくは特別免許状を有する者、普通免許状に係る所要資格を得た者、教員資格認定試験に合格した者、免許法第十六条の三第二項若しくは第十七条第一項に規定する文部科学省令で定める資格を有する者又は教育職員免許法施行法（昭和二十四年法律第百四十八号）第二条の表の上欄各号に掲げる者とする。

- 一 校長、副校長、教頭、実習助手、寄宿舎指導員、学校給食法（昭和二十九年法律第百六十号）第七条に規定する職員その他の学校給食の栄養に関する専門的事項をつかさどる職員のうち栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭並びに栄養教諭以外の者並びに教育委員会の事務局において学校給食の適切な実施に係る指導を担当する者並びに免許法施行規則第六十九条の三に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号）第二条第七項に規定する幼保連携型認定こども園（以下「幼保連携型認定こども園」という。）（次項第一号において「学校」という。）において専ら幼児、児童又は生徒の養護に従事する職員で常時勤務に服する者
- 二 指導主事、社会教育主事その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する専門的事項の指導等に関する事務に従事している者として免許管理者が定める者
- 三 国若しくは地方公共団体の職員又は次に掲げる法人の役員若しくは職員で、前号に掲げる者に準ずる者として免許管理者が定める者
 - イ 国立大学法人法第二条第一項に規定する国立大学法人及び同条第三項に規定する大学共同利用機関法人
 - ロ 地方独立行政法人法（平成十五年法律第百十八号）第六十八条第一項に規定する公立大学法人
 - ハ 私立学校法（昭和二十四年法律第二百七十号）第三条に規定する学校法人
- ニ 社会福祉法（昭和二十六年法律第四十五号）第二十二条に規定する社会福祉法人（幼保連携型認定こども園を設置するものに限る。）
- ホ 独立行政法人通則法（平成十一年法律第百三号）第二条第一項に規定する独立行政法人であつて、文部科学大臣が指定したもの
- 四 前三号に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める者
- 2 免許法第九条の三第三項第二号に規定する文部科学省令で定める者は、次に掲げる者であって、普通免許状若しくは特別免許状を有する者、普通免許状に係る所要資格を得た者、教員資格認定試験に合格した者、免許法第十六条の三第二項若しくは第十七条第一項に規定する文部科学省令で定める資格を有する者又は教育職員免許法施行法第二条の表の上欄各号に掲げる者とする。
 - 一 学校の校長、副校長、教頭又は教育職員であった者であって、教育職員となることを希望する者（前項第一号から第三号までに該当する者を除く。）
 - 二 次に掲げる施設に勤務する保育士
 - イ 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第二条第六項に規定する認定こども園（幼保連携型認定こども園を除く。）
 - ロ 児童福祉法（昭和二十二年法律第百六十四号）第三十九条第一項に規定する保育所
 - ハ 児童福祉法第五十九条第一項に規定する施設のうち同法第三十九条第一項に規定する業務を目的とするもの（幼稚園を設置する者が設置するものに限る。）
 - 三 教育職員に任命され、又は雇用されることが見込まれる者

附 則

- 1 この省令は、平成二十一年四月一日から施行する。

3. 沿革

年月日	大学の沿革	教職課程の沿革
大正15年(1926)	5月 名古屋高等理工科講習所を中区御器所町に開設	
昭和3年(1928)	4月 名古屋高等理工科講習所が、名古屋高等理工学校〔夜間〕(電気科、数学科、物理科、化学科)として認可、中区新栄町(東新町校舎)で開校	
昭和8年(1933)	1月 名古屋高等理工学校に〔夜間〕中等科を増設	
昭和12年(1937)	4月 中区不二見町に校舎移転 名古屋高等理工学校に(昼間)電気科・機械科、(夜間)機械科、(昼間)中等科、(夜間)高等科を増設	
昭和17年(1942)	4月 中村区新富町に校舎移転	
昭和21年(1946)	10月 「財団法人名古屋高等理工科学園」を設立	
昭和22年(1947)	9月 名古屋専門学校応用物理学科(電気分科、機械分科、土木分科、建築分科、紡績分科)、数学科を設置(9月22日開校)	
昭和23年(1948)	4月 名古屋専門学校応用物理学科の名称を第一部応用物理学科(電気分科、機械分科、土木分科、建築分科)、第二部応用物理学科(電気分科、機械分科、土木分科、建築分科)に変更、第一部法政科、第一部商科、第二部法政科、第二部商科を増設 6月 名古屋文理高等学校(附属高等学校の前身)を設置	
昭和24年(1949)	4月 名城大学商学部第一部を設置、商学部第二部を設置 5月31日	教育職員免許法制定(法律147号)
昭和25年(1950)	4月 名城大学に法商学部第一部(法学科、商学科), 法商学部第二部(法学科、商学科), 理工学部第一部(数学科、電気工学科、機械工学科、建設工学科), 理工学部第二部(数学科、電気工学科、機械工学科、建設工学科), 農学部(農学科)を増設(商学部、商学部二部は廃止) 名城大学に短期大学部(商経科第一部、商経科第二部)を設置	
昭和26年(1951)	3月 組織変更により「学校法人名城大学」を設立 4月 教職課程部を設置	教職課程の設置認可[課程認定] ・短期大学部第一・第二商経科 …中学校二級普通免(社会、職業), 高等学校仮免(社会、商業)
昭和29年(1954)	4月 名城大学に薬学部薬学科を増設(春日井市鷹来町) 名城大学短期大学部に電気科第一部、機械科第一部を増設 名城大学に大学院商学研究科商学専攻修士課程を設置 10月27日	[課程認定] ・短期大学部電気科、機械科 …中学校二級普通免(理科、職業), 高等学校仮免(理科、工業) ・第一・第二法商学部法学科、商学科 …中学校一級普通免(社会、職業), 高等学校二級普通免(社会、商業) ・第一・第二理工学部数学科 …中学校一級普通免(数学), 高等学校二級普通免(数学) ・第一・第二理工学部電気工学科、機械工学科、建設工学科 …中学校一級普通免(理科、職業), 高等学校二級普通免(理科、工業) ・農学部農学科 …中学校一級普通免(理科、職業), 高等学校二級普通免(理科、農業) ・薬学部薬学科 …中学校一級普通免(理科), 高等学校二級普通免(理科) 教育職員免許法施行規則(昭和29年12月3日施行)
昭和30年(1955)	4月 12月 名城大学薬学部を鷹来校舎から八事校舎に移転	[課程認定]・大学院商学研究科 高等学校一級普通免(商業)
昭和40年(1965)	4月 12月 名城大学薬学部に製薬学科、理工学部一部に交通機械学科を増設 大学院商学研究科を駒方校舎から天白校舎に移転	
昭和41年(1966)	4月 名城大学大学院に薬学研究科薬学専攻修士課程を増設	
昭和42年(1967)	4月 名城大学法学部一部法学科、法学部二部法学科、商学部一部商学科、商学部二部商学科を設置(法商学部第一部、法商学部第二部は廃止) 名城大学理工学部一部(電気工学科、機械工学科、交通機械学科)を中村校舎から天白校舎に移転 名城大学大学院に法学研究科法律学専攻修士課程を増設	[課程認定及び聽講の課程認定] ・法学部一部法学科 …中学校一級普通免(社会), 高等学校二級普通免(社会) ・商学部一部商学科 …中学校一級普通免(社会、職業), 高等学校二級普通免(社会、商業) ・商学部二部商学科 …中学校一級普通免(社会、職業), 高等学校二級普通免(社会、商業) ・理工学部一部交通機械学科 …中学校一級普通免(理科、職業), 高等学校二級普通免(理科、工業) ・薬学部製薬学科 …中学校一級普通免(理科), 高等学校二級普通免(理科)
昭和43年(1968)	4月 名城大学理工学部一部(数学科、建設工学科)を中村校舎から天白校舎に移転 12月 名城大学農学部を鷹来校舎から天白校舎に移転	
昭和44年(1969)	3月 名城大学短期大学部電気科第一部、機械科第一部を廃止 4月 名城大学大学院法学研究科法律学専攻に博士後期課程を増設	
昭和45年(1970)	4月	[課程認定]・大学院法学研究科法律学専攻…高等学校一級普通免(社会)
昭和46年(1971)	4月 名城大学大学院薬学研究科薬学専攻に博士後期課程を増設	
昭和47年(1972)	4月 名城大学農学部に農芸化学科を増設	
昭和48年(1973)	4月 名城大学理工学部一部に土木工学科、建築学科、理工学部二部に交通機械学科、土木工学科、建築学科を増設(理工学部一部建設工学科、理工学部二部建設工学科は廃止) 名城大学大学院に農学研究科農学専攻修士課程を増設	[課程認定及び聽講の課程認定] ・理工学部一部土木工学科、建築学科 …中学校一級普通免(理科、職業), 高等学校二級普通免(理科、工業) ・理工学部二部交通機械学科 …中学校一級普通免(理科、職業), 高等学校二級普通免(理科、工業) ・農学部農芸化学科 …中学校一級普通免(理科), 高等学校二級普通免(理科、農業) ・大学院農学研究科農学専攻…高等学校一級普通免(農業)
昭和50年(1975)	4月 薬学部に薬学専攻科設置	

年月日	大学の沿革	教職課程の沿革
昭和51年(1976)	4月 名城大学商学部一部に経済学科を増設 名城大学大学院農学研究科農学専攻に博士後期課程を増設	[課程認定及び聽講の課程認定] ・商学部一部経済学科 …中学校一級普通免(社会, 職業), 高等学校二級普通免(社会, 商業)
昭和52年(1977)	3月 名城大学短期大学部商経科第二部を廃止 4月 名城大学大学院に工学研究科電気工学専攻, 土木工学専攻, 建築学専攻修士課程を増設	
昭和53年(1978)	2月20日 4月 9月9日	大学において教員養成の課程を置く場合の審査基準(教養審) 大学において教員養成の課程を置く場合の審査内規(教養審) [課程認定] ・大学院工学研究科電気工学専攻, 土木工学専攻, 建築学専攻 …高等学校一級普通免(工業) 課程認定審査の確認事項(課程認定特別委員会)
昭和57年(1982)	12月 名城大学教育研究施設整備拡充計画第1段階完了(法・商学部研究棟, 農学部実験棟, クラブハウス棟竣工)	
昭和60年(1985)	3月 名城大学本部棟竣工	
昭和61年(1986)	3月 名城大学教育研究施設整備拡充計画第2段階完了(附属図書館, 理工学部11号館, 12号館竣工) 4月 名城大学理工学部一部電気工学科, 理工学部二部電気工学科の名称を理工学部一部電気電子工学科, 理工学部二部電気電子工学科に変更 名城大学大学院工学研究科電気工学専攻の名称を工学研究科電気電子工学専攻に変更 9月 名城大学開学60周年記念式典	
昭和63年(1988)	12月28日	教育職員免許法等改正(法律106号)(平成1年4月1日施行)
平成 1年(1989)	12月22日	教育職員免許法等改正(法律89号)(平成2年4月1日施行)
平成 2年(1990)	4月 名城大学大学院工学研究科に機械工学専攻修士課程を設置	[再課程認定及び聽講の課程認定] ・法学部一部・二部法学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(社会) ・商学部一部・二部商学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(社会, 商業) ・商学部一部経済学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(社会, 商業) ※高等学校(社会)については、(地歴)(公民)に変更, 但し聽講の課程認定については存続。 ・理工学部一部・二部数学科…中学校一種免(数学), 高等学校一種免(数学) ・理工学部一部・二部電気電子工学科, 機械工学科, 交通機械学科, 土木工学科, 建築学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 工業) ・農学部農学科, 農芸化学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 農業) ・薬学部薬学科, 製薬学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・短期大学部商経科…中学校二種免(社会) ・大学院法学研究科法律学専攻…高等学校専修免(社会) ・大学院商学研究科商業専攻…高等学校専修免(商業) ・大学院工学研究科電気電子工学専攻, 土木工学専攻, 建築学専攻 …高等学校専修免(工業) ・大学院農学研究科農学専攻…高等学校専修免(農業) [課程認定] ・大学院法学研究科法律学専攻…中学校専修免(社会) ・大学院工学研究科機械工学専攻…高等学校専修免(工業) [課程認定] ・法学部一部・二部法学科…高等学校一種免(地歴, 公民) ・商学部一部・二部商学科…高等学校一種免(地歴, 公民) ・商学部一部経済学科…高等学校一種免(地歴, 公民)
平成 3年(1991)	7月	設置基準改正に伴う教育職員施行規則の改正
平成 4年(1992)	4月 名城大学大学院工学研究科機械工学専攻に博士後期課程, 工学研究科に建設工学専攻博士課程を増設	
平成 5年(1993)	4月 名城大学大学院工学研究科電気電子工学専攻に博士後期課程, 工学研究科に数学専攻修士課程を設置 名城大学大学院工学研究科の名称を大学院理工学研究科に変更	[課程認定] ・大学院理工学研究科数学専攻…中学校専修免(数学), 高等学校専修免(数学) [教科に関する科目の変更届] ・法学部一部・二部法学科…中学校一種免(社会) ・商学部一部・二部商学科…高等学校一種免(地歴, 公民) ・商学部一部経済学科…高等学校一種免(地歴, 公民) ・理工学部一部・二部数学科…中学校一種免(数学), 高等学校一種免(数学) ・理工学部一部・二部電気電子工学科, 機械工学科, 交通機械学科, 土木工学科, 建築学科 …中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 工業) ・農学部農学科, 農芸化学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 農業) ・短期大学部商経科…中学校二種免(社会) ・大学院法学研究科…中学校専修免(社会) ・大学院商学研究科…高等学校専修免(商業)
平成 6年(1994)	4月	[課程認定] ・大学院法学研究科法律学専攻…高等学校専修免(公民) [教科に関する科目の変更届] ・法学部一部・高等学校一種免(地歴) ・商学部一部商学科…中学校一種免(社会) ・商学部二部商学科…高等学校一種免(地歴, 公民) ・商学部一部経済学科…高等学校一種免(商業)
平成 7年(1995)	4月 名城大学に都市情報学部都市情報学科を設置 名城大学大学院商学研究科商業専攻に博士後期課程, 理工学研究科数学専攻に博士後期課程を設置	[教科に関する科目の変更届] ・大学院法学研究科…中学校専修免(社会), 高等学校専修免(公民) ・大学院商学研究科…高等学校専修免(商業) ・大学院理工学研究科機械工学専攻, 土木工学専攻, 建築学専攻 …高等学校専修免(工業) ・薬学部薬学科, 製薬学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科)
平成 8年(1996)	4月 名城大学薬学部医療薬学科, 薬学科を設置(薬学部薬学科, 製薬学科は募集停止) 名城大学大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程, 薬学専攻博士前期課程を設置(薬学専攻修士課程は募集停止)	[課程認定] ・薬学部医療薬学科, 药学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) [教科に関する科目の変更届] ・大学院法学研究科…中学校専修免(社会), 高等学校専修免(公民)

年月日	大学の沿革	教職課程の沿革
平成 9年(1997)	4月	[教科に関する科目の変更届] ・大学院農学研究科…高等学校専修免(農業) ・大学院理工学研究科建築学専攻…高等学校専修免(工業)
平成10年(1998)	4月	[教科に関する科目の変更届] ・大学院理工学研究科土木工学専攻…高等学校専修免(工業)
平成11年(1999)	4月	[課程認定] ・法学部法学科、応用実務法学科(昼間主、夜間主) …中学校一種免(社会),高等学校一種免(地歴, 公民) ・農学部生物資源学科、応用生物化学科 …中学校一種免(理科),高等学校一種免(理科, 農業) [教科に関する科目の変更届] ・商学部商学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(社会),高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・商学部経済学科 …中学校一種免(社会),高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・理工学部数学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(数学),高等学校一種免(数学) ・理工学部電気電子工学科, 機械工学科, 交通機械学科, 土木工学科, 建築学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(理科),高等学校一種免(理科, 工業)
平成12年(2000)	4月	教育職員免許法の一部改正 [再課程認定] ・法学部法学科、応用実務法学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(社会),高等学校一種免(地歴, 公民) ・経営学部経営学科、国際経営学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(社会),高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・経済学部経済学科、産業社会学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(社会),高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・理工学部数学科(昼間主, 夜間主)…中学校一種免(数学),高等学校一種免(数学) ・理工学部情報科学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(数学),高等学校一種免(数学, 工業) ・理工学部電気電子工学科, 材料機能工学科, 機械システム工学科, 交通科学科, 建設システム工学科, 環境創造学科, 建築学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(理科),高等学校一種免(理科, 工業) ・農学部生物資源学科、応用生物化学科 …中学校一種免(理科),高等学校一種免(理科, 農業) ・薬学部医療薬学科、薬学科…中学校一種免(理科),高等学校一種免(理科) ・短期大学部情報国際科…中学校二種免(社会) [課程認定] ・大学院商学研究科…中学校専修免(社会),高等学校専修免(商業) ・大学院経済学研究科…中学校専修免(社会),高等学校専修免(公民)
平成13年(2001)	4月	[新課程認定] ・大学院経営学研究科経営学専攻修士課程を設置(商学研究科商学専攻修士課程は募集停止)
平成14年(2002)	4月	[新課程認定] ・名城大学大学院総合学術研究科総合学術専攻博士前期課程、後期課程を設置 名城大学大学院理工学研究科数学専攻, 電気電子工学専攻博士前期課程、情報科学専攻, 材料機能工学科専攻, 機械システム工学科専攻, 交通科学専攻, 建設システム工学科専攻, 環境創造学科専攻, 建築学専攻修士課程を設置(理工学研究科数学専攻, 電気電子工学専攻, 機械工学科専攻, 土木工学科専攻, 建築学専攻修士課程は募集停止) 名城大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程を設置 [再課程認定] ・理工学部数学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(数学),高等学校一種免(数学, 情報) ・理工学部情報科学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(数学)高等学校一種免(数学, 工業, 情報) ※「情報」の免許状は平成14年度から開始
平成15年(2003)	4月	[新課程認定] ・人間学部人間学科…中学校一種免(英語),高等学校一種免(英語) [教科に関する科目の変更届] ・農学部生物資源学科…高等学校一種免(農業) [教科に関する科目の変更届](学則の一部改正に伴う, ものづくりで変更)] ・大学院経営学研究科経営学専攻…高等学校専修免(商業) [課程認定取下げ(届出)] ・名城大学短期大学部…中学校二種免(社会) 取下げ
平成16年(2004)	4月	[課程認定取下げ(届出)] ・理工学部情報工学科…中学校一種免(数学),高等学校一種免(数学) 取下げ [再課程認定] ・理工学部情報工学科(昼間主, 夜間主)…高等学校一種免(情報, 工業) [教科に関する科目の変更届] ・法学部法学科(昼間主, 夜間主), 応用実務法学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(社会),高等学校一種免(地歴, 公民) ・理工学部数学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(数学)高等学校一種免(数学, 情報) ・理工学部電気電子工学科(昼間主, 夜間主), 材料機能工学科(昼間主, 夜間主) 機械システム工学科(昼間主, 夜間主), 交通科学科(昼間主, 夜間主) 建設システム工学科(昼間主, 夜間主), 環境創造学科(昼間主, 夜間主) 建築学科(昼間主, 夜間主) …中学校一種免(理科)高等学校一種免(理科, 工業) ・大学院理工学研究科数学専攻…中学校専修免(数学),高等学校専修免(数学) ・大学院理工学研究科情報科学専攻 …中学校専修免(数学),高等学校専修免(数学, 工業) ・大学院理工学部電気電子工学専攻, 材料機能工学科専攻, 機械システム工学科専攻, 交通科学専攻, 建設システム工学科専攻, 環境創造学科専攻, 建築学専攻 …高等学校専修免(工業)
	7月	名城大学大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程及び薬学専攻博士前期課程を廃止

2018年度入学生用教職課程便覧(名城大学)

年月日	大学の沿革	教職課程の沿革
平成17年(2005)	<p>名城大学農学部生物環境科学科を設置 名城大学大学院理工学研究科数学専攻、電気電子工学専攻、機械工学専攻、土木工学専攻及び建築学専攻修士課程を廃止</p>	<p>[課程認定取下げ(届出)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学部法学科夜間主コース、応用実務法学科夜間主コース …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民)取下げ ・経営学部経営学科夜間主コース、国際経営学科夜間主コース …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民、商業)取下げ ・経済学部経済学科夜間主コース、産業社会学科夜間主コース …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民、商業)取下げ ・理工学部数学科夜間主コース …中学校一種免(数学)、高等学校一種免(数学、情報)取下げ ・理工学部情報工学科夜間主コース…高等学校一種免(工業、情報)取下げ ・理工学部電気電子工学科夜間主コース、材料機能工学科夜間主コース、機械システム工学科夜間主コース 交通機械学科夜間主コース、建設システム工学科夜間主コース、環境創造学科夜間主コース 建築学科夜間主コース …中学校一種免(理科)、高等学校一種免(理科、工業)取下げ ・農学部生物資源学科、応用生物化学科、生物環境科学科 …中学校一種免(理科)、高等学校一種免(理科、農業) <p>[再課程認定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農学部生物資源学科、応用生物化学科、生物環境科学科 …中学校一種免(理科)、高等学校一種免(理科、農業) <p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学部法学科、応用実務法学科…高等学校一種免(地歴) ・経営学部経営学科、国際経営学科 …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民、商業) ・経済学部経済学科、産業社会学科 …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民、商業) ・大学院法学研究科法律学専攻…中学校専修免(社会)、高等学校専修免(公民) ・大学院経営学研究科経営学専攻…高等学校専修免(商業) ・大学院経済学研究科経済学専攻…中学校専修免(社会)、高等学校専修免(公民) <p>[第66条の6に定める科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学部経営学科、国際経営学科 …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民、商業) ・経済学部経済学科、産業社会学科 …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民、商業) ・理工学部数学科…中学校一種免(数学)、高等学校一種免(数学、情報) ・情報工学科…中学校一種免(工業)、高等学校一種免(工業) ・理工学部数学科夜間主コース→情報工学科 電気電子工学科夜間主コース→電気電子工学科 機械システム工学科夜間主コース→機械システム工学科 交通機械学科夜間主コース→交通機械学科 建設システム工学科夜間主コース→建設システム工学科 環境創造学科夜間主コース→環境創造学科 建築学科夜間主コース→建築学科
	4月	名城大学短期大学部を廃止
平成18年(2006)	<p>名城大学薬学部薬学科を設置(薬学部医療薬学科、薬学科は募集停止) 名城大学大学院大学・学校づくり研究科大学・学校づくり専攻修士課程を設置</p>	<p>[課程認定取下げ(届出)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬学部医療薬学科、薬学科 …中学校一種免(理科)、高等学校一種免(理科)取下げ <p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学部経営学科、国際経営学科…中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴) ・経済学部経済学科…中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴) ・経済学部産業社会学科…中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、商業) ・理工学部数学科…中学校一種免(数学)、高等学校一種免(数学、情報) ・大学院法学研究科法律学専攻…中学校専修免(社会)、高等学校専修免(公民) ・大学院理工学研究科情報科学専攻、機械システム工学専攻、建築学専攻 …高等学校専修免(工業)
	5月	名城大学商学部二部商学科、理工学部一部数学科、電気電子工学科、機械工学科、交通機械学科、土木工学科、建築学科、農学部農学科、農芸化学科を廃止
	11月	名城大学商学部商学科、経済学科を廃止
平成19年(2007)	<p>4月</p>	<p>[第66条の6に定める科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学部経営学科、国際経営学科 …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民、商業) ・経済学部経済学科、産業社会学科 …中学校一種免(社会)、高等学校一種免(地歴、公民、商業) ・農学部生物資源学科、応用生物化学科、生物環境科学科 …中学校一種免(理科)、高等学校一種免(理科、農業) ・人間学部人間学科…中学校一種免(英語)、高等学校一種免(英語) <p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理工学部数学科…中学校一種免(数学)、高等学校一種免(数学、情報) ・理工学部材料機能工学科…高等学校一種免(工業) ・人間学部人間学科…中学校一種免(英語)、高等学校一種免(英語) ・大学院経営学研究科経営学専攻…高等学校専修免(商業) ・大学院経済学研究科経済学専攻…中学校専修免(社会)、高等学校専修免(公民) <p>[教職に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間学部人間学科…中学校一種免(英語)、高等学校一種免(英語)
	5月	名城大学法学部二部法学科、理工学部二部数学科、電気電子工学科、機械工学科、交通機械学科、土木工学科、建築学科を廃止
	12月	名城大学理工学部数学科、電気電子工学科、機械工学科、交通機械学科、土木工学科、建築学科を廃止 名城大学大学院商学研究科商学専攻修士課程及び博士後期課程を廃止

年月日	大学の沿革	教職課程の沿革	
平成20年(2008)	名城大学商学部一部商学科及び経済学科を廃止 名城大学大学院理工学研究科情報科学専攻修士課程を 情報工学専攻修士課程に名称変更	<p>[課程認定取下げ(届出)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院理工学研究科情報科学専攻 …中学校専修免(数学), 高等学校専修免(数学, 工業) <p>[新課程認定]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市情報学部都市情報学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民) ・人間学部人間学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民) ・大学院理工学研究科情報工学専攻…高等学校専修免(工業) <p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学部経済学科, 産業社会学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・都市情報学部都市情報学科…高等学校一種免(情報) ・大学院理工学研究科数学専攻…中学校専修免(数学), 高等学校専修免(数学) ・大学院理工学研究科材料機能工学専攻, 建設システム工学専攻, 建築学専攻 …高等学校専修免(工業) <p>[第66条の6に定める科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市情報学部都市情報学科…高等学校一種免(情報) <p>[教職に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法学部法学科, 応用実務法学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民) ・経営学部経営学科, 国際経営学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・経済学部経済学科, 産業社会学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・理工学部数学学科…中学校一種免(数学), 高等学校一種免(数学, 情報) ・理工学部情報工学科…高等学校一種免(工業, 情報) ・理工学部電気電子工学科, 材料機能工学科, 機械システム工学科, 交通科学科, 建設システム工学科, 環境創造学科, 建築学科 …中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 工業) ・農学部生物資源学科, 応用生物化学科, 生物環境科学科 …中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 農業) ・都市情報学部都市情報学科…高等学校一種免(情報) ・人間学部人間学科…中学校一種免(英語), 高等学校一種免(英語) 	
		6月 名城大学法学部一部法学科を廃止	
平成21年(2009)	4月	<p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学部経済学科, 産業社会学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(公民) ・農学部生物資源学科, 応用生物化学科, 生物環境科学科 …中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 農業) ・都市情報学部都市情報学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(公民) ・人間学部人間学科…中学校一種免(社会, 英語), 高等学校一種免(公民, 英語) ・大学院法学研究科法律学専攻…中学校専修免(社会), 高等学校専修免(公民) ・大学院経済学研究科経済学専攻…中学校専修免(社会), 高等学校専修免(公民) ・大学院理工学研究科建築学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院農学研究科農学専攻…高等学校専修免(農業) <p>[第66条の6に定める科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学部経営学科, 国際経営学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・経済学部経済学科, 産業社会学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・農学部生物資源学科, 応用生物化学科, 生物環境科学科 …中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 農業) ・都市情報学部都市情報学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 情報) ・人間学部人間学科 …中学校一種免(社会, 英語), 高等学校一種免(地歴, 公民, 英語) 	
		4月	
平成22年(2010)	4月	名城大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻及び生命薬学専攻修士課程を募集停止	<p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学部経営学科, 国際経営学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・理工学部環境創造学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・大学院理工学研究科数学専攻…中学校専修免(数学), 高等学校専修免(数学) ・大学院理工学研究科電気電子工学科, 材料機能工学科, 機械システム工学科専攻, 建築学専攻 …高等学校専修免(工業) <p>[教職に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程認定を受けている全学部学科
平成23年(2011)	4月	名城大学理工学部交通科学科の名称を理工学部交通機工学科に変更 名城大学大学院人間学研究科人間学専攻修士課程を設置	<p>[学科名称の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理工学部交通科学科 → 交通機械工学科 <p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理工学部材料機能工学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 工業) ・大学院経営学研究科経営学専攻…高等学校専修免(商業)
平成24年(2012)	4月	名城大学理工学部情報科学科を廃止 名城大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻及び生命薬学専攻修士課程を廃止	<p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院理工学研究科数学専攻 …中学校専修免(数学), 高等学校専修免(数学) ・大学院理工学研究科情報工学専攻, 電気電子工学専攻, 材料機能工学専攻, 機械システム工学専攻, 交通科学専攻, 建設システム工学専攻, 環境創造学専攻, 建築学専攻 …高等学校専修免(工業)
	5月	名城大学薬学部医療薬学科, 薬学科(4年制)を廃止	

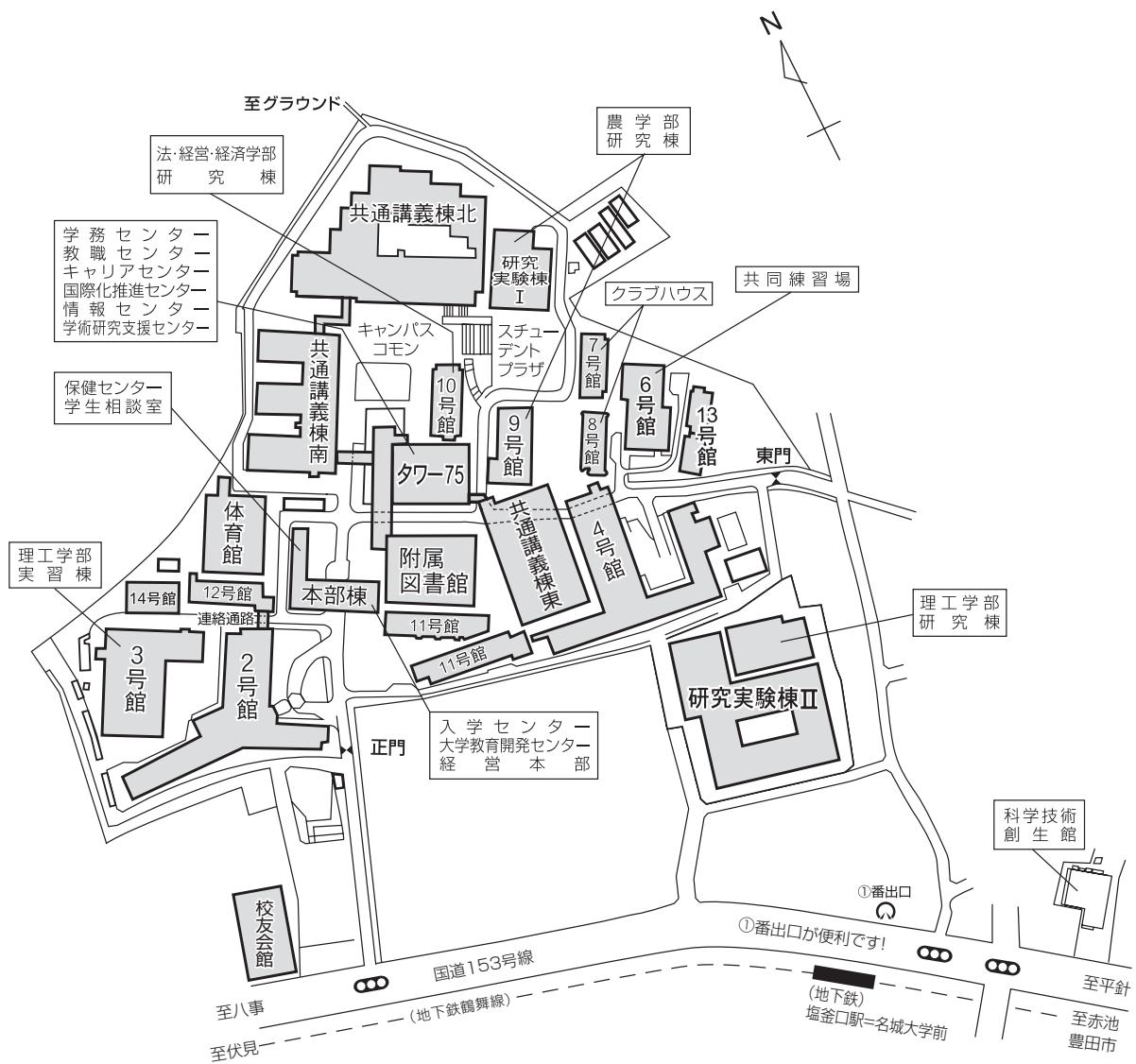
年月日		大学の沿革	教職課程の沿革
平成25年(2013)	4月	名城大学理学部応用化学科、メカトロニクス工学科を設置 名城大学理工学部機械システム工学科、建設システム工学科の名称を機械工学科、社会基盤デザイン工学科に変更	[課程認定] ・理工学部応用化学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 工業) ・理工学部メカトロニクス工学科…高等学校一種免(工業) [学科名称の変更届] ・理工学部機械システム工学科→機械工学科 建設システム工学科→社会基盤デザイン工学科 [教科に関する科目の変更届] ・理工学部数学科…中学校一種免(数学), 高等学校一種免(数学, 情報) ・理工学部情報工学科…高等学校一種免(工業, 情報) ・理工学部電気電子工学科, 材料機能工学科, 機械工学科, 交通機械工学科, 社会基盤デザイン工学科, 環境創造学科, 建築学科 …中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 工業) ・大学院経済学研究科経済学専攻 …中学校専修免(社会), 高等学校専修免(公民) [第66条の6に定める科目の変更届] ・理工学部全学科 [教科又は教職に関する科目, 教職に関する科目の変更届] ・教職課程認定を受けている全部学部学科
平成26年(2014)	4月		[教科に関する科目の変更届] ・大学院理工学研究科機械システム工学専攻…高等学校専修免(工業)
平成27年(2015)	1月 4月	名城大学大学院薬学研究科薬学専攻博士後期課程を廃止 名城大学大学院理工学研究科交通科学専攻修士課程の名称を理工学研究科交通機械工学専攻修士課程に変更	[課程認定下げる届出] ・経営学部経営学科, 国際経営学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民) ・都市情報学部都市情報学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴) [専攻名称の変更届] ・理工学研究科交通科学専攻→交通機械工学専攻 [教科に関する科目の変更届] ・経営学部経営学科, 國際経営学科…高等学校一種免(商業) ・経済学部経済学科, 産業社会学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・農学部生資源学科, 応用生物化学科, 生物環境科学科 …中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 農業) ・人間学部人間学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地理歴史, 公民) [第66条の6に定める科目の変更届] ・経営学部経営学科, 国際経営学科…高等学校一種免(商業) ・経済学部経済学科, 産業社会学科 …中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民, 商業) ・農学部生資源学科, 応用生物化学科, 生物環境科学科 …中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科, 農業) ・都市情報学部都市情報学科…高等学校一種免(公民, 情報) ・人間学部人間学科 …中学校一種免(社会, 英語), 高等学校一種免(地歴, 公民, 英語)
平成28年(2016)	4月	名古屋市東区にナゴヤドーム前キャンパスを開設 名城大学ナゴヤドーム前キャンパスに外国語学部国際英語学科を設置 名城大学法学院応用実務法学科を募集停止 名城大学大学院大学・学校づくり研究科修士課程を募集停止	[課程認定下げる届出] ・法学院応用実務法学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民) [課程認定] ・外国語学部国際英語学科…中学校一種免(英語), 高等学校一種免(英語) [教科に関する科目の変更届] ・法学院法学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(地歴, 公民) ・人間学部人間学科…中学校一種免(英語), 高等学校一種免(英語) ・大学院法学研究科法律学専攻…中学校専修免(社会), 高等学校専修免(公民) ・大学院経営学研究科経営学専攻…高等学校専修免(商業) ・大学院経済学研究科経済学専攻…中学校専修免(社会), 高等学校専修免(公民) ・大学院理工学研究科情報工学専攻, 電気電子工学専攻, 材料機能工学専攻, 機械システム工学専攻, 交通機械工学専攻, 建設システム工学専攻, 環境創造学専攻, 建築学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院農学研究科農学専攻…高等学校専修免(農業) [第66条の6に定める科目の変更届] ・法学院法学科 [教職に関する科目の変更届] 教職課程認定を受けている全部学部学科
	11月28日		教育職員免許法の一部改正（法律第87号：教育公務員特例法の一部改正）（平成29年4月1日施行）
平成29年(2017)	4月	名城大学大学院理工学研究科応用化学専攻修士課程, メカトロニクス工学専攻修士課程を設置 名城大学大学院機械システム工学専攻修士課程, 建設システム工学専攻修士課程の名称を機械工学専攻修士課程, 社会基盤デザイン工学専攻修士課程に変更 名城大学大学院法務研究科法務専攻専門職学位課程を募集停止	[課程認定] ・大学院理工学研究科応用化学専攻…中学校専修免(理科), 高等学校専修免(理科) ・大学院理工学研究科メカトロニクス工学専攻…高等学校専修免(工業) [専攻名称の変更届] ・理工学研究科機械システム工学専攻→機械工学専攻 ・理工学研究科建設システム工学専攻→社会基盤デザイン工学専攻 [教科に関する科目の変更届] ・理工学部数学科…高等学校一種免(情報) ・理工学部電気電子工学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・理工学部材料機能工学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・理工学部応用化学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・理工学部機械工学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・理工学部交通機械工学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・理工学部社会基盤デザイン工学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・理工学部環境創造学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・理工学部建築学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・農学部生資源学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・農学部応用生物化学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・農学部生環境科学科…中学校一種免(理科), 高等学校一種免(理科) ・大学院理工学研究科数学専攻…中学校専修免(数学), 高等学校専修免(数学) ・大学院理工学研究科情報工学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院理工学研究科電気電子工学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院理工学研究科材料機能工学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院理工学研究科機械工学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院理工学研究科交通機械工学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院理工学研究科社会基盤デザイン工学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院理工学研究科環境創造学専攻…高等学校専修免(工業) ・大学院理工学研究科建築学専攻…高等学校専修免(工業)

2018年度入学生用教職課程便覧(名城大学)

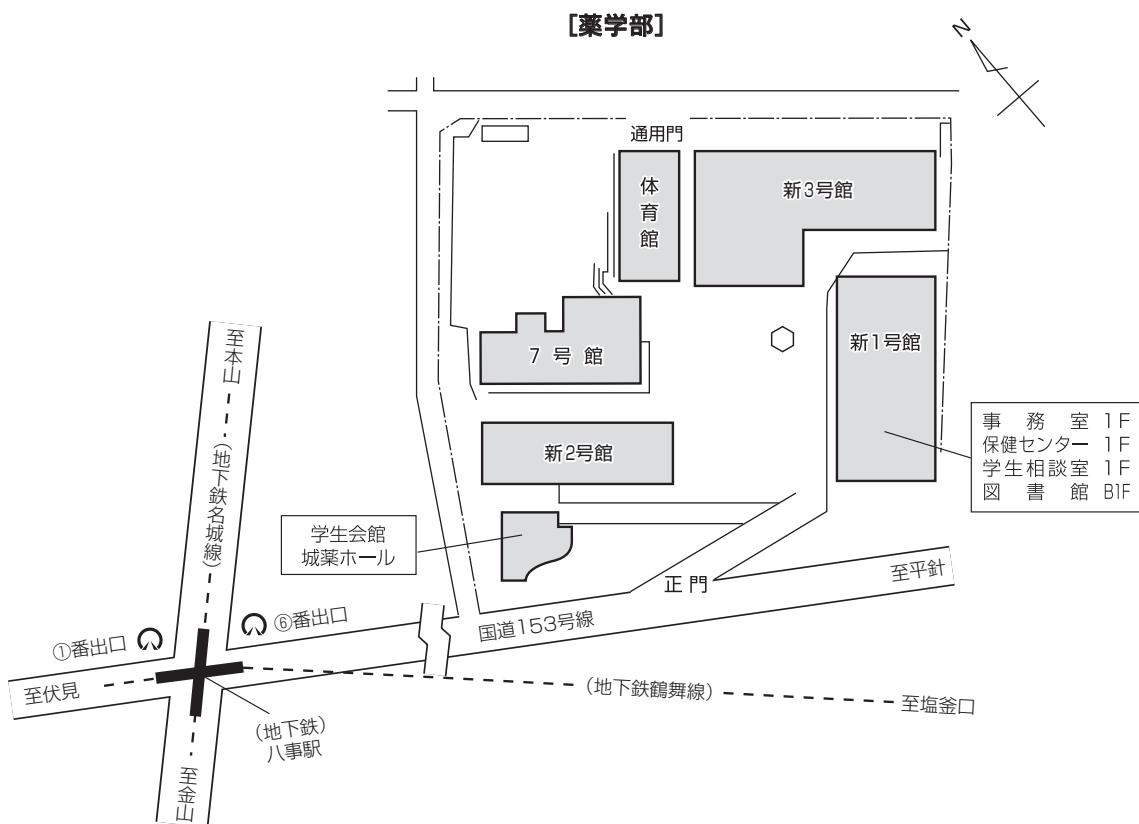
年月日		大学の沿革	教職課程の沿革
平成30年(2018)	4月		<p>[教科に関する科目の変更届]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済学部経済学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(公民)(商業) ・経済学部産業社会学科…中学校一種免(社会), 高等学校一種免(公民)(商業) ・人間学部人間学科…高等学校一種免(公民) ・法学研究科法律学専攻…中学校専修免(社会), 高等学校専修免(公民) ・経営学研究科経営学専攻…高等学校専修免(商業)

天白キャンパス 配置図

[大学本部、法学部、経営学部、経済学部、理工学部、農学部]

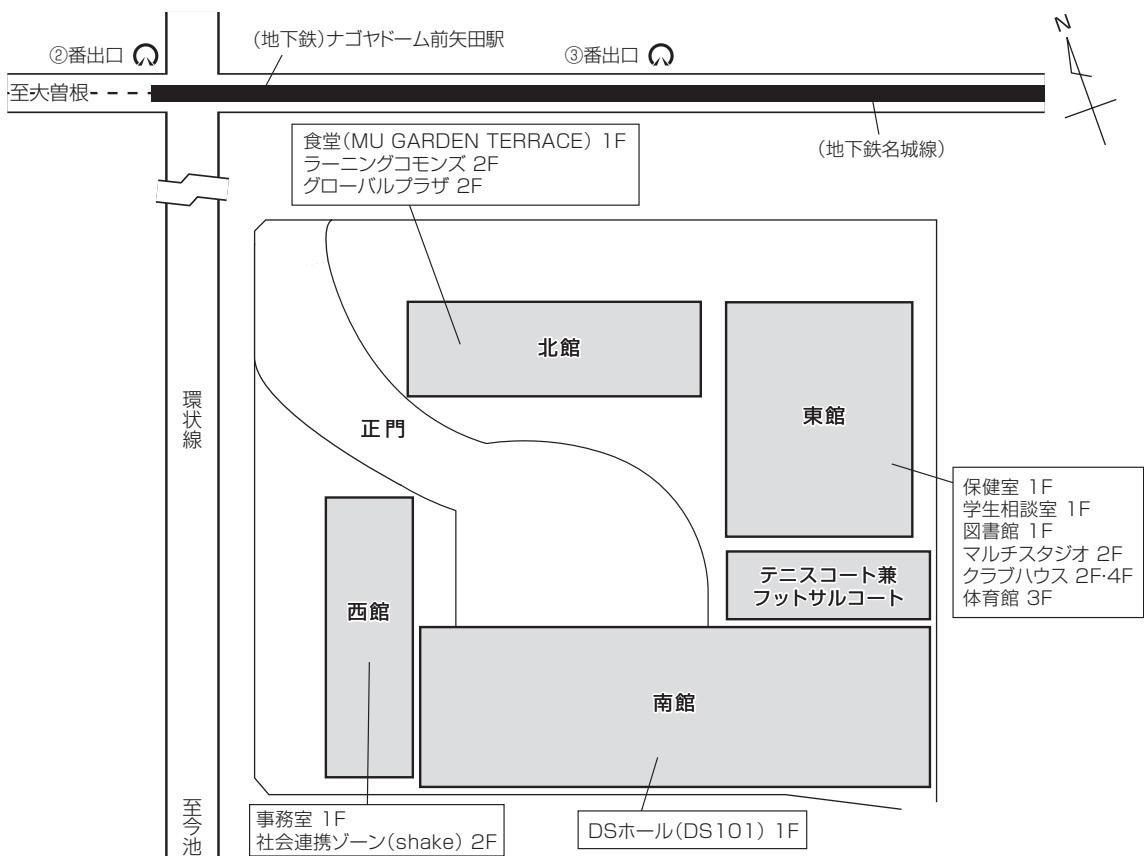


八事キャンパス 配置図

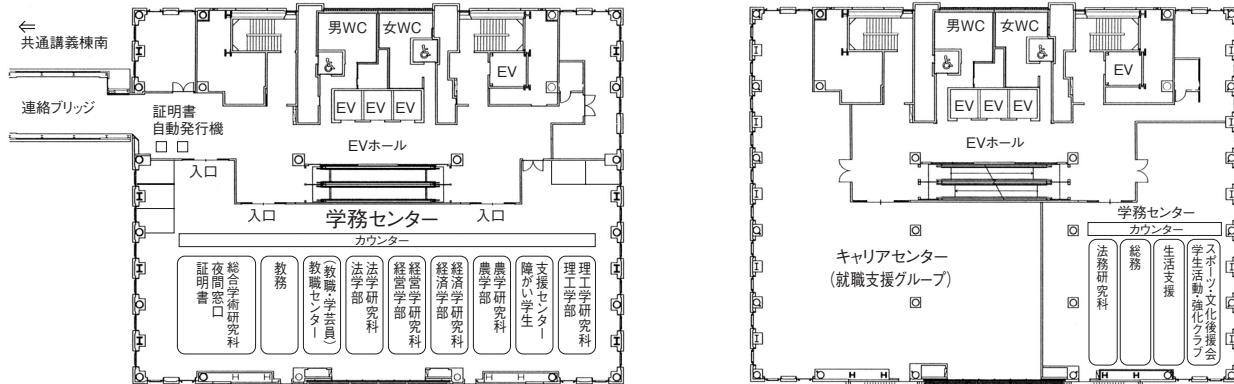


ナゴヤドーム前キャンパス 配置図

[都市情報学部、人間学部、外国語学部]

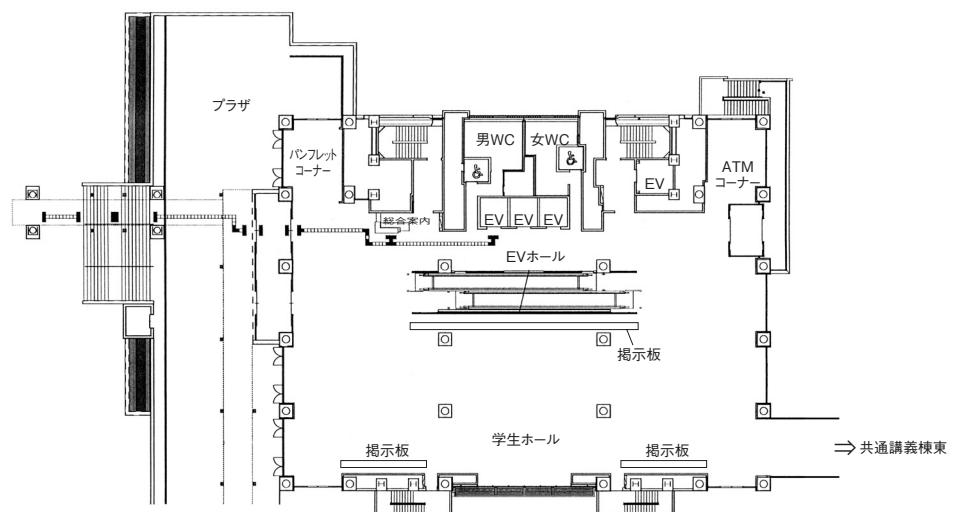


タワー75 配置図

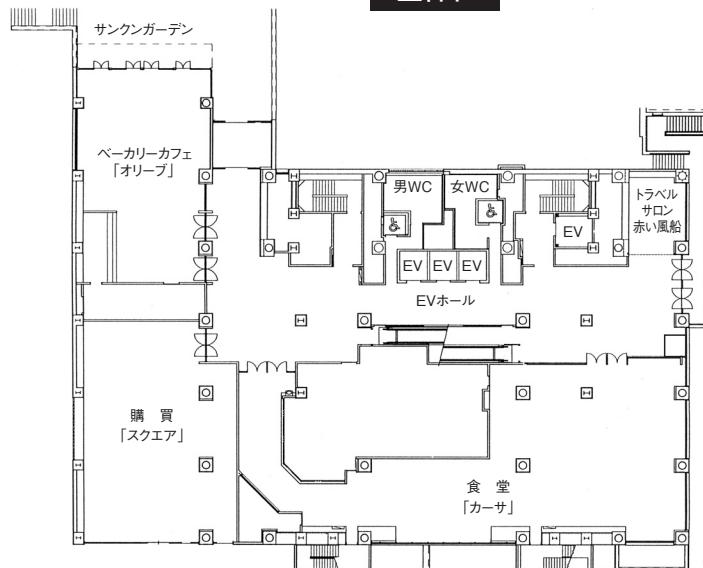


3階

4階

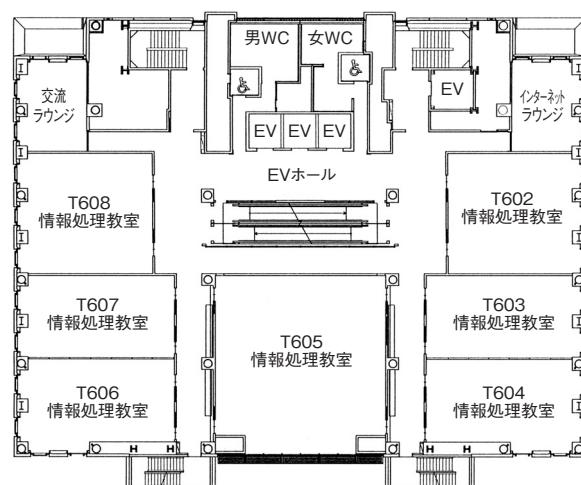
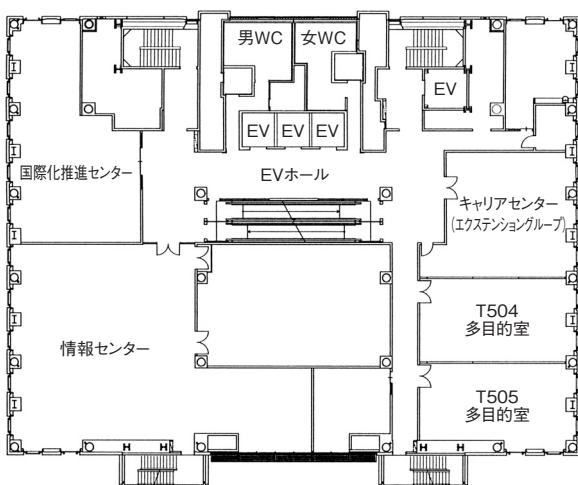
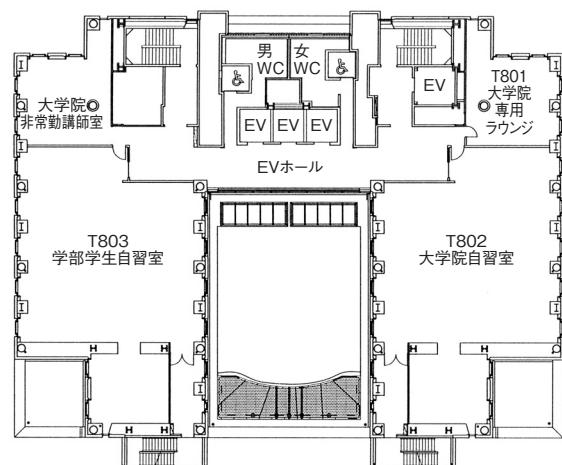
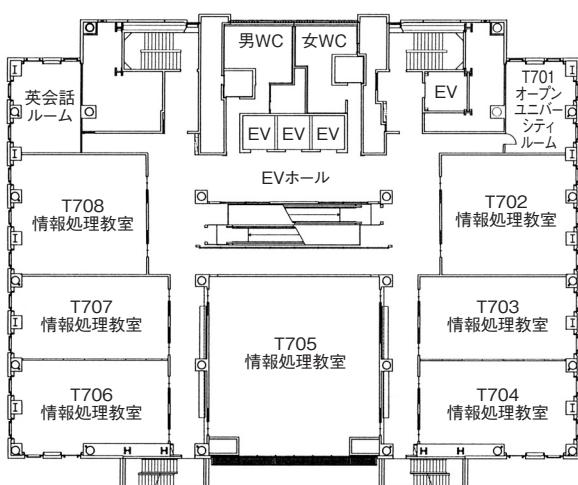
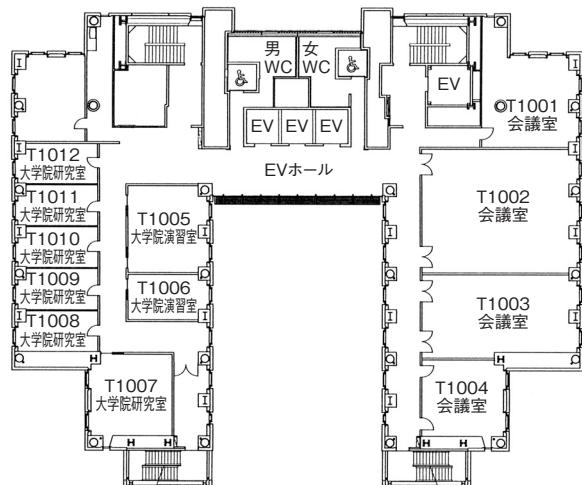
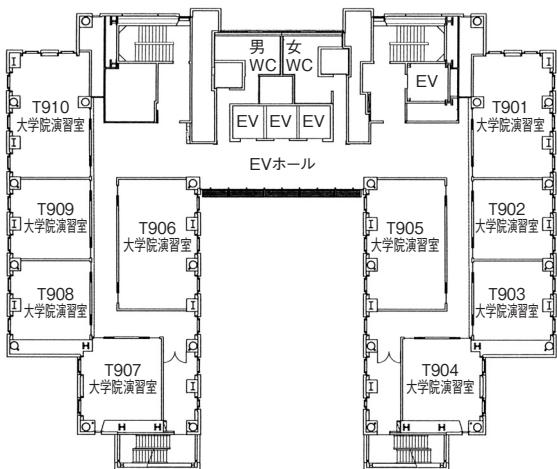


2階

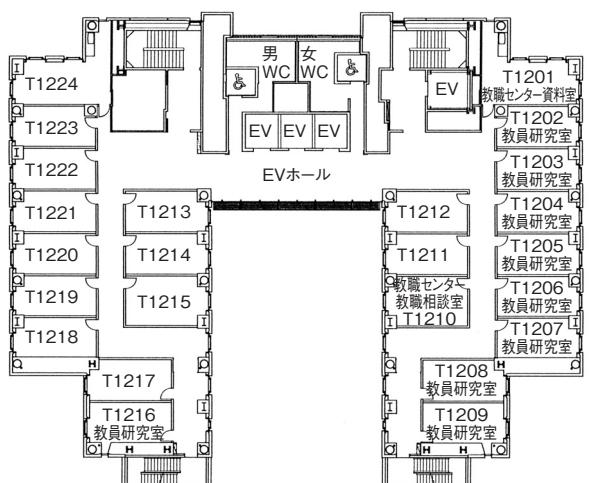
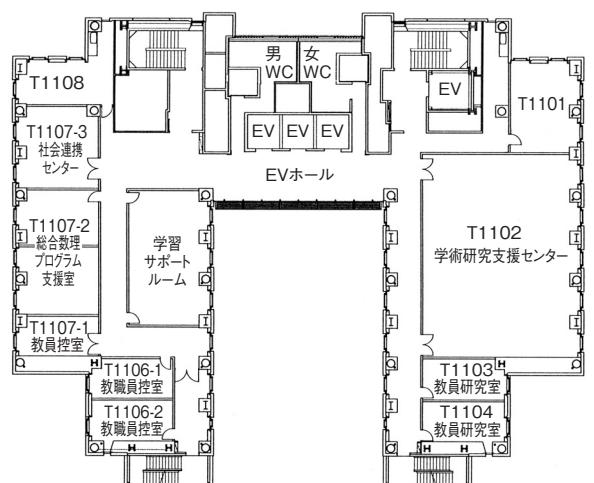
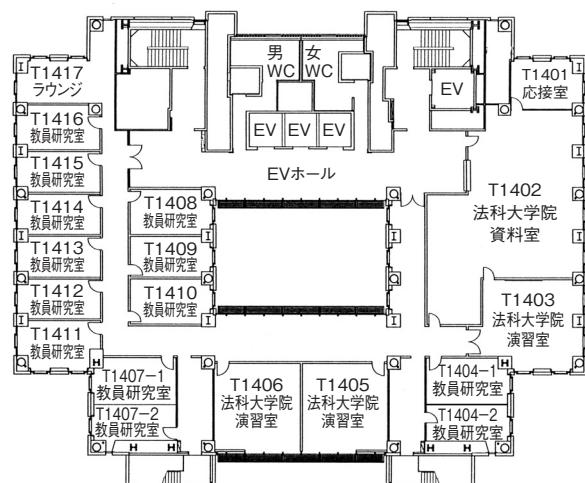
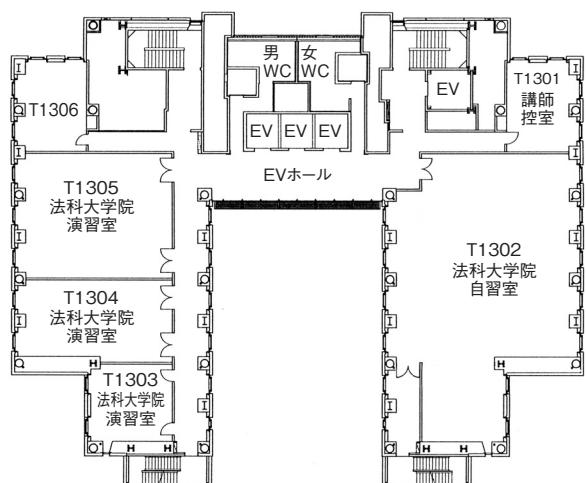
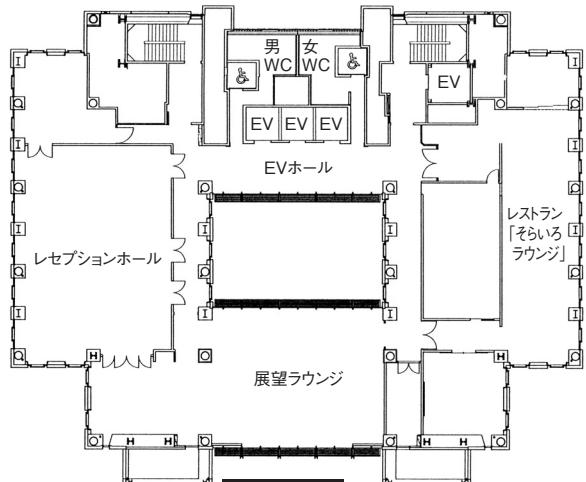


1階

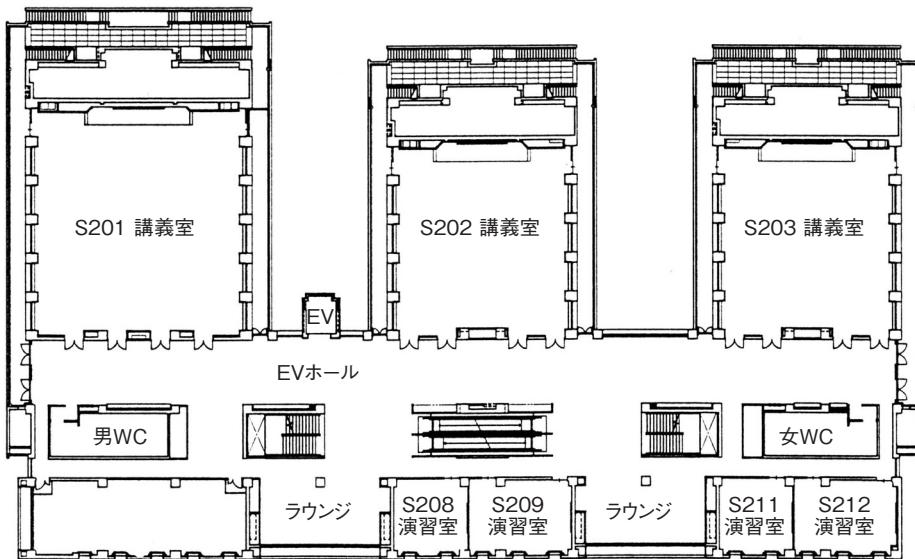
タワー75 配置図



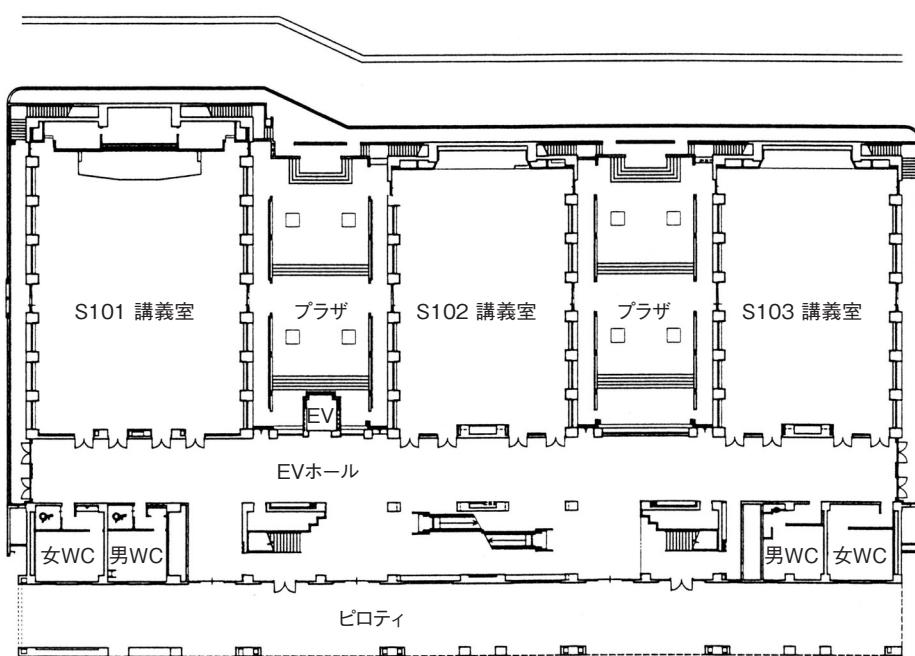
タワー75 配置図



共通講義棟南(S) 配置図

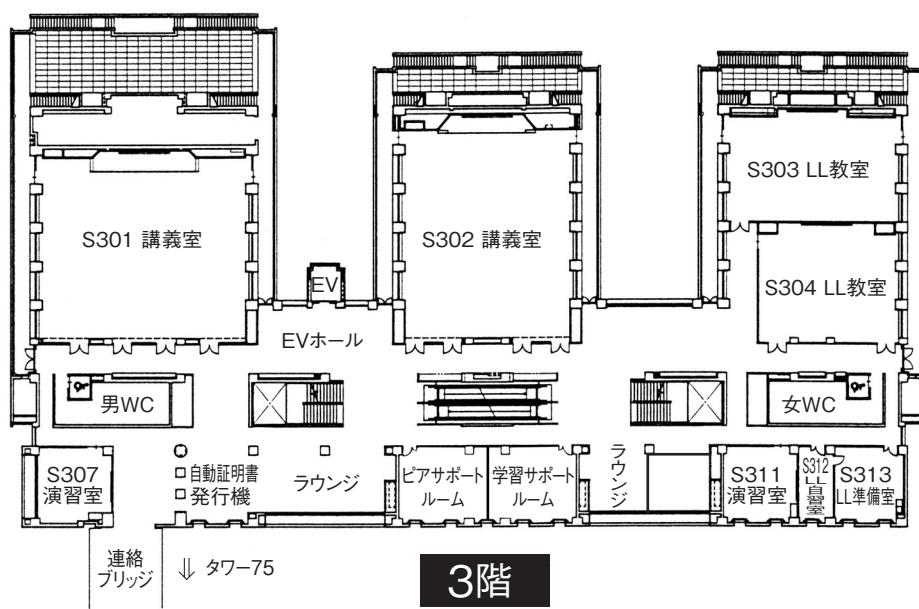
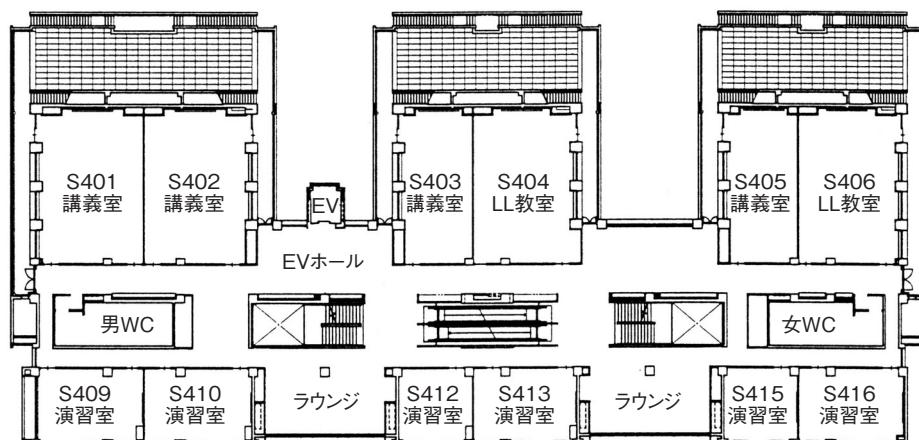
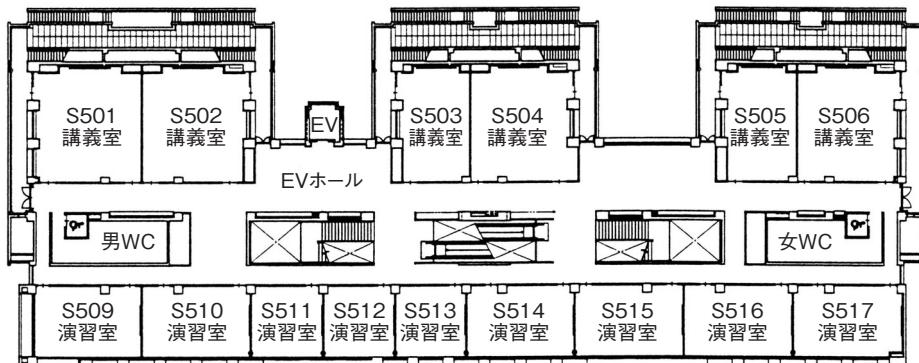


2階

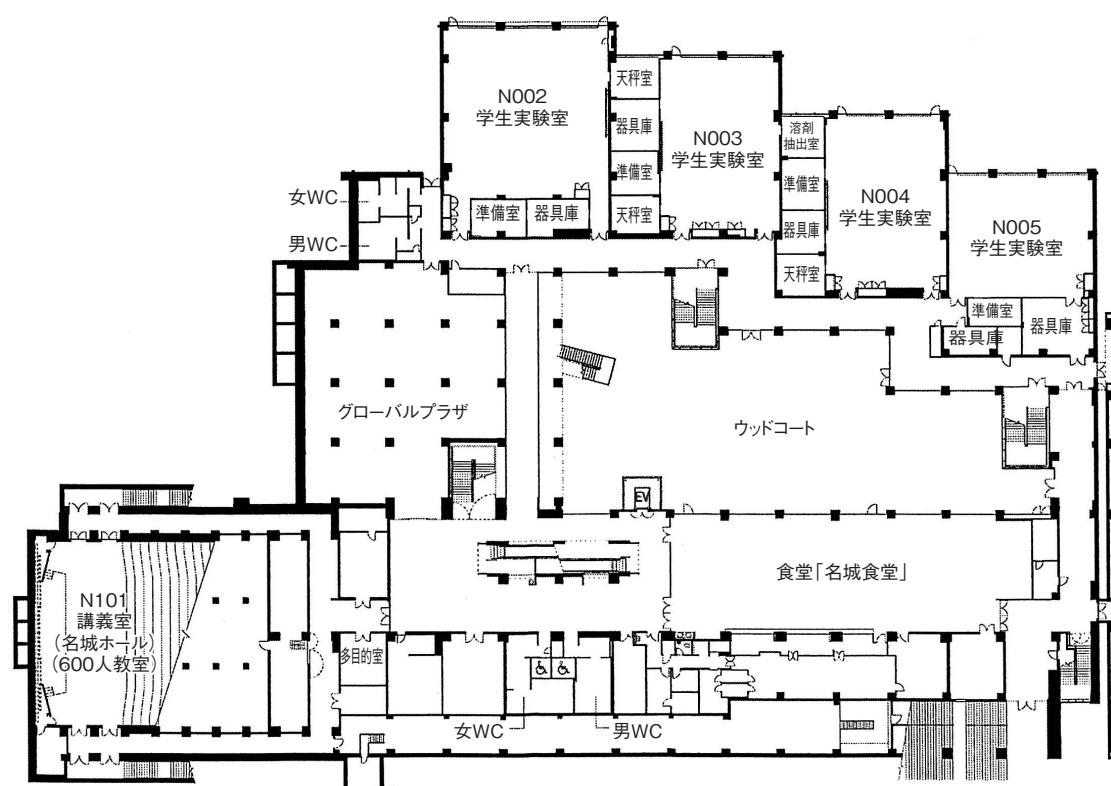
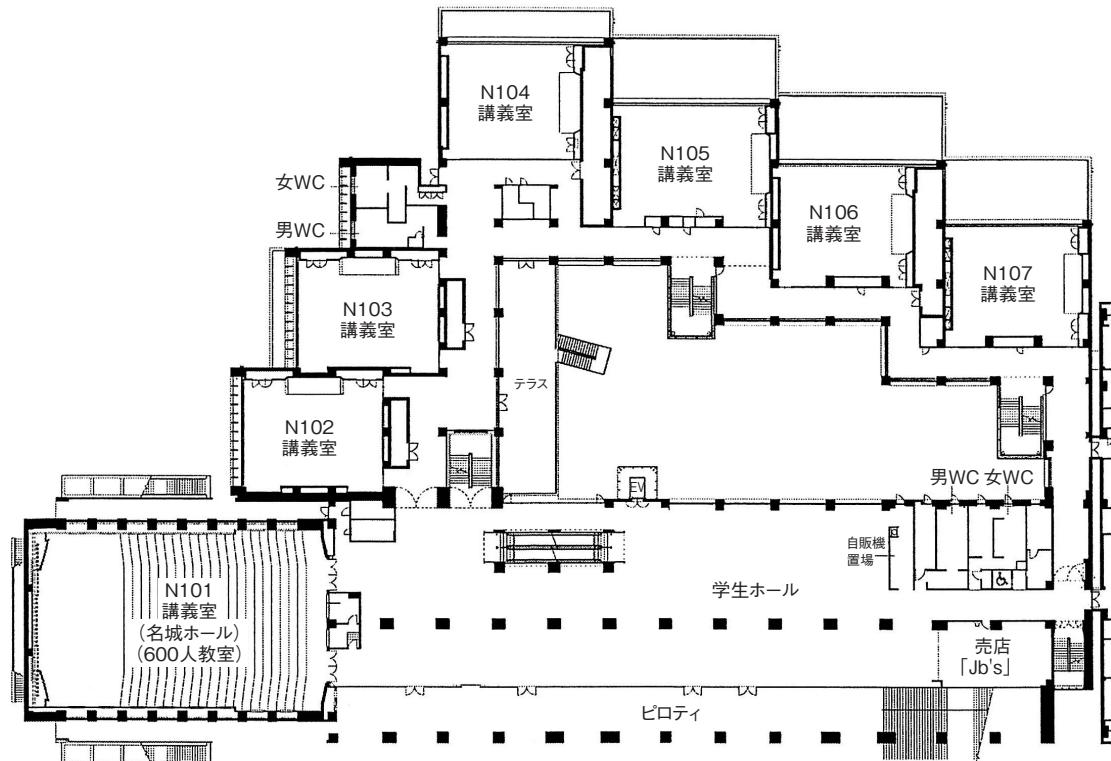


1階

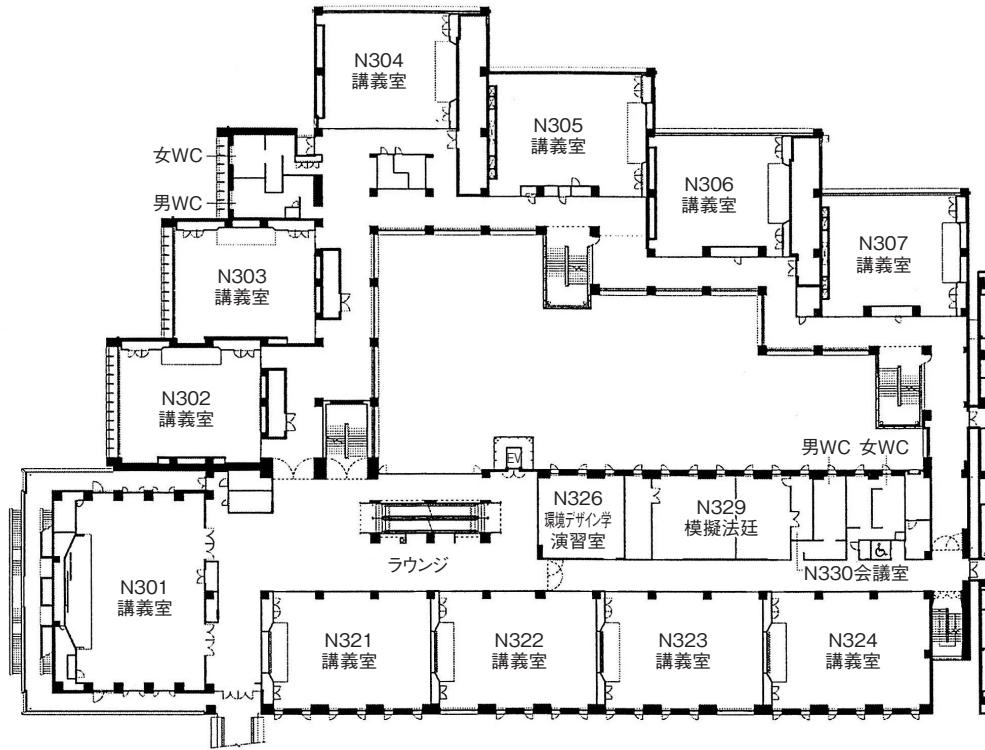
共通講義棟南(S) 配置図



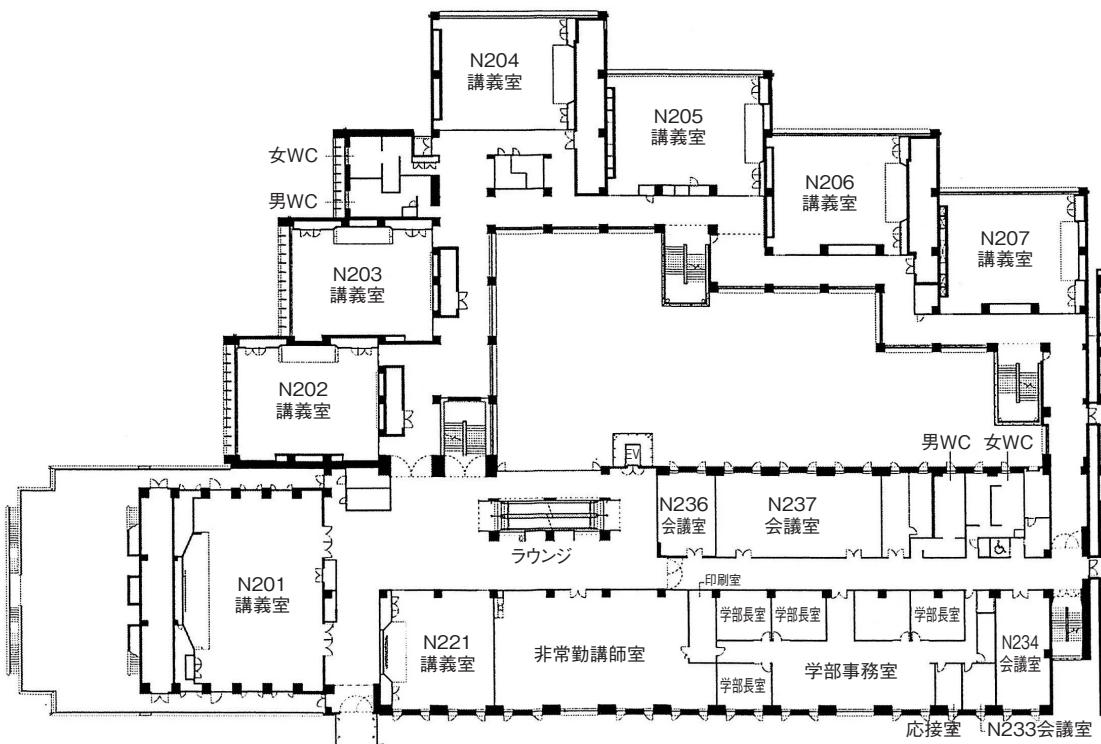
共通講義棟北(N) 配置図



共通講義棟北(N) 配置図

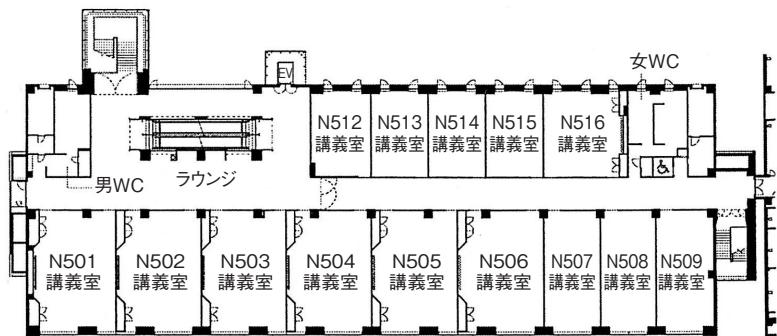


3階

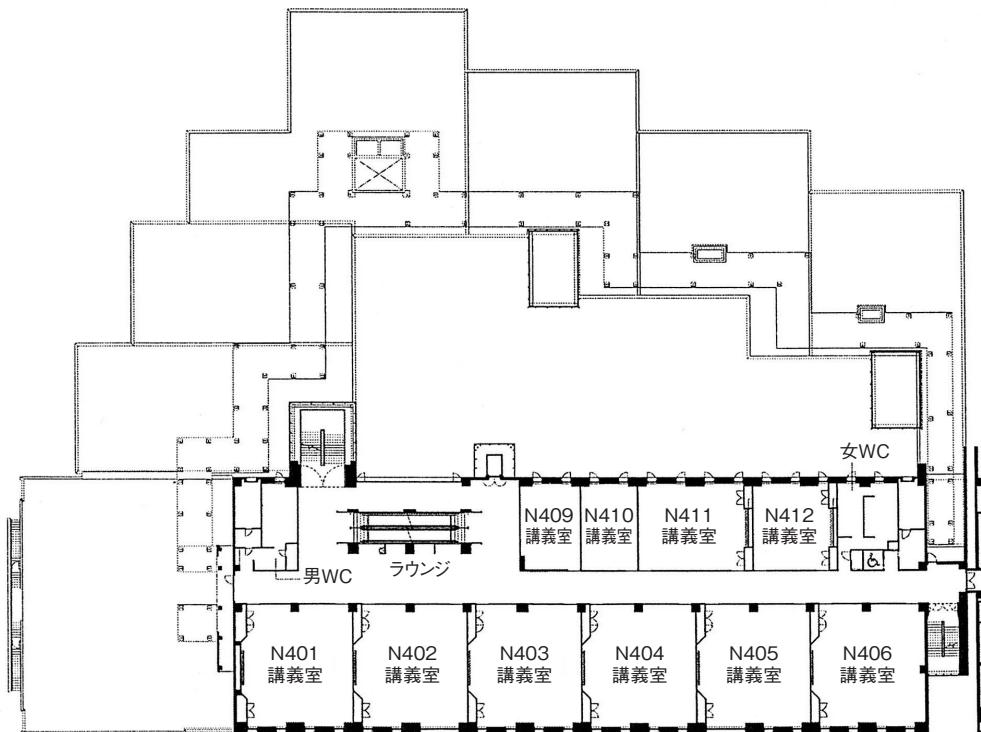


2階

共通講義棟北(N) 配置図

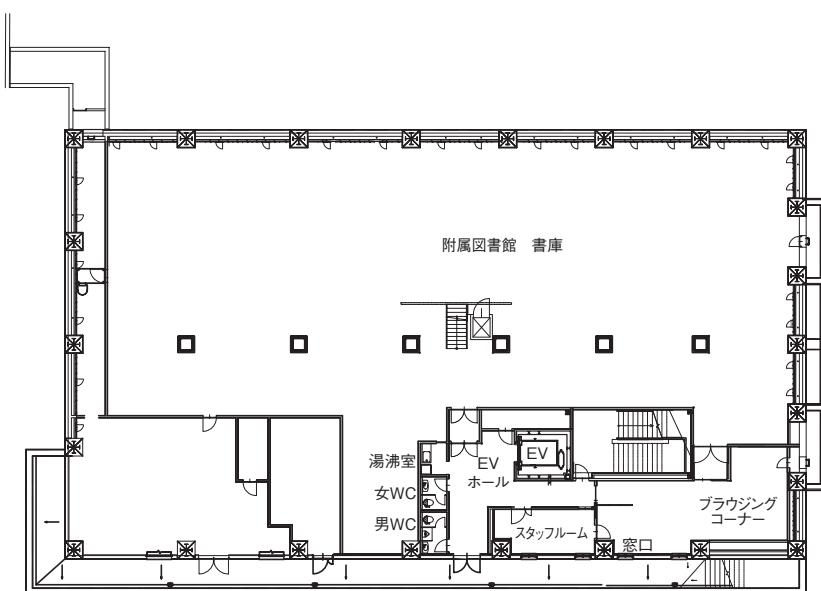
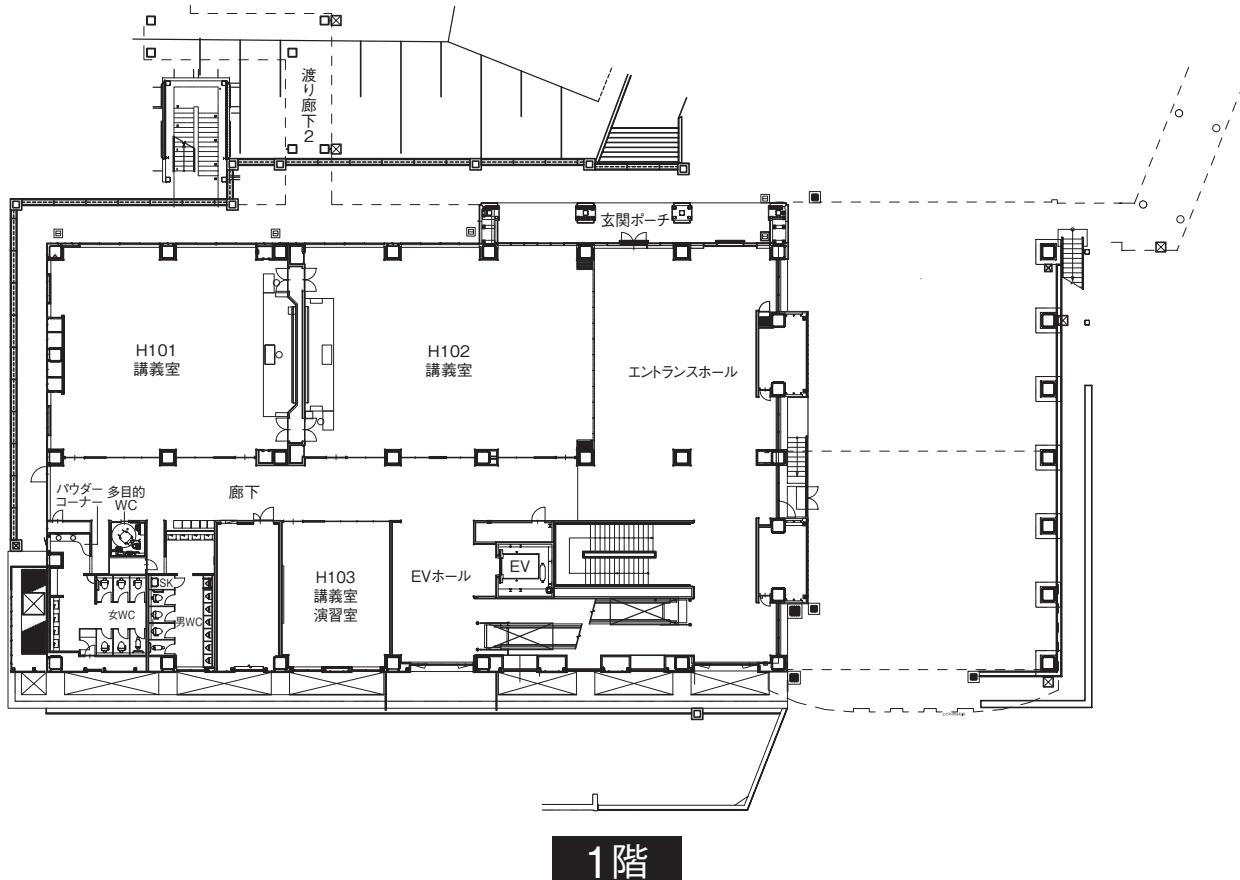


5階



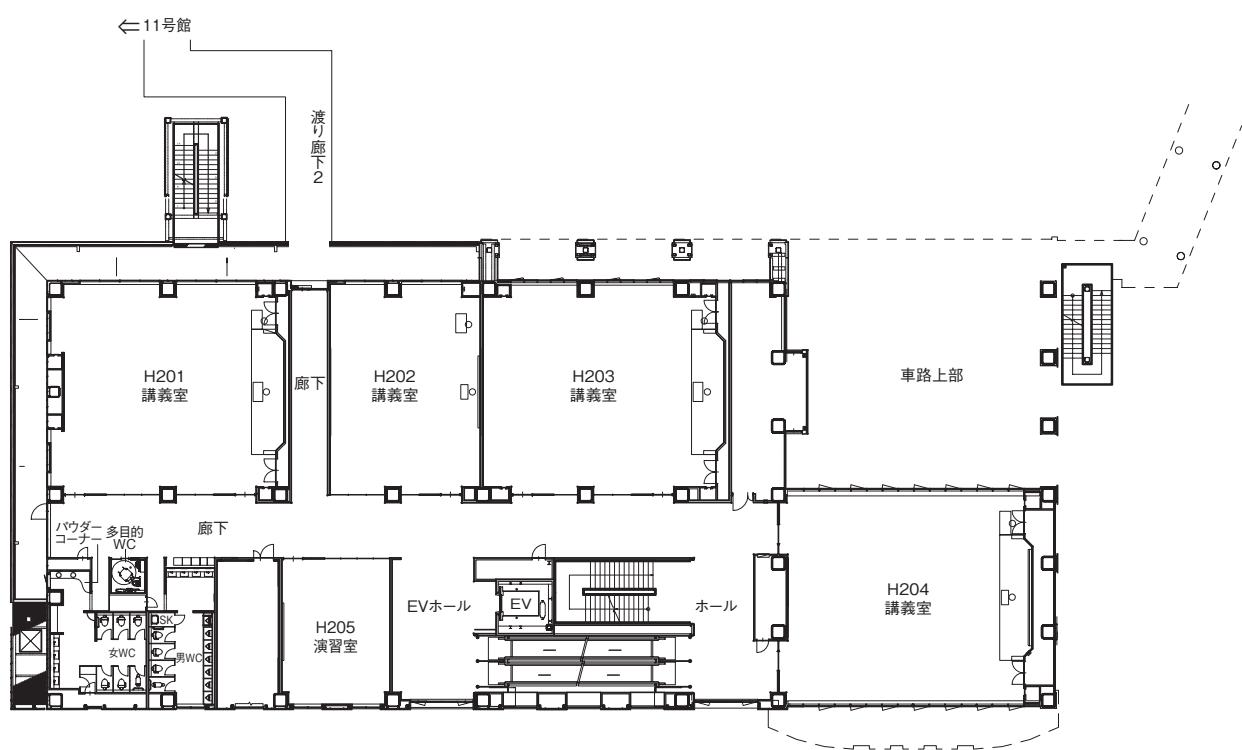
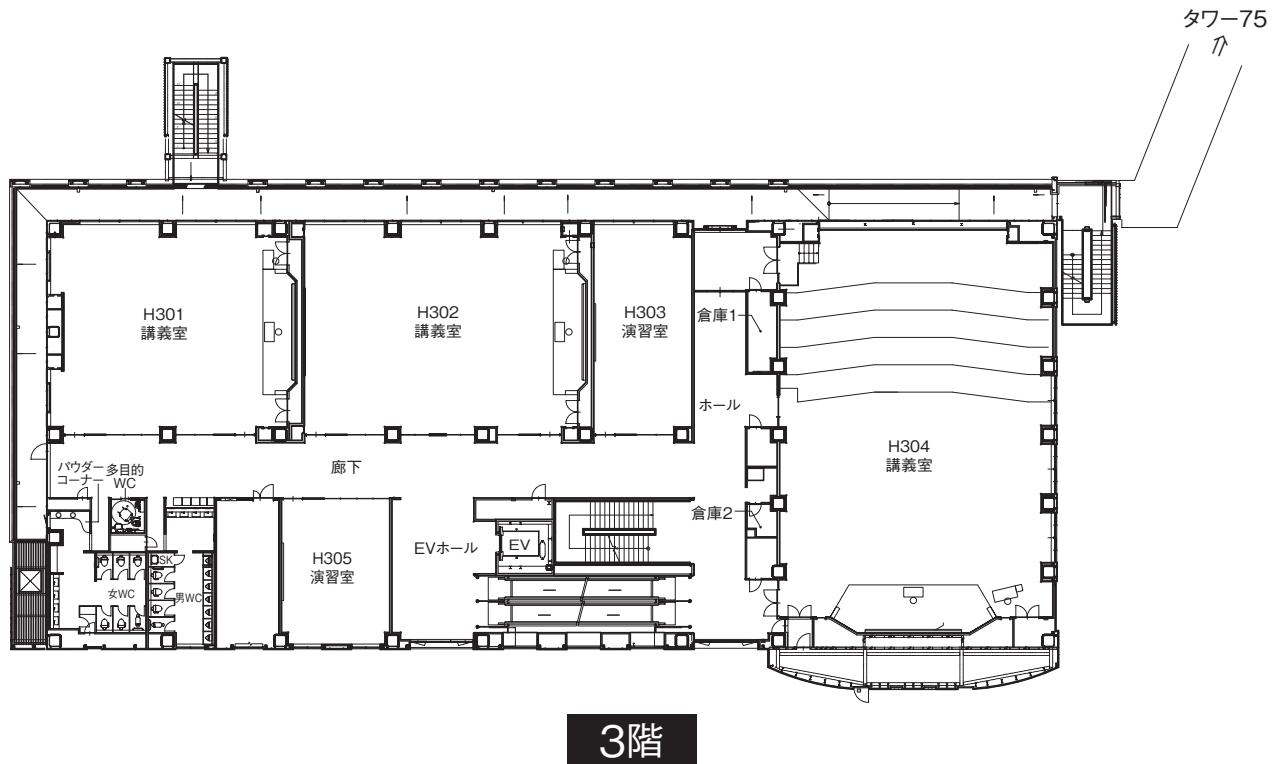
4階

共通講義棟東(H) 配置図

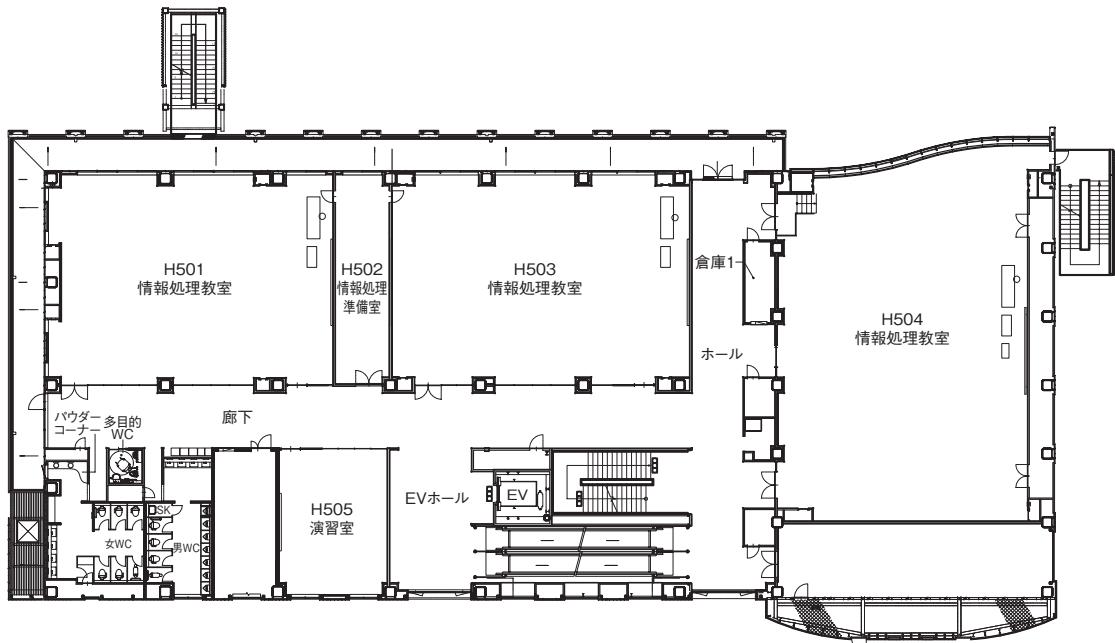


地下1階

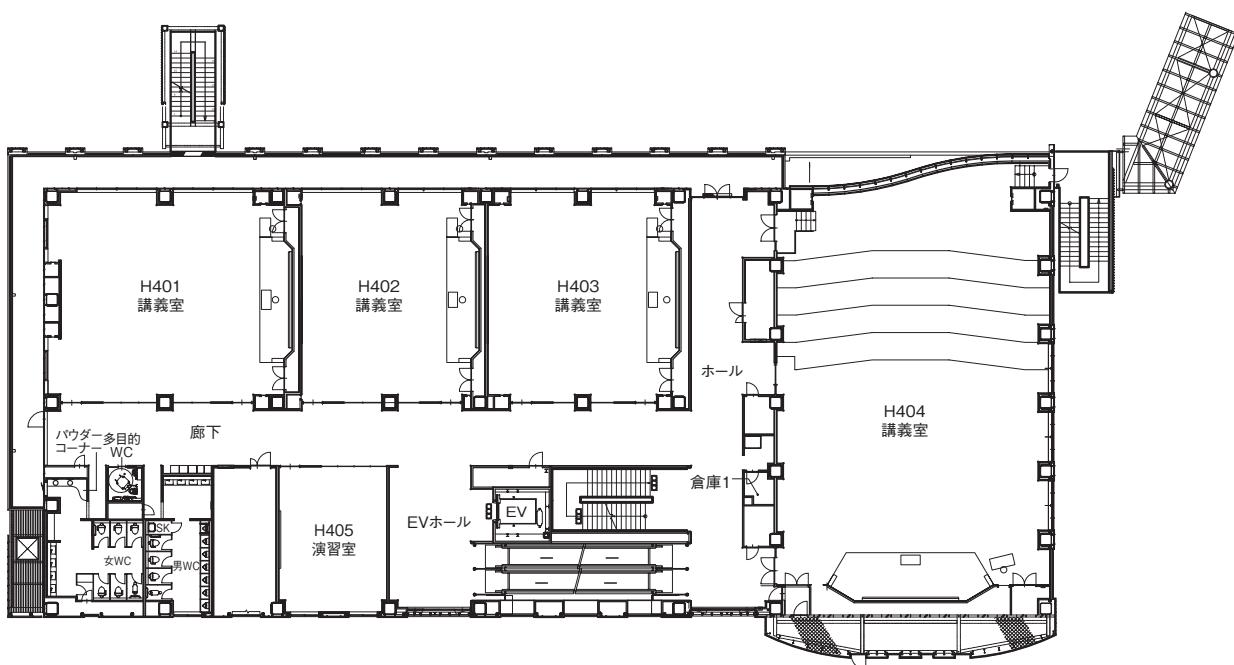
共通講義棟東(H) 配置図



共通講義棟東(H) 配置図

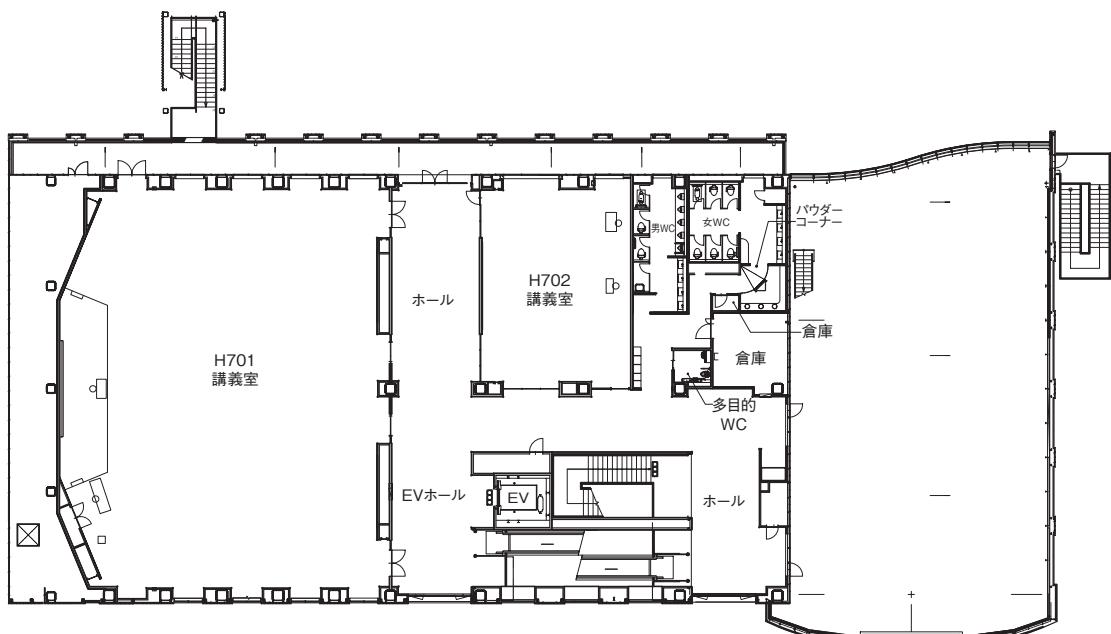


5階

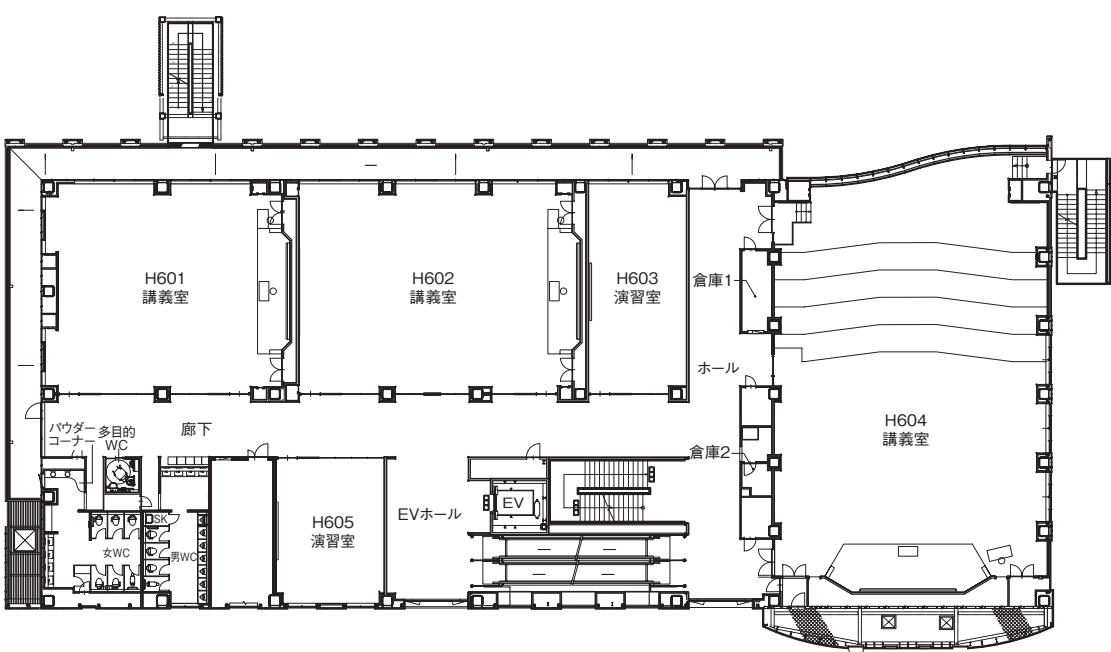


4階

共通講義棟東(H) 配置図

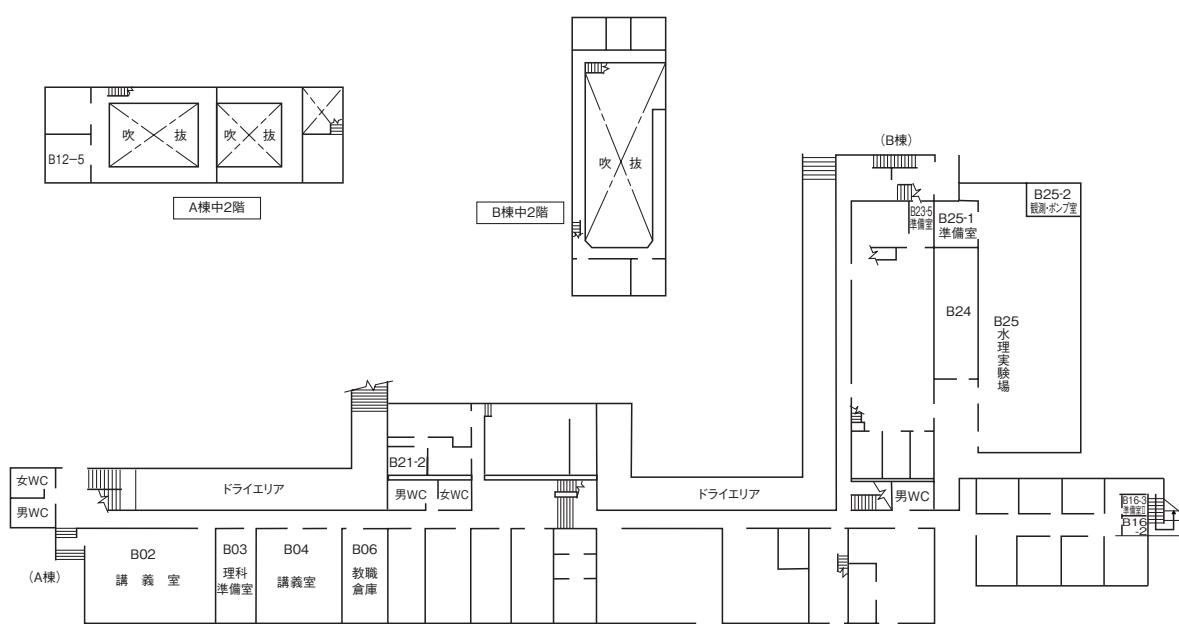
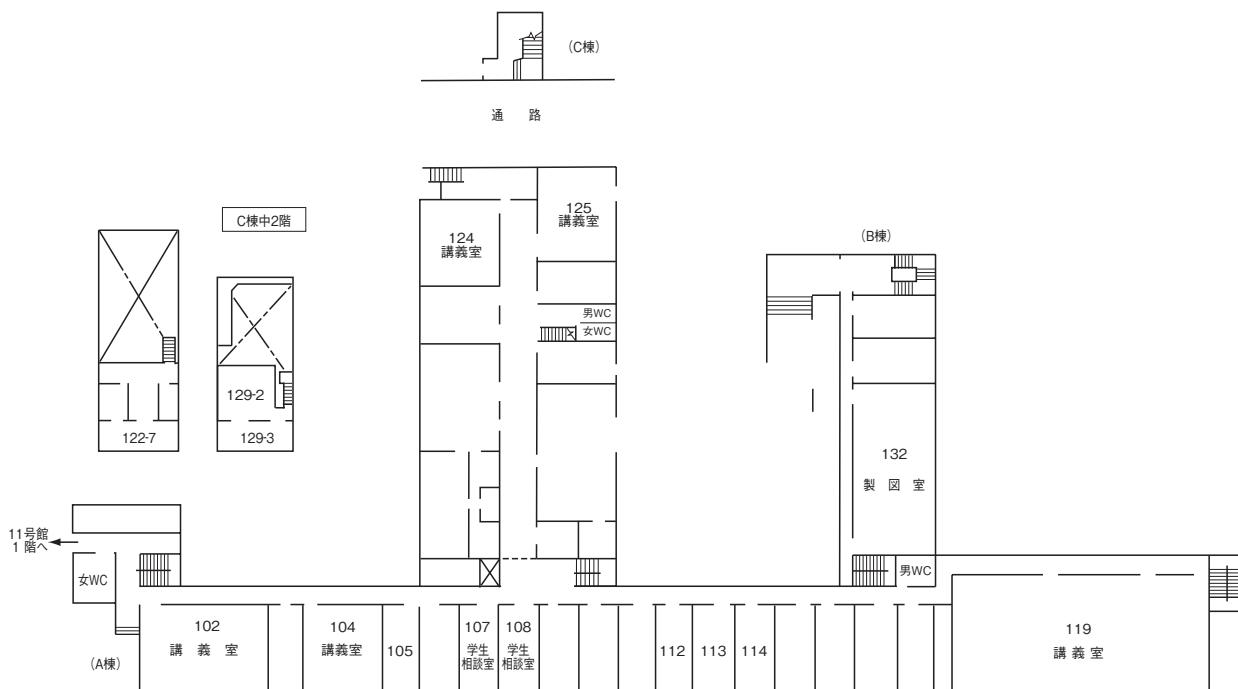


7階

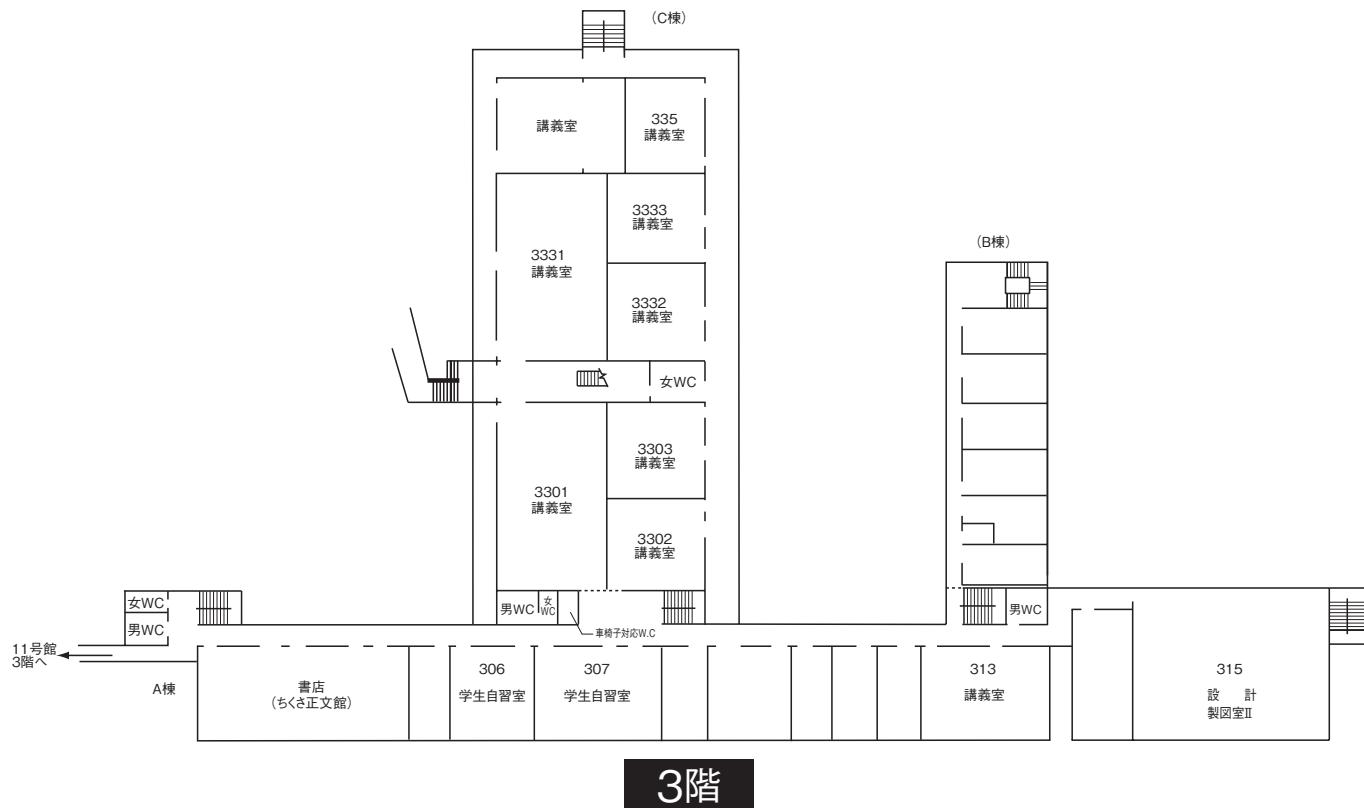


6階

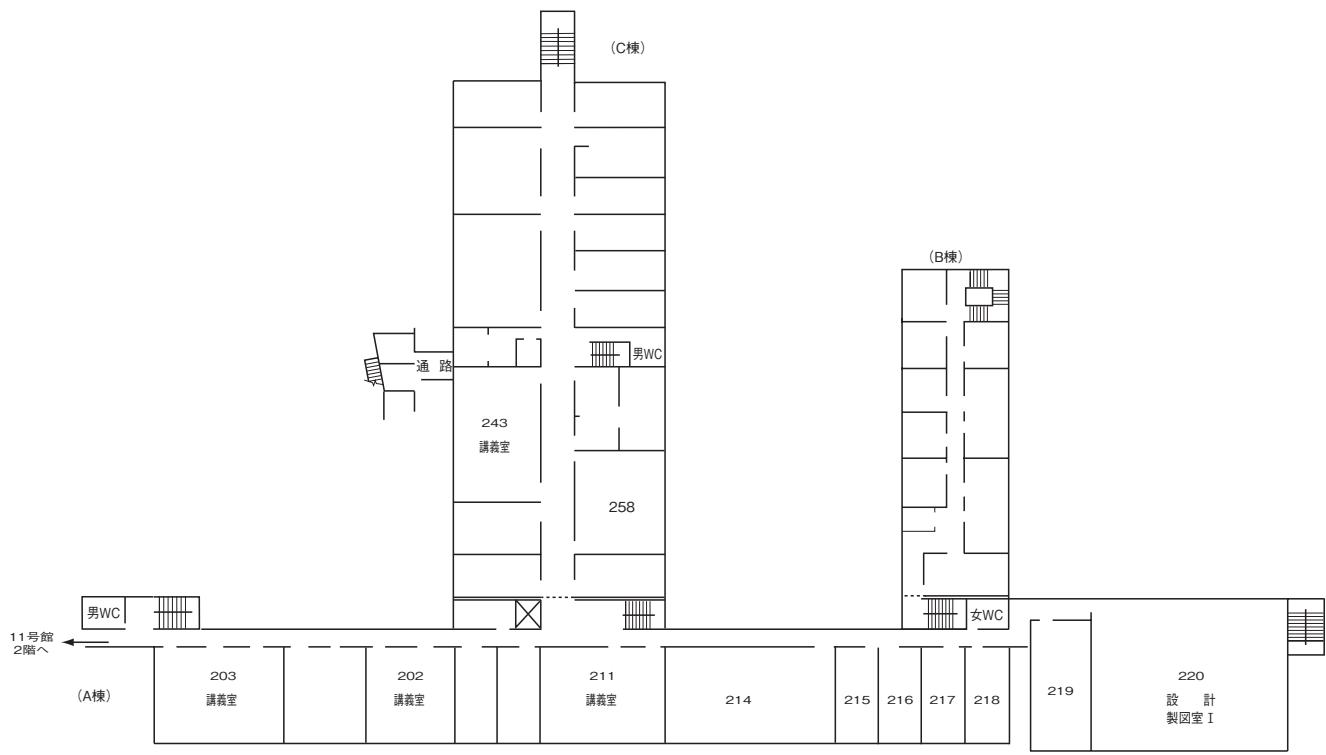
天白4号館 配置図



天白4号館 配置図

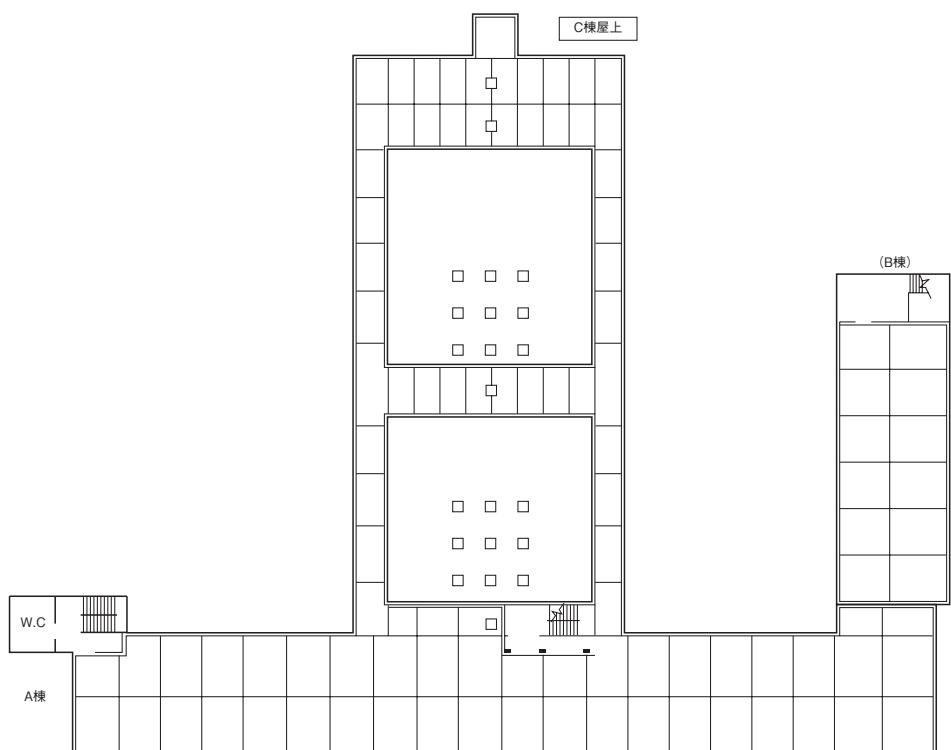


3階

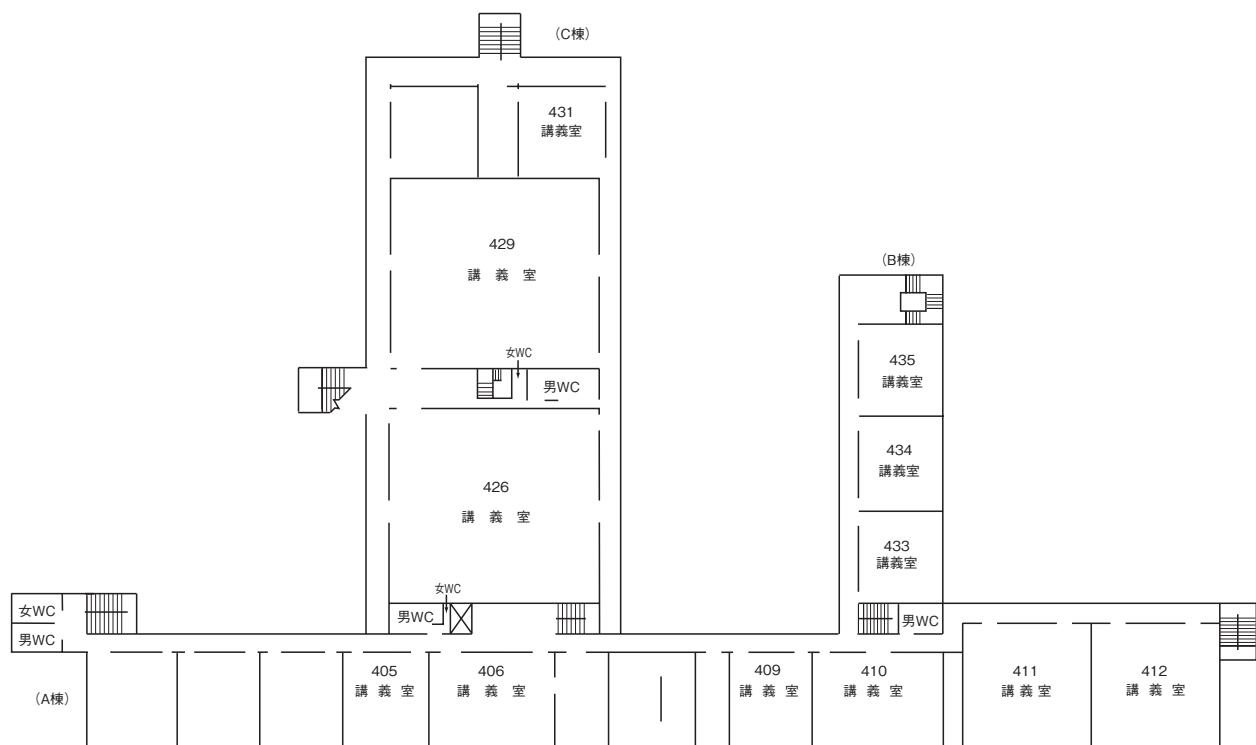


2階

天白 4号館 配置図

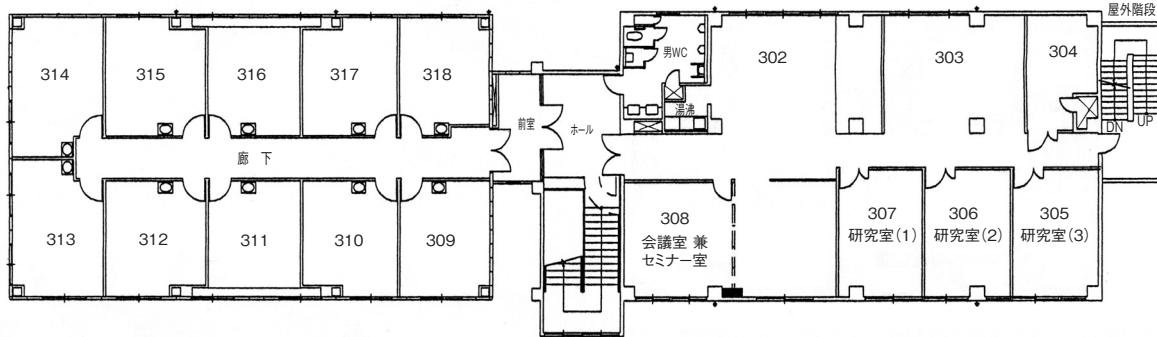


屋上

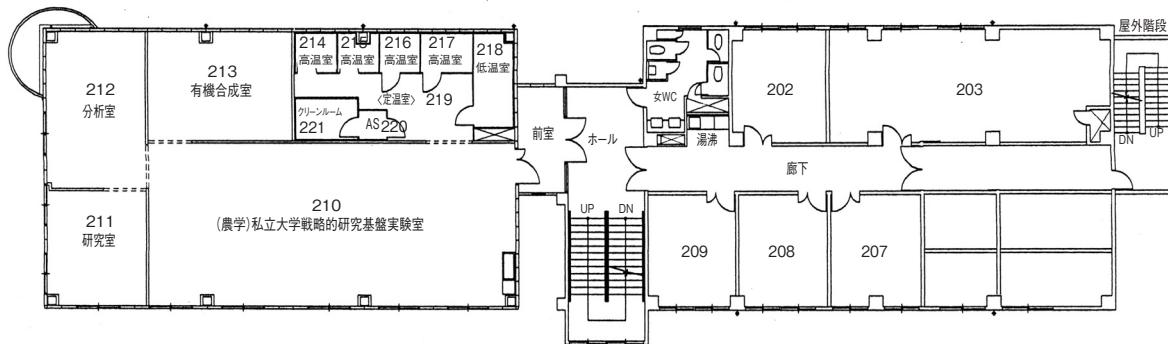


4階

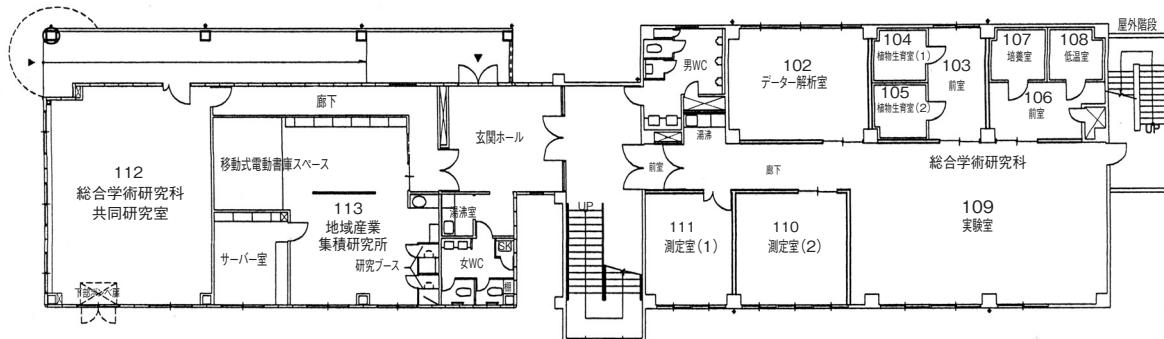
天白13号館 配置図



3階

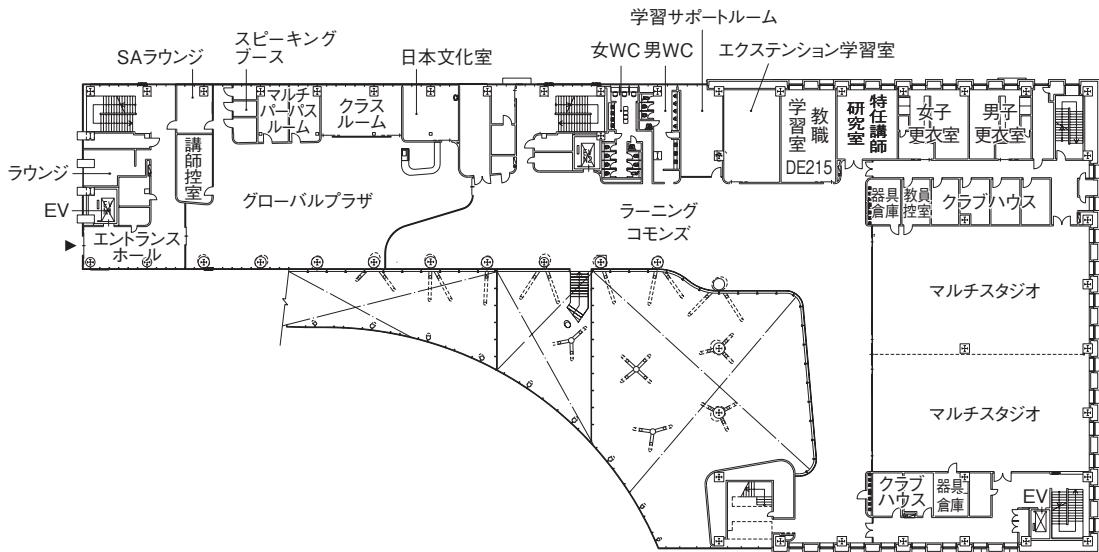


2階

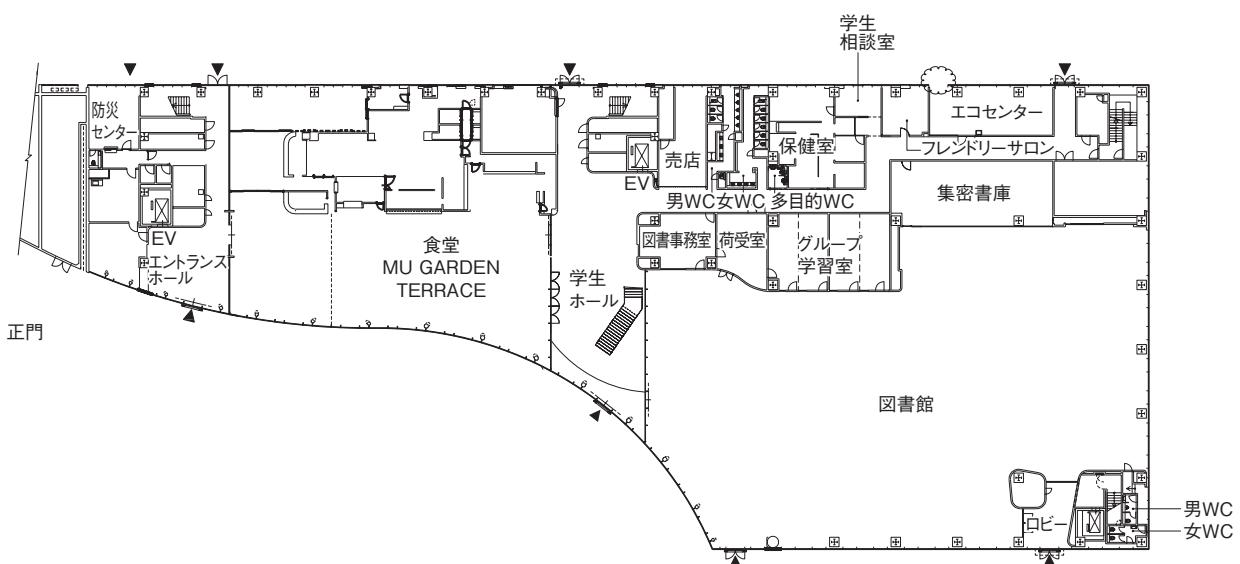


1階

ドーム前 北館・東館 配置図



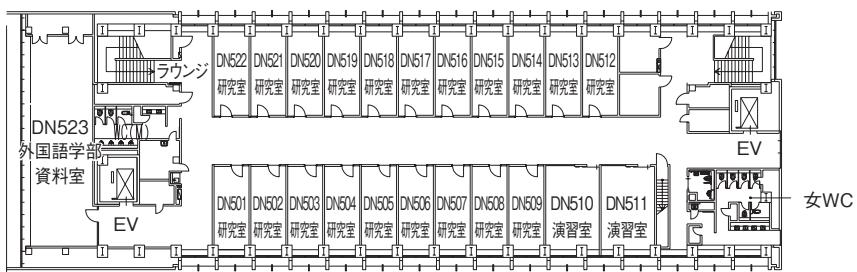
2階



1階

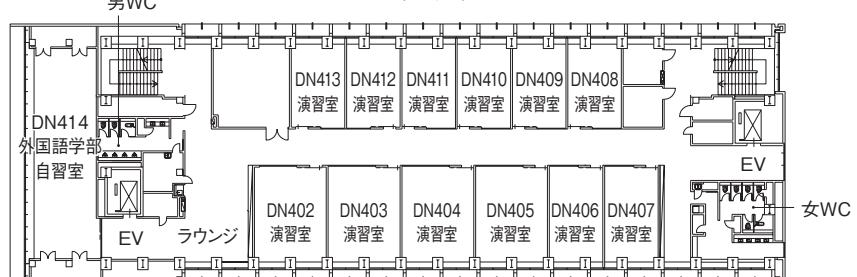
ドーム前 北館・東館 配置図

(北館)



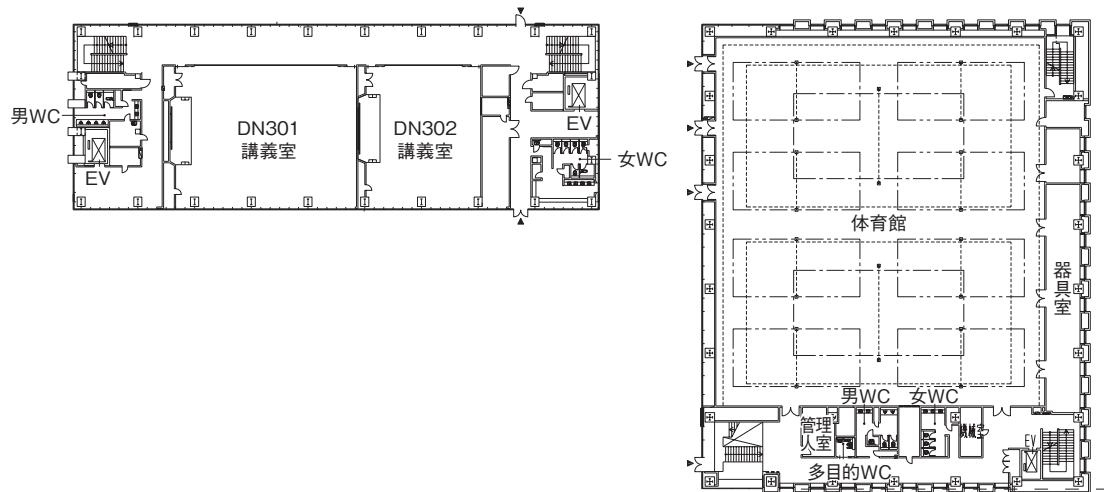
5階

(北館)



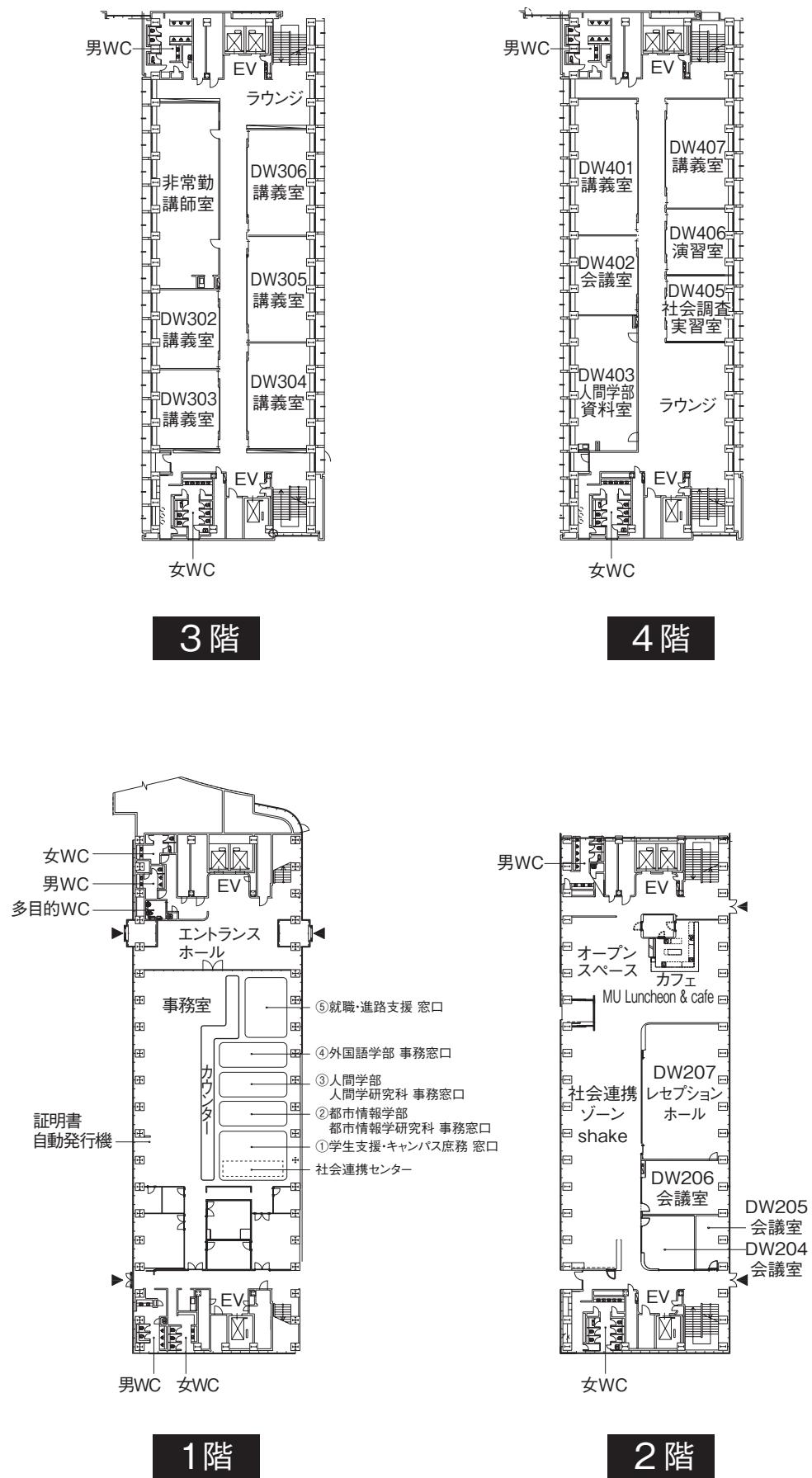
4階

(東館)

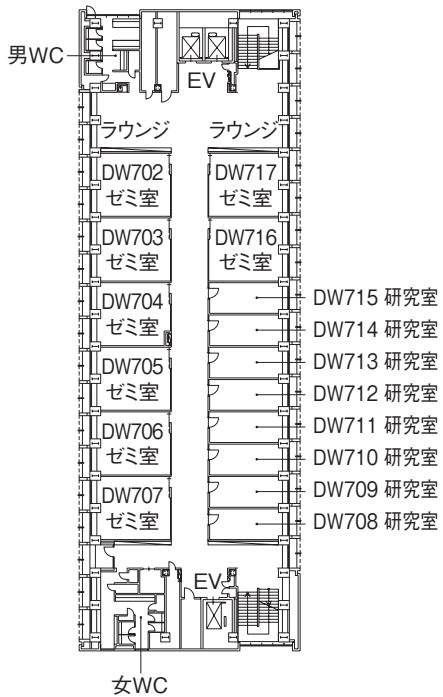


3階

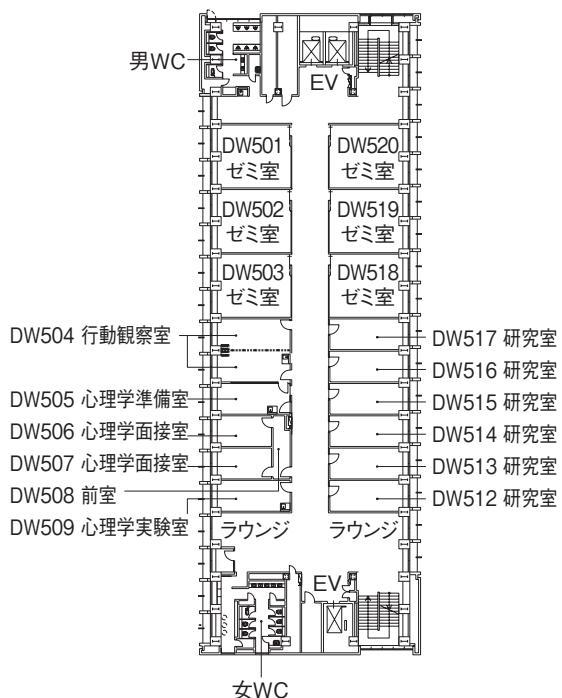
ドーム前 西館 配置図



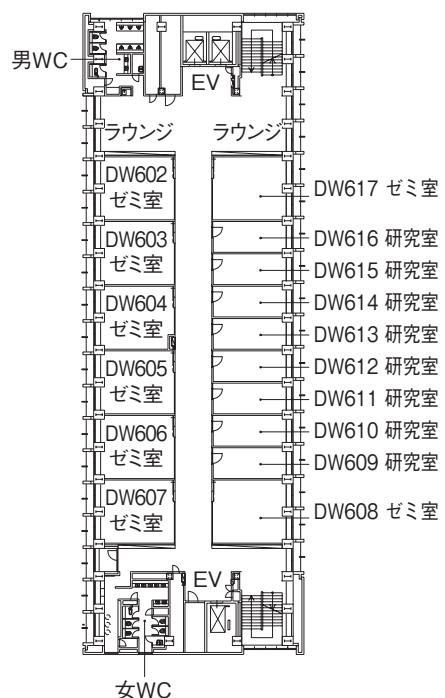
ドーム前 西館 配置図



7階

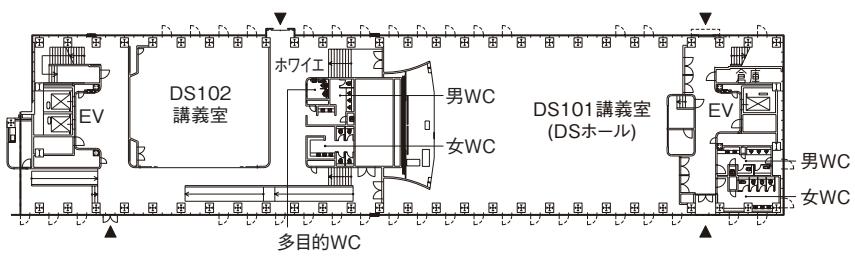
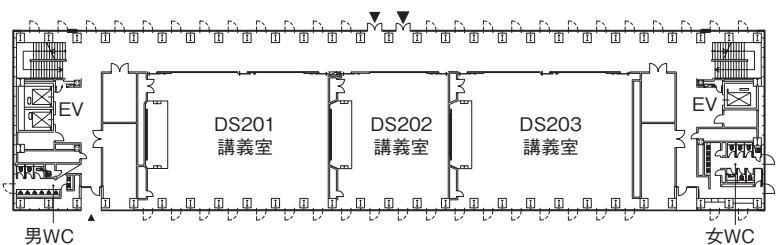
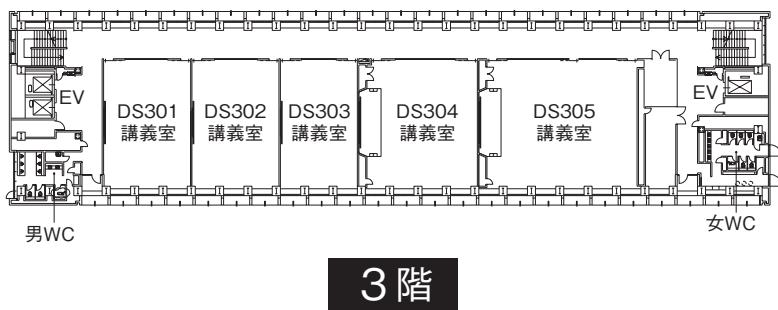
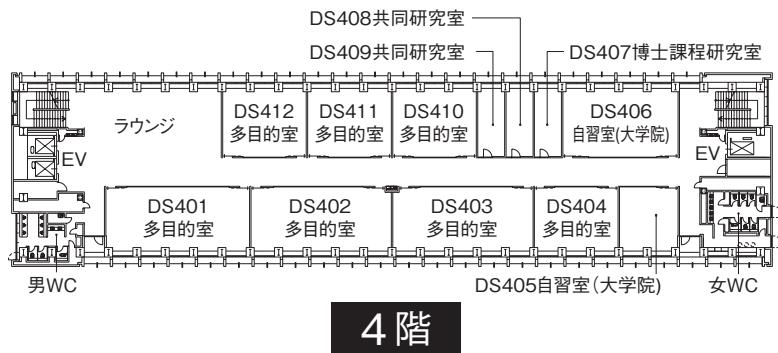


5階

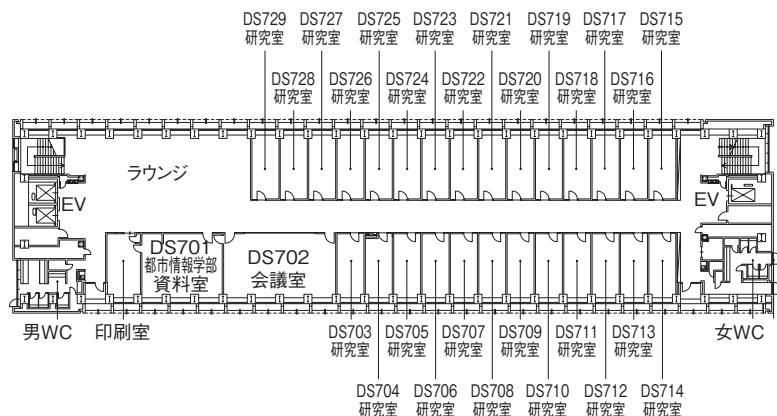


6階

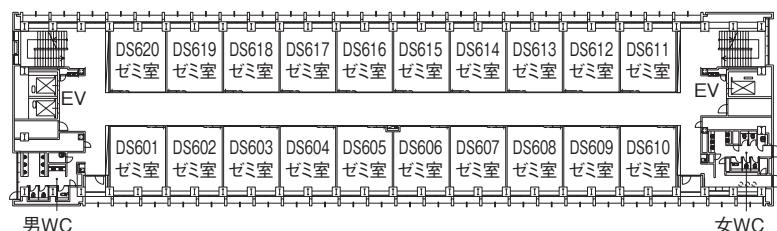
ドーム前 南館 配置図



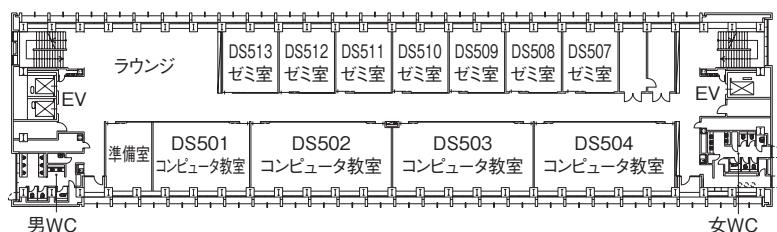
ドーム前 南館 配置図



7階



6階



5階

MEMO

2018年度(平成30年度) 教職課程便覧

発行日／平成30年4月1日
発 行／名城大学教職センター

〒468-8502
名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
TEL：052-832-1151(代表)

印 刷／常川印刷株式会社
